和風便器撤去跡床補修 断面詳細図 1/10

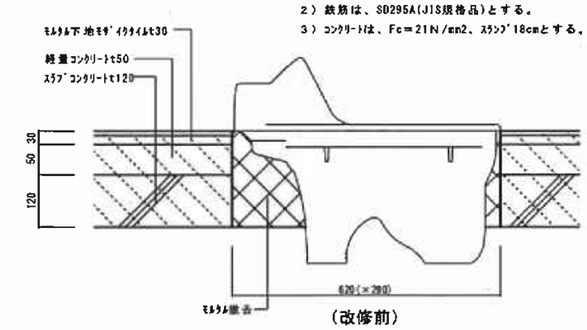
※工事中ピット内資材搬入出口床復旧もこれに倣う

特記事項

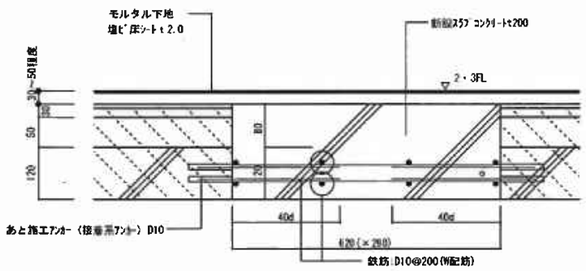
1）印は、撤去しない範囲を示す。

2）鉄筋は、SD295A(JIS規格品)とする。

3）コンクリートは、Fc＝21N/mm2、スランプ18cmとする。

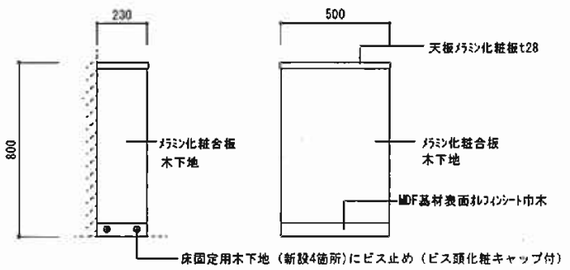


（改修前）

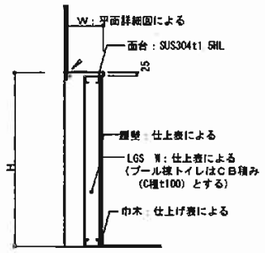


（改修後）

（多目的トイレ内）仮設面台詳細図 1/20



面台（ライニング）詳細図 1/30

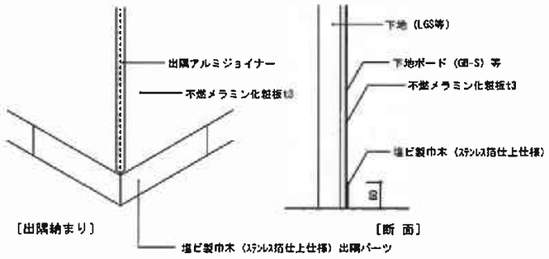


シーリング SR-1

ライニング高さ（H）	
小便器	展開図による
手洗い	1,000
SK流し	1,200

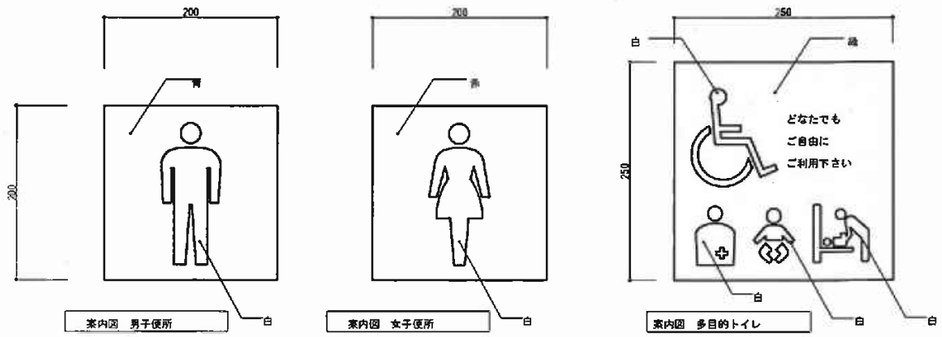
特記なき限り上記による

壁不燃メラミン化粧板と巾木との納まり詳細図 1/10



※上図は参考とし、出隅アルミジョイナー形状を含め
詳細は監督員と別途打合せのこと。
入隅納まりについても同様とする。

サイン姿図 1/5



室名札仕様

本　体：アクリル板 厚5.0 つや消し

表　示：インクジェット印刷

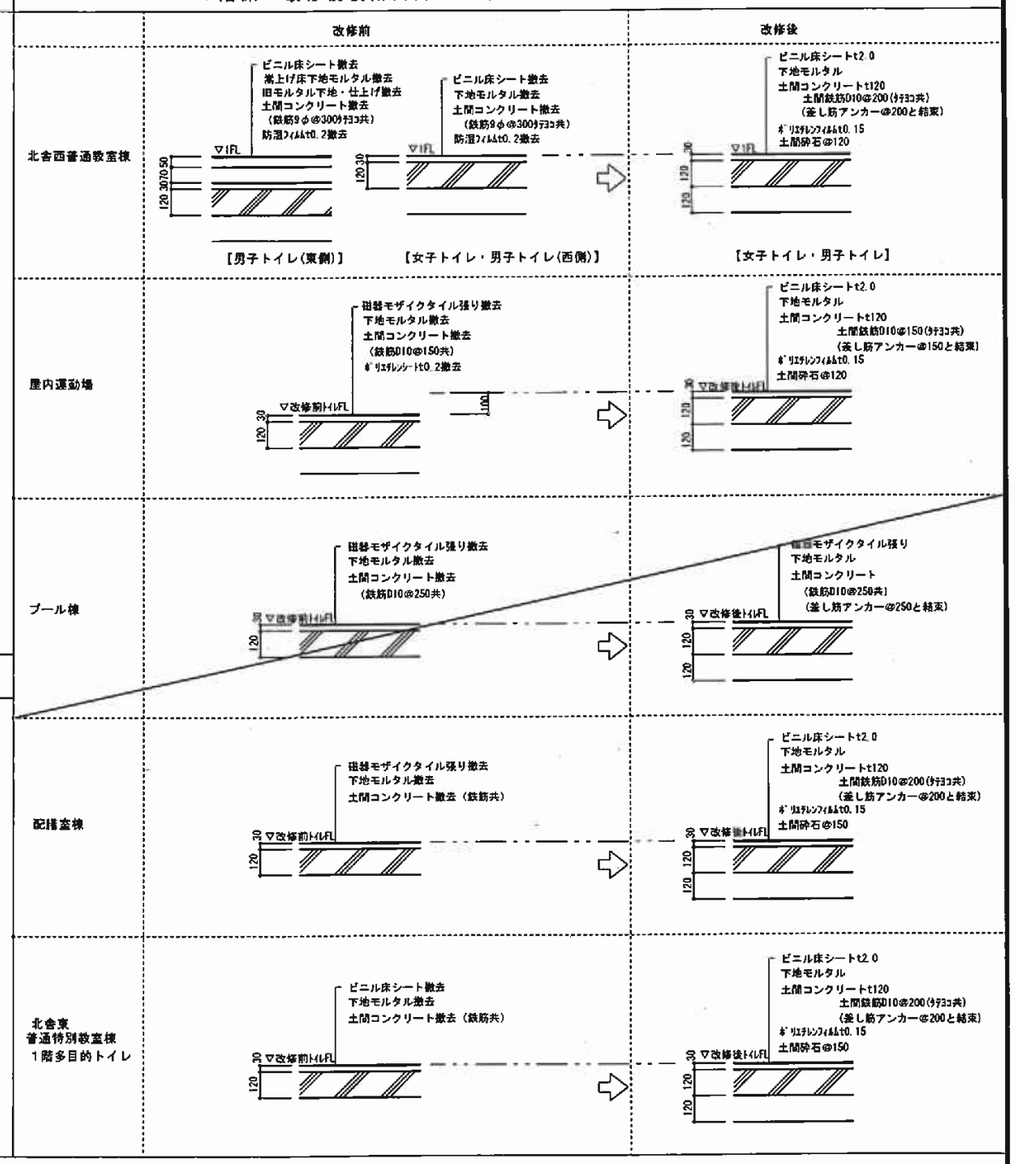
枠　材：アルミ型材（シルバー）

※表示する案内用図記号はJIS Z 8210による。

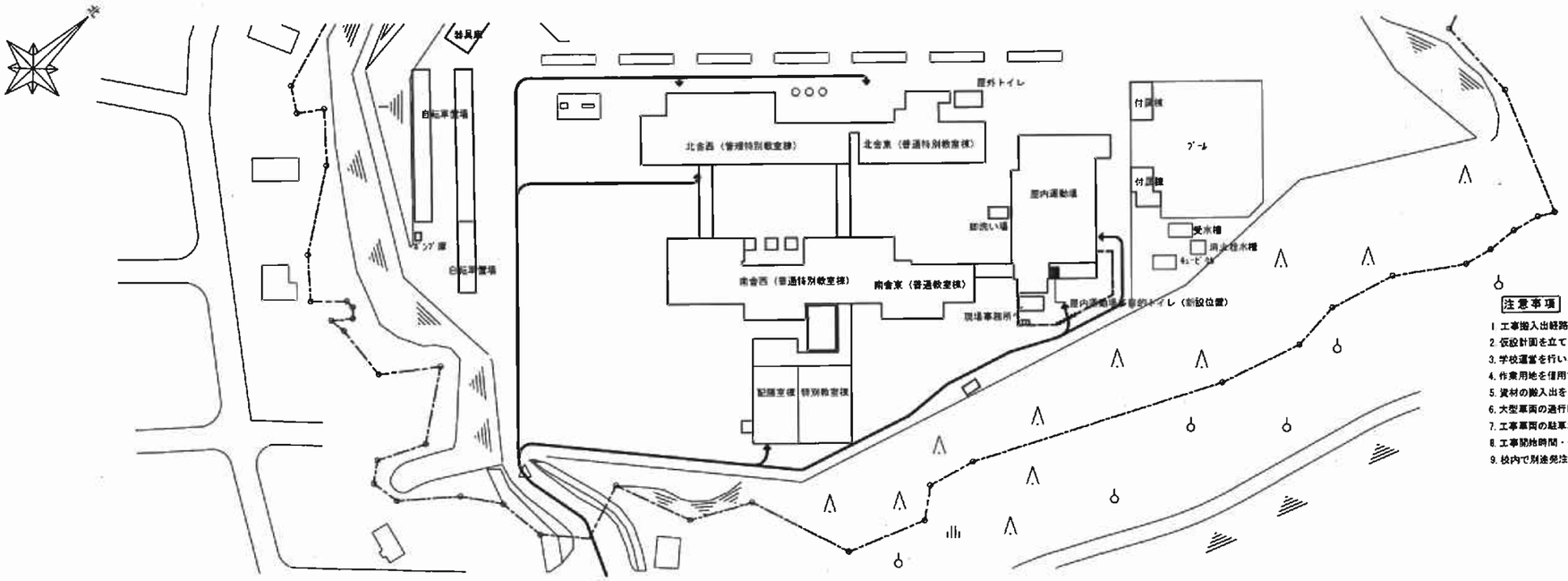
※案内用図記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。

※多目的トイレ用の表示マークは設置する設備による。

1階床 改修前後断面図 1/10



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A37	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名	詳細図	scale 1/300

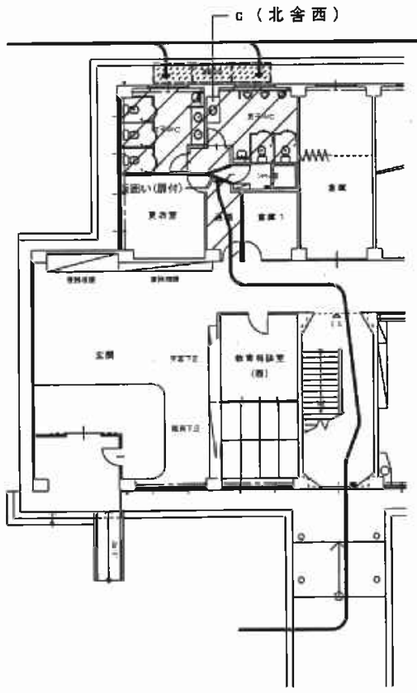


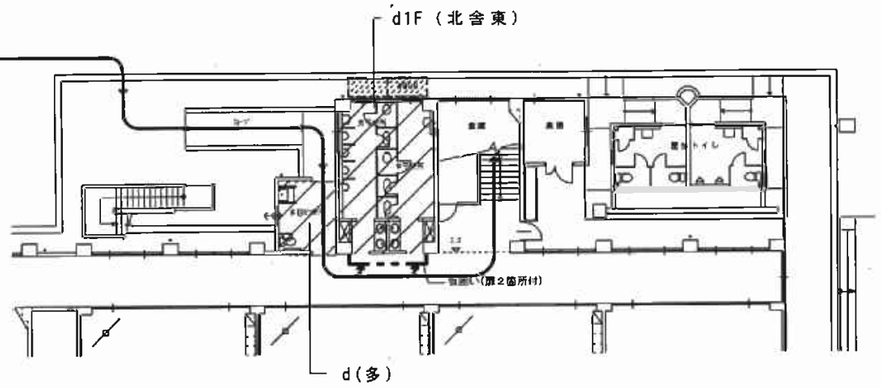
配置図　1/1000

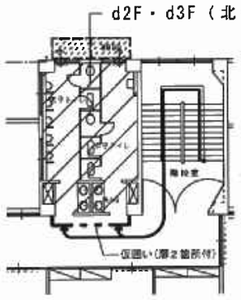
凡例	
	外部足場：くさび緊結式足場（W900） メッシュシート共
	鋼製鉄板塀（H2000）
	クロスゲート　H1,800　W6,000
	工事用車両進入経路・工事用通路
安全係員	必要に応じて工事車両出入口等に安全係員を配置する。
	仮囲い（軽鉄壁下地・PB12.5）　木製張付

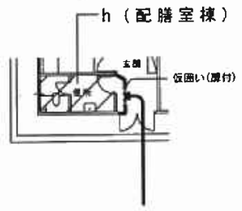
注意事項

1. 工事搬入出経路は、児童及び学校職員の動線と重複する為、通行の際は十分に注意すること。（生徒・学校職員を優先すること。）
2. 仮設計画を立てる際に監督員及び学校側と十分に協議を行い、決定すること。
3. 学校運営を行いながらの工事の為、騒音・振動・臭気を伴う工事は夏休み期間中、及び休校日に行うこと。
4. 作業用地を使用する場合、監督員の指定する場所に仮囲いを設置して外部からの侵入を防ぐこと。
5. 資材の搬入出を行う際、学校側に危険が伴うと判断した場合、必要に応じて安全誘導員等を配置すること。
6. 大型車両の通行時は、安全誘導員等を配置すること。
7. 工事車両の駐車場は、学校側の指定する場所とする。
8. 工事開始時間・終了時間について、学校側に配慮すること。
9. 校内で別途発注の工事が行われる為、施工者間で連絡を取り合い、事故等が起こらない様配慮すること。





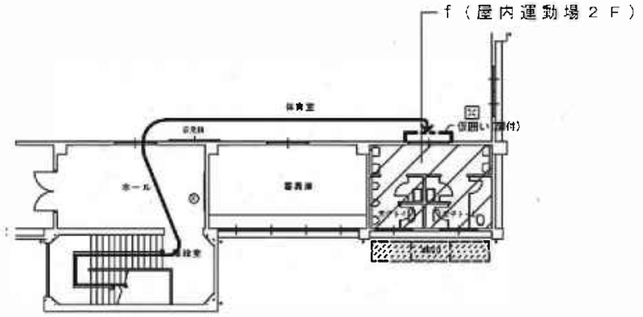


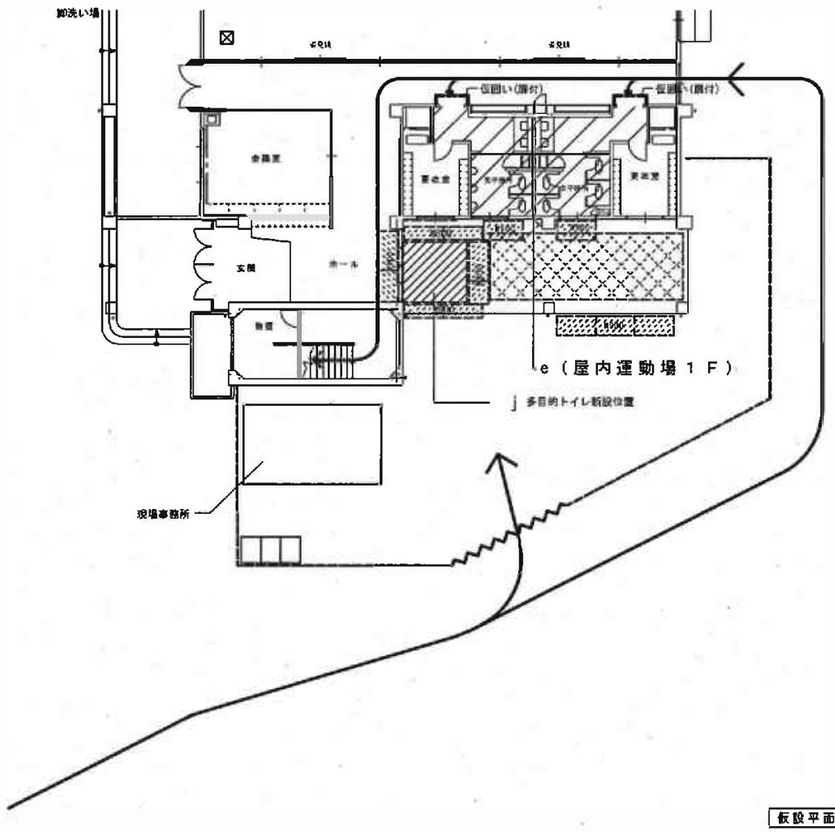


仮設平面拡大図　1/200

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A38	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図
						図面名	仮設計画図1　scale 1/1000

凡　例	
	くさび緊結式足場（W600・900） メッシュシート共
	工事用車両進入経路・工事用通路
	棚足場
	仮囲い（経鉄壁下地・PB12.5）　木製扉付（明記以外1箇所）
	鋼製鉄板塀（H2000）
	クロスゲート　H1,800　W6,000





仮設平面拡大図　1/200

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432　1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A39	工事名　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
						図面名　仮設計画図２　scale 1/1000

構造設計標準仕様

適用は ■印を記入する。

1．建築物の構造内容

(1)　建築場所　可児市青葉台地内
(2)　工事種別　□新築　■増築　□増改築　□改築
(3)　構造種別　■鉄骨造(S)　□鉄筋コンクリート造(RC)
　□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)　□補強コンクリートブロック造(CB)
(4)　階数　地下　0　階　地上　1　階　塔屋　0　階
(5)　主要用途　中学校（多目的トイレ）
(6)　屋上付属物　□広告塔　□高架水槽　kN
　□煙　突　□キュービクル　kN
(7)　特別な荷重　□エレベーター　□ホイストクレーン　kN
　□受水槽　kN　□倉庫積載床用
(8)　付帯工事　□門塀　□擁壁
(9)　増築計画　□有　(　)　■無
(10)　構造計算ルート　X方向ルート　1　Y方向ルート　1

2．使用構造材料

(1)　コンクリート　レディーミクストコンクリート(JIS　A5308)

適用箇所	種類	設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	備考
捨コンクリート	■普通	■18	15	
躯体コンクリート	■普通	□18　■21　□24	18	
土間コンクリート	■普通	■18　□21　□24	15	
	□	□18　□21　□24		
	□	□18　□21　□24		
	□	□18　□21　□24		
	□	□18　□21　□24		

■調合管理強度は、公共建築工事標準仕様書(最新版)による。
■単位水量は185kg/m3以下、単位セメント量は270kg/m3以上とする。
■普通コンクリートの水セメント比は65%、空気量は4.5%とする。
■塩化物含有量の最大は0.30kg/m3とする。

(2)　コンクリートブロック(CB)　□(JIS　A5406)
□A種　□B種　□C種　厚 □100　□120　□150　□190

(3)　鉄　筋　(JIS　G3112)

種類		径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■SD295	D16以下	基礎	■重ね継手
	□SD345	D19以上	基礎	□ガス圧接継手
	□SD390			□特殊継手（　）
丸鋼	□SR235			
溶接金網	□JISG3551	φ6-150	EZデッキ上	

(4)　鉄　骨

種類		使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
鋼材	■SS400	小梁、G・PL	□有　■無	JIS G3101
	■BCR295	柱	□有　■無	MSTL-9021同等
	■SN400B	大梁・片持梁	□有　■無	JIS G3136
	□SM490A		□有　□無	JIS G3106
	□SN490B		□有　□無	JIS G3136
	■SN490C	仕口部・BPL	□有　■無	JIS G3136
	□SWH400		□有　□無	JIS G3353
	□STKR400		□有　□無	JIS G3466
	□SSC400		□有　□無	JIS G3350
	■SNR400B	ブレース	□有　■無	JIS G3138
	□STK400		□有　□無	JIS G3444
	□TMCP325B		□有　□無	建築構造用認定鋼板

(5)　ボルト
■高力ボルト　□普通、F8T　□普通、F10T　■特殊、S10T　□亜鉛メッキボルト、F8T
□中ボルト　(JIS B1180)　・材質SS400相当(M12)戻止め　高力ボルトすべり係数試験　□要　■否
■アンカーボルト　■ABR400　L=　特記　mm、ナット(□シングル　■ダブル　)
　□SS400　(JIS G3101)　L=　特記　mm、ナット(□シングル　□ダブル　)
□スタッドボルト

(6)　屋根、床、壁
■押出成形セメント板
□
□

3．地　盤

(1)　地盤調査資料と調査計画
□有（□敷地内　□近隣）　■無(調査計画　□有　■無)
調査項目　□ボーリング調査　□水平地盤反力係数の測定
　□平板載荷試験　□スウェーデン式サウンディング
(2)　地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。
(3)　ボーリング標準貫入値、土質構成

深度	土質	N値	標準貫入試験 0 10 20 30 40 50	○備考
1		9		
2		50		
3		50		
4		50		
5		50		

4．地業工事

(1)　直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　■独立基礎　試験堀　□有　■無
深さ　GL-　0.78 m、　長期許容支持力度　50　kN/m2　載荷試験　□有　■無
(2)　杭基礎

杭種	材料	施工法	備考
□RC　□PC □PHC　□H鋼 □鋼管 □摩擦杭	PC　□A種□B種□C種） PHC(□A種□B種□C種) 鋼材　SS400　STK400	□埋込み(セメントミルク工法) □打ち込み(オーガー併用打撃工法) □HiFB(ハイエフビー)工法 (プレボーリング拡大根固め工法)	
□場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc= セメント量　kg/m2 鉄筋　主筋　SD HOOP　SD	□オールケーシング　□拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル　□ミニエース □BH　□深礎（□手堀　□機械堀）	

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□　□無）（□打ち込み　□載荷）　本

杭径(mm)	設計支持力(kN) 長期（短期）	杭長(m)	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

(1)　コンクリート
■コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関しては公共建築工事標準仕様書(　最新版　)による。
■セメントは、JIS　R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調合計画は、工事開始前に工事監理者の承諾を得ること。
■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承諾を得ること。
■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150m3をこえる場合は150m3ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み断続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25C°未満の場合は150分、25C°以上の場合は120分以内とする。

(2)　鉄　筋
■鉄筋はJIS　G3112の規格品を標準とする。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
■D19未満は、すべて重ね継手とする。
■継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による。
溶接部検査方法
外観検査 ■有 □無、引張試験 □有 ■無、超音波探傷試験 ■有 □無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は3本以上とする。(1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする)
■柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、
■H型(タガ型)　□W型(溶接型)　□S型(スパイラル型)とする。
■コンクリート及び鉄筋の試験は、公的機関又は指定を受けた検査機関にて行うこと。
試験機関名　未定、　代行業者名　未定
代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3)　型　枠
■材料　合板厚12m/mを標準とする。　□押出セメント板　t=30mm（捨て型枠）
■型枠存置期間

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間の平均気温	せき板 基礎、はり側、柱、壁		せき板 スラブ下、はり下		支柱 スラブ下		支柱 はり下
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令(日) 15C°以上	2	3	4	6	8	17	28
5C°~15C°	3	5	6	10	12	25	28
5C°未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5N/mm2		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）1　片持ばり、庇、スパン9m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるもの置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

(1)　鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■日本鉄鋼連盟「建築鉄骨工事施工指針」
(2)　工事監理者の承認を必要とするもの
■製作工場　■製作要領書　■工作図　■施工計画書
■国土交通大臣認定　グレード　R
■材料規格証明書または試験成績書
■鋼材　■高力ボルト　■特殊ボルト　□
■社内検査表
(3)　工事監理者が行う検査項目
（□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　■製品検査　□建方検査
(4)　接合部の溶接は下記によること
■平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
□鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
(5)　接合部の検査
■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 鉄骨製作会社	請負会社	第三者	工事監理者
■すみ肉溶接部	外観（目視）検査	100 %	※1 0 %	30 %	0 %
■突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 %	0 %	30 %	0 %
		個	個	個	個
	外観（目視）検査	100 %	0 %	30 %	0 %

第三者検査機関名　未定
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
※1　検査結果は、鉄骨製作会社の検査表を確認する事。

注）　現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
■高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50μmRz以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。母屋・胴縁及びターンバックル筋かいの羽子板等の支圧接合面は、上記処理は不要とし、錆止め塗装とする。
■高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。締付け後の検査は、各締付け工作別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
(6)　防錆塗装
■防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS　K5674、　工場　2　回塗りを標準とする。
■現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し1回塗りとする。
(7)　耐火被覆の材料

7．設備関係　（令第129条の2の3に準ずる）

□建築設備(昇降機を除く)建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
□屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は、鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
□建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
　□風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
　□建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
　□管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
　□管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
＊「給湯設備」:建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの。
□法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示代1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

備　考

株式会社　三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士　三宅品信　第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A40	図面名	構造設計標準仕様	scale

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 （1）

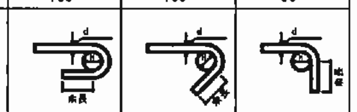
1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D･･･部材の成　R･･･直径
@･･･間隔　r･･･半径　℄･･･中心線　lo部材の内寸法距離　ho･･･部材間の内法高さ
ST･･･あばら筋　HOOP･･･帯筋　S.HOOP･･･補強帯筋　φ･･･直径又は丸鋼

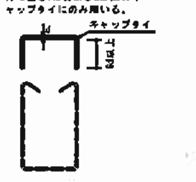
2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）



折まげ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。



折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋折り曲げ角度90°以下

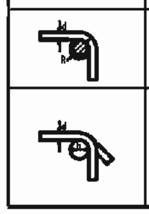


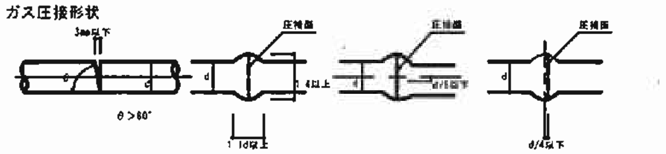
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法（R）
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	3d以上
			19φ D16 以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

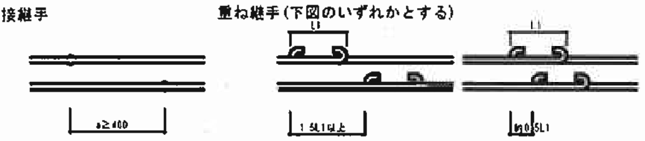
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ 一般 (L2)	下ば筋 (L3) 小梁	下ば筋 (L3) スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
SR235	21以上	40d フックつき	25d フックつき	15d フックつき	40d フックつき
	18以下	45d フックつき			45d フックつき
SD295 SD345	21以上	40d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき
	18以下	35d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

継　手
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D19以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

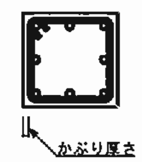


圧接継手　　重ね継手（下図のいずれかとする）



(4) かぶり厚さ（単位 mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄部のかぶり。厚さが部分的に減少する箇所に付いても最小かぶり厚さを確保する。



【加工（設計）かぶり厚は、最小かぶり厚に10mmを加える】

部位				最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	仕上あり		20
		仕上なし		30
	はり 柱 耐力壁	屋内	仕上あり	30
			仕上なし	30
		屋外	仕上あり	30
			仕上なし	40
	擁壁、耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱・はり・スラブ・耐力壁			*40
	基礎・擁壁・耐圧スラブ			*60
煙突等高熱を受ける部分				60

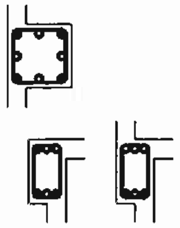
(注) (1) ※印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
(2) 仕上ありとは、モルタル塗り等の仕上のあるものとし、吹付け塗装などの鉄筋の耐力上有効でない仕上のものを除く。
(3) スラブ、梁り、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
(4) 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異型鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

(6) 鉄筋のフック（a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）
a. 丸鋼　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋
d. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
e. はり主筋の重ね継手が、はりの出隅及び下端のの外側にある場合。（基礎ばりを除く）

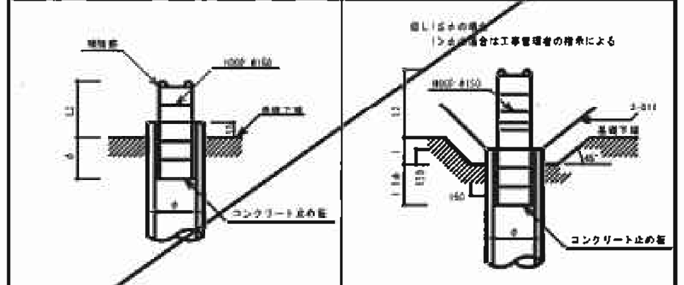
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



3. 杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

(1) PC杭、又はPHC杭全てに補強を行う

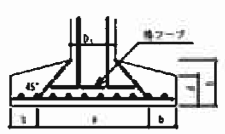
所定の場所に止まった場合	所定より低く止まった場合



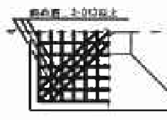
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

4. 基　礎

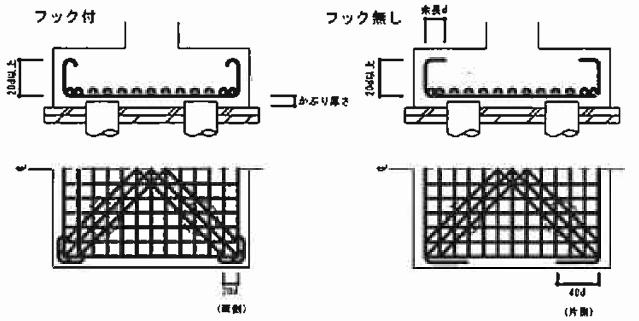
(1) 直接基礎



ベース筋
a=D₁+2dの範囲
主筋間隔は200以下
bの範囲
主筋間隔の1.5倍かつ300以下

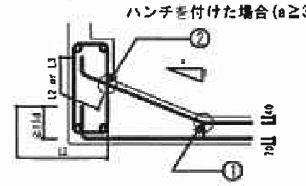


(2) 杭基礎



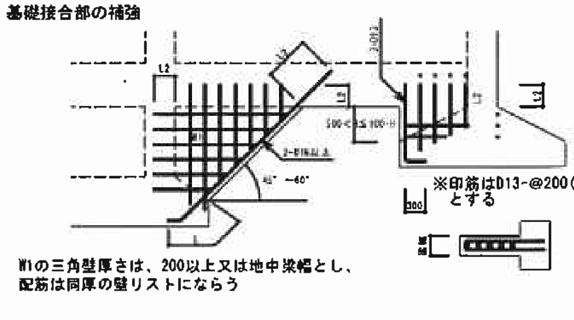
(3) べた基礎

ハンチを付けた場合（a≧3）



1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上端と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し上のある場合は4070とする

(4) 基礎接合部の補強

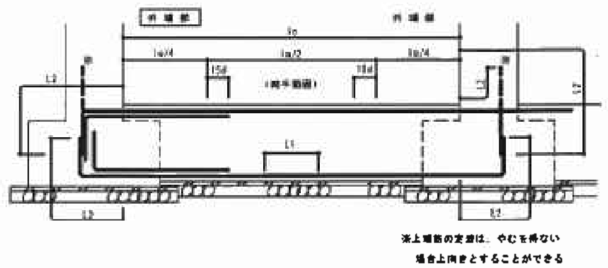


※印筋はD13-@200（ダブルクロス）とする

W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

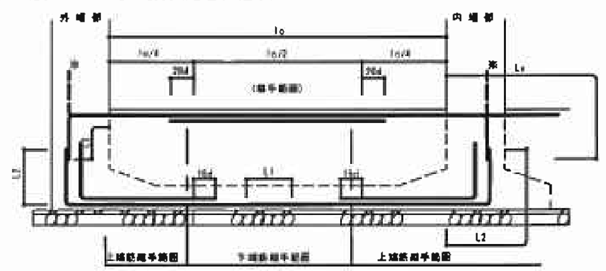
5. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）

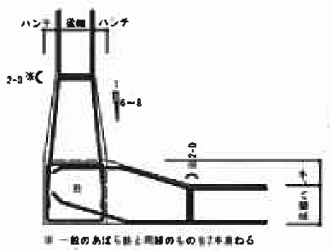


※上端筋の定着は、やむを得ない場合上向きとすることができる

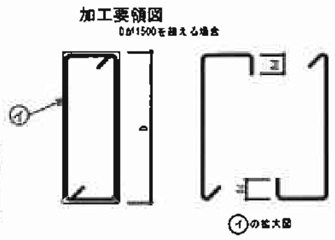
(2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）



(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

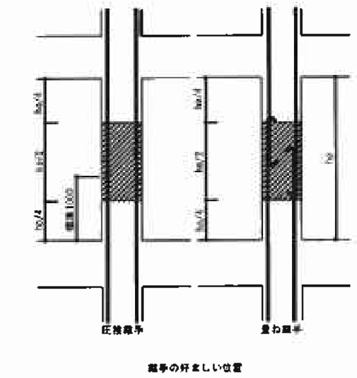


(4) せいの高い梁のあばら筋

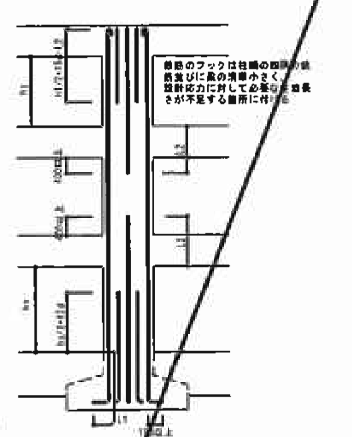


6. 柱

(1) 柱主筋の継手

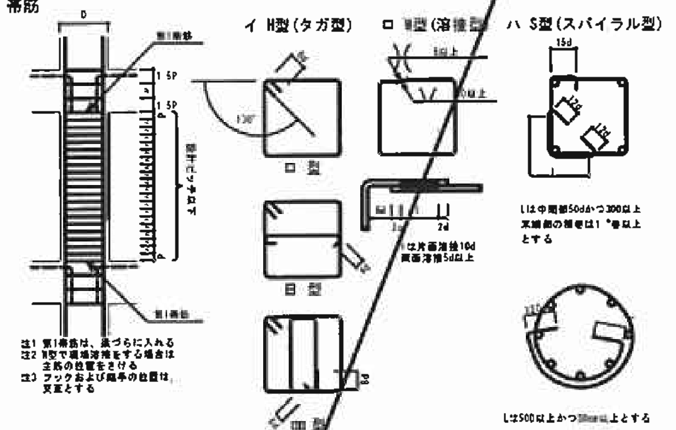


(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋

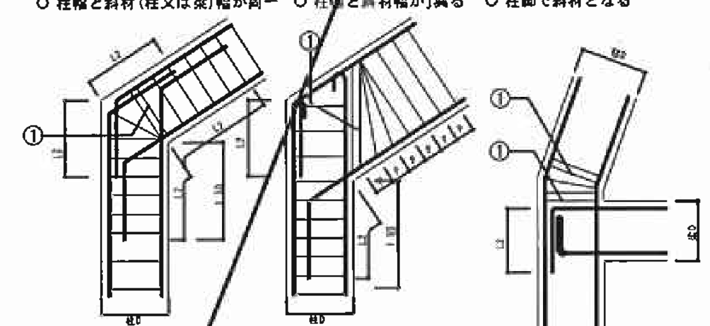
イ H型（タガ型）　ロ W型（溶接型）　ハ S型（スパイラル型）



注1 第1帯筋は、柱づらに入れる
注2 W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注3 フックおよび継手の位置は、交互とする

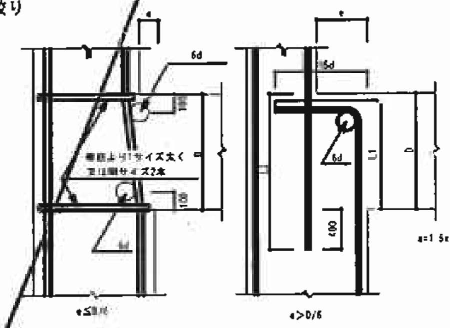
(4) 斜め柱・斜め梁

○ 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一　○ 柱幅と斜材幅が異る　○ 柱脚で斜材となる

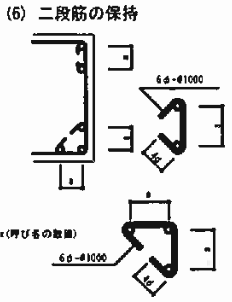


注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A41

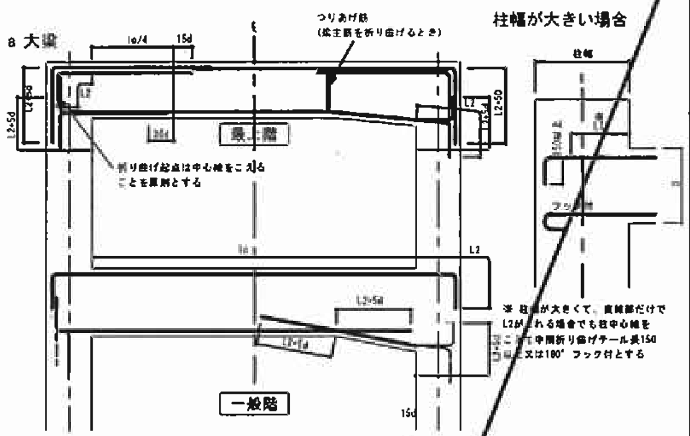
工事名　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（I期）　工事設計図
図面名　鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）　scale

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

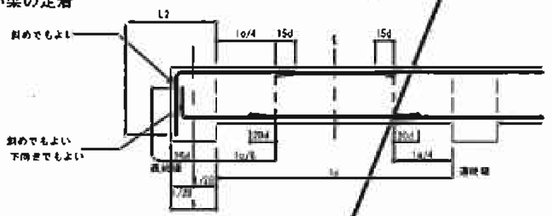
7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

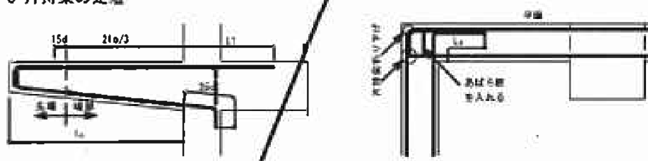
a 大梁　　柱幅が大きい場合



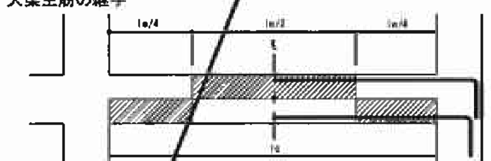
b 小梁の定着



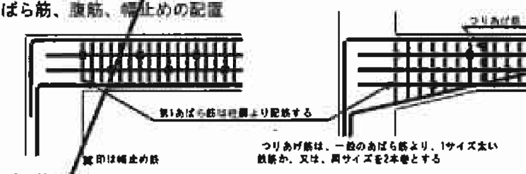
c 片持梁の定着



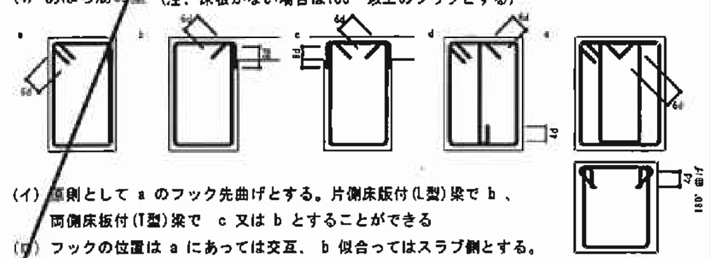
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135° 以上のフックとする)

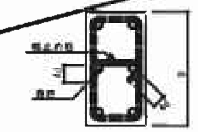


(イ) 原則として a のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で b 、両側床板付(T型)梁で c 又は b とすることができる

(ロ) フックの位置は a にあっては交互、 b 似合ってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

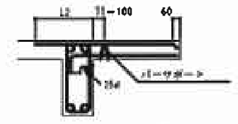
腹　筋	D<600 不要 600≦D< 900　2-D10(9φ) 1段 900≦D<1200　4-D10(9φ) 2段 1200≦D　D10(9φ) @300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000位内で割り付ける



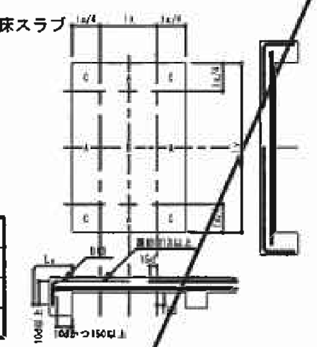
8. 床板

(1) 定着および継手

a 片持ち床スラブ



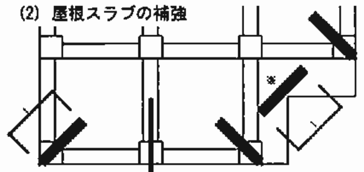
b 一般床スラブ



継手位置は原則として下表による。

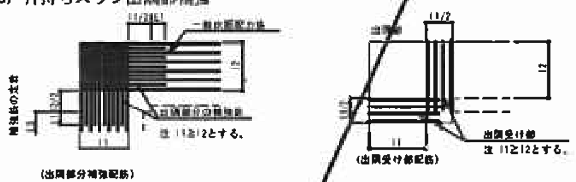
		標準継手位置
上端筋	端辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A　C

(2) 屋根スラブの補強

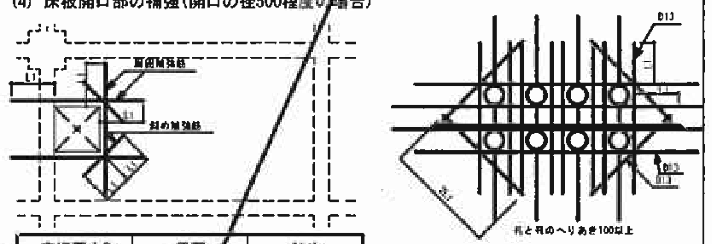


ⓐ補強筋は各2-D13又はスラブ主筋の同一径でl=1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の箇所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強



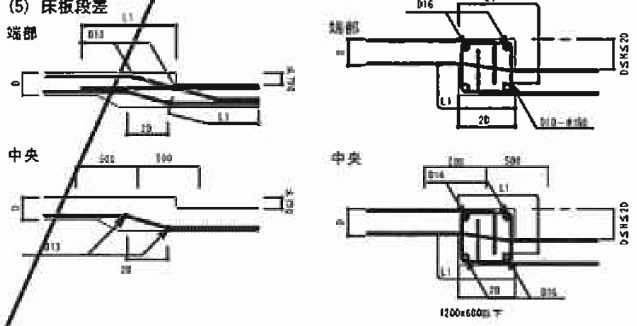
(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D16	各2-D16

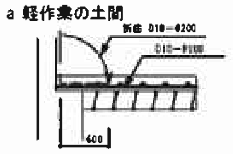
注) 設備の小開口口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

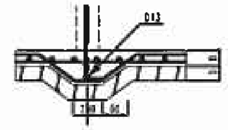


(6) 土間コンクリート

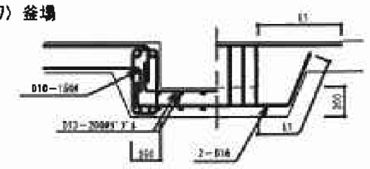
a 軽作業の土間



b 間仕切壁との交差部



(7) 釜場



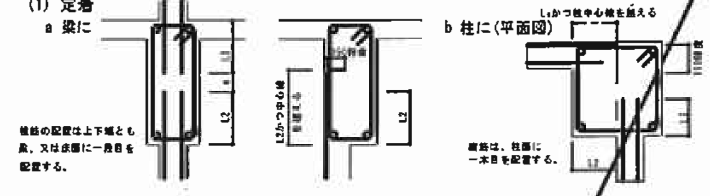
(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打継面について)

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L₁以上
・無筋部分D10-@200　長さ800以上

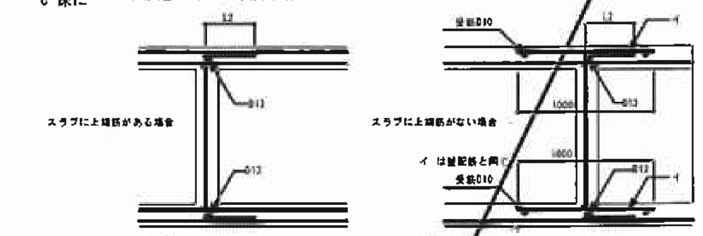
9. 壁

(1) 定着

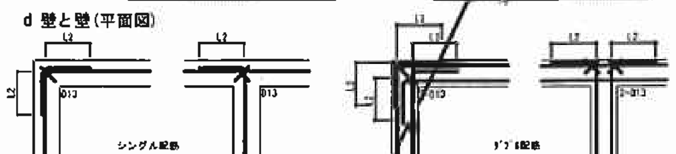
a 梁に　　b 柱に(平面図)



c 床に　(非耐力壁とスラブが取り合う場合)

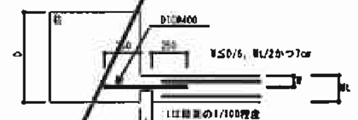


d 壁と壁(平面図)



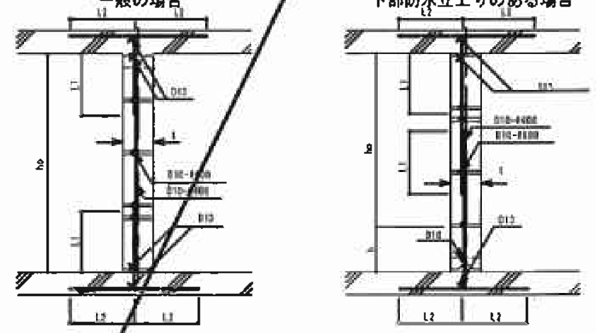
(2) スリット部(設計図に記入のあるとき)
部分スリットの場合

スリット部の鉄筋の被り厚さは2-(4)がかぶり厚さの表、最小かぶり厚さ以上とする。



(3) コンクリートブロック帳壁

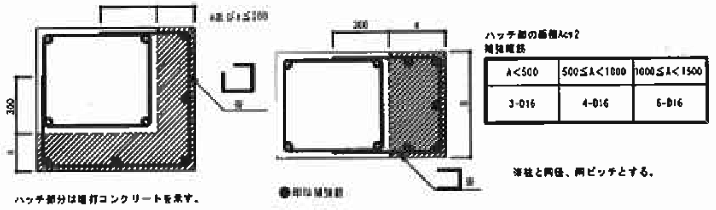
一般の場合　　下部防水立上りのある場合



注) ho≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強

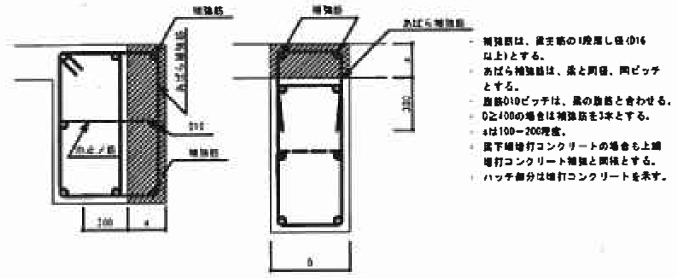
(増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)



ハッチ部の面積A㎠
補強鉄筋

A<500	500≦A<1000	1000≦A<1500
3-D16	4-D16	5-D16

(2) 梁



- 補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100～200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

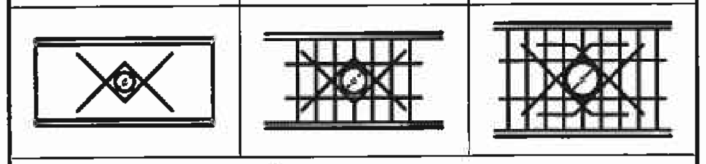
11. 梁貫通孔補強

(a) 設置可能範囲

(1) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
(2) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3(Dは梁せい)の範囲には設けてはならない。
(3) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
(4) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
(5) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(6) 補強筋は、主筋の内側とする。
(7) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) 鉄筋標準配筋但し、φ≦D/3とする

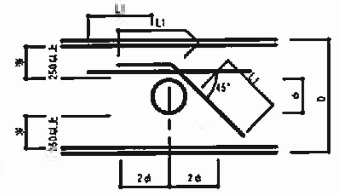
80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折　筋　2-(2-D13) 縦　筋　ST2-D13	折　筋　2-(2-D13) 縦　筋　ST2-D13-100@ 横　筋　2-(2-D13)	斜　筋　4-(2-D13) 縦　筋　ST2-D13-100@ 横　筋　2-(2-D13) 上下縦筋　ST2-D13



φ>250

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

※ 部分については計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくて良い。



- 梁幅が400を超える場合は補強筋でD13はD16又は、2-D13は3-D13と、各々読みかえる

(c)既製品 (使用するときは、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

□リング型　□パイプ型　□金網型　□プレート型
MAXウェンブレン同等品

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅昌信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A42	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅰ期)	工事設計図
						図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	scale

増打するときは事前に設計者、

構造関係共通事項(鉄骨標準図)

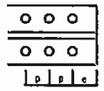
1-1 縁端距離及びボルト間隔

(a) 縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位mm)

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

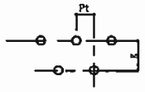


(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位mm)

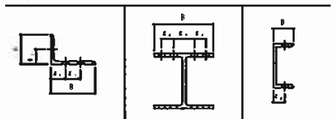
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	-	40



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位mm)



A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g1	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40*	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1 千鳥打ちとした場合

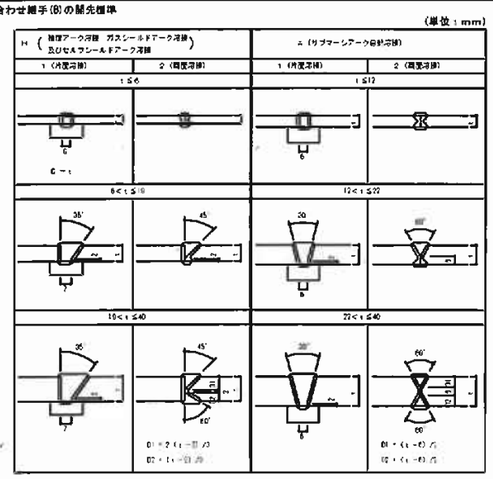
1-2 普通ボルト接合

もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

1-3 溶接継手の種類別開先標準

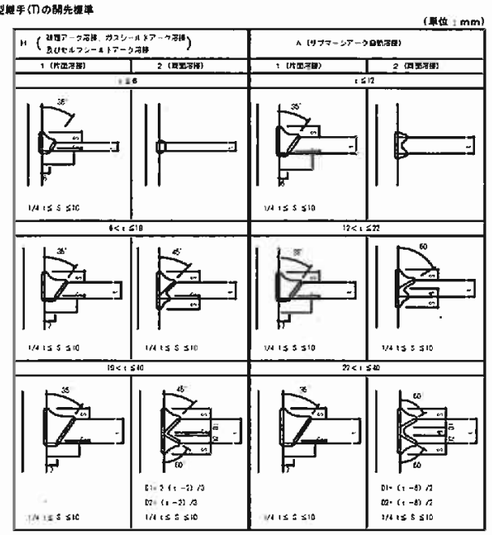
突合わせ継手(B)の開先標準

(単位：mm)



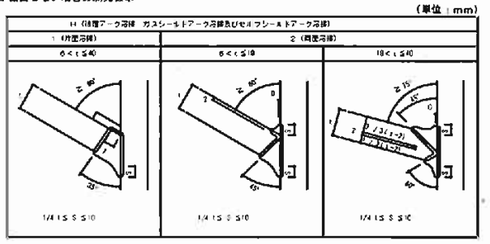
T型継手(T)の開先標準

(単位：mm)



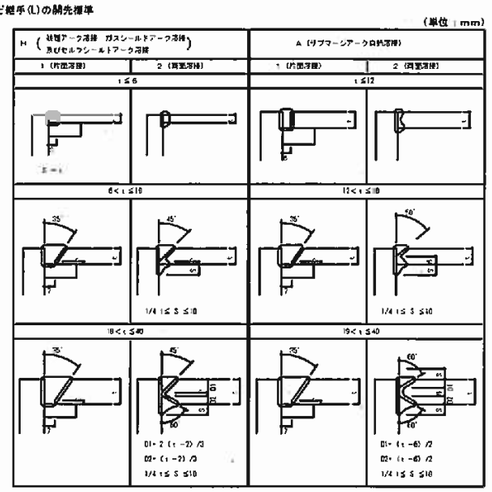
斜材が直交しない場合の開先標準

(単位：mm)



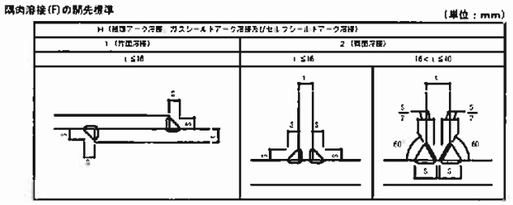
かど継手(L)の開先標準

(単位：mm)



隅肉溶接(F)の開先標準

(単位：mm)



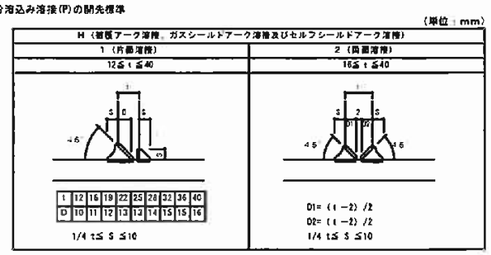
隅肉溶接のサイズ

(単位：mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	13	17	19	21	24

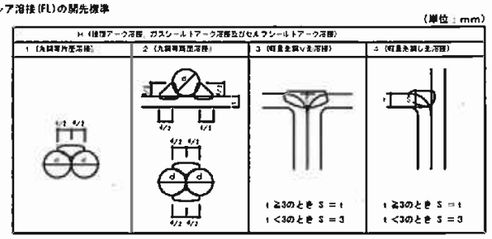
部分溶込み溶接(P)の開先標準

(単位：mm)



フレア溶接(FL)の開先標準

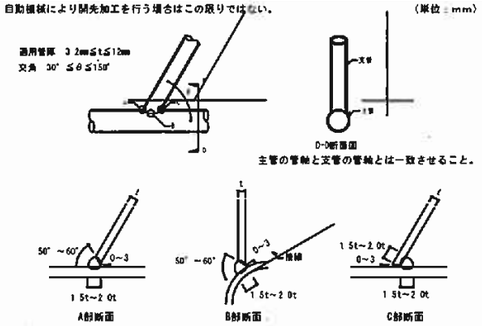
(単位：mm)



1-4 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。

(単位：mm)



主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。

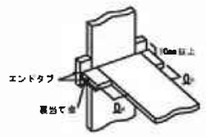
A部断面　B部断面　C部断面

1-5 鉄骨溶接施工

(a) エンドタブ、裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

(b) エンドタブ

(1) エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。

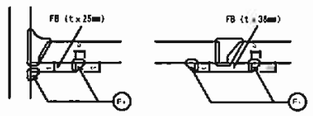


溶接方法	ℓ_1
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(c) 裏当て金

(1) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

(2) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



裏当て金の厚さ (単位：mm)

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ (単位：mm)

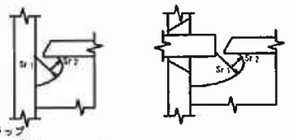
裏当て金の厚さ	s
t≦9	5
t>9	9

(d) スカラップ

改良型スカラップ

(1) スカラップ半径Sr は35mmとする。Sr は10mmとする。

(2) スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



従来型スカラップ

(1) スカラップ半径Srは35mmとする。

(e) スニップカット

(1) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

スニップカットの寸法

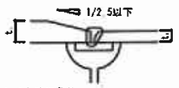
(2) スニップカットの寸法は下表による。

ただし、既設形鋼のスニップカットについては、Sa=r+2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sa	10	12	14	15

(f) 溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合



(g) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	40以下	350以下
		YGW-18, 19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm²以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50M, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
		YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm²以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50M, 50P		
520N級鋼	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級STKR、BCR及びBCP	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
		YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490N級STKR、及びBCP	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

1-6 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は荷重鋼材にフレア溶接を行う場合の溶接長さ(L)は、ビードの始点(La)及びクレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。

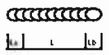
L 片面フレア溶接の場合 10d

両面フレア溶接の場合 5d

La及びLbは1d(荷重鋼材については1S)以上

d 異形鉄筋の呼び名に用いた数値

S 溶接のサイズ



備考		株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A43	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期） 工事設計図
							図面名 鉄骨標準図（1） scale

1-7 部材記号及び符号

（a）本図中、特記のなき場合、各部材記号は下記による。

記号	部材	記号	部材
C	柱	DFP	ダイアフラム
P	間柱	SPL	スチフナープレート
G	大梁	CPL	カバープレート
CG	片持ち梁	GPL	ガセットプレート
B	小梁	RPL	リブプレート
T	横補剛材	B PL	ベースプレート
		FsPL	フランジプレート
S	木製片枠のRC床版	WsPL	ウェーブプレート
SD	デッキプレート型枠のRC床版	HTB	高力ボルト
D	デッキプレート床	A BOLT	アンカーボルト

1-8 梁フランジとダイアフラムの関係

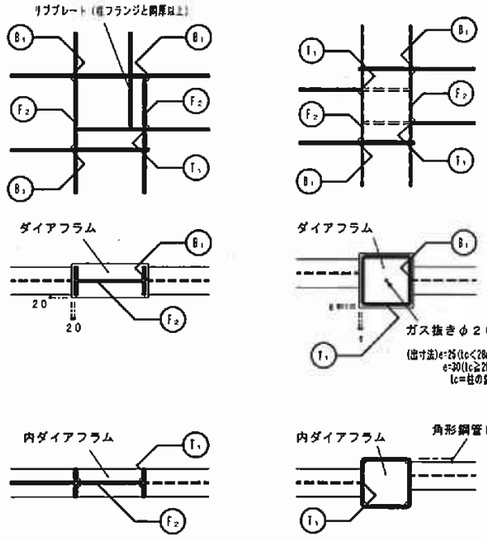
（A）梁フランジとダイアフラムの関係

梁フランジ厚	ダイアフラム厚
PL− 7～10	PL−16
PL−11～14	PL−19
PL−15～17	PL−22
PL−18～20	PL−25
PL−21～23	PL−28
PL−24～26	PL−32
PL−27～28	PL−36

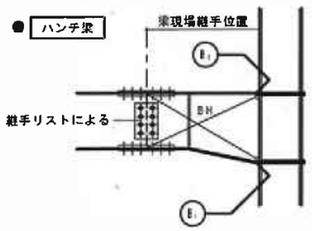
※ダイアフラムの厚さは、そのプレートに当たる一番フランジの厚いものにより決定する。但し、異形柱接合部となるダイアフラムは特記による。

（B）柱梁接合部（スカラップ部分は廻し溶接する。）

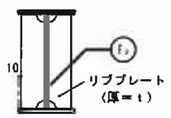
□ H形鋼柱　　● 角形鋼管柱



● ハンチ梁



BH：ビルトアップH形を示す。
t：ウェーブプレートと同厚、かつフランジ厚の1／2以上



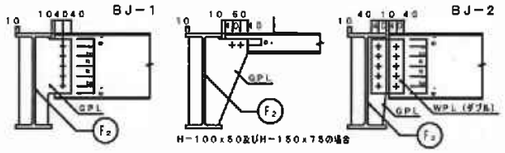
1-9 柱、梁接合離手リスト

（1） ボルトピッチ（P）、ボルト孔径・最小縁端距離（mm）

呼び径			M16	M20	M22
孔 径			18	22	24
採用ピッチ	フランジ	p	60	60	60
	ウェブ	g_2	60（90、120）	60（90、120）	60（90、120）
はしあき		e_1、e_3	40	40	40
へりあき（最小値）		e_2	22	26	28

※ピン接合継手のg_2、e_1は特記なき限り上記による

（2） ピン接合梁継手リスト



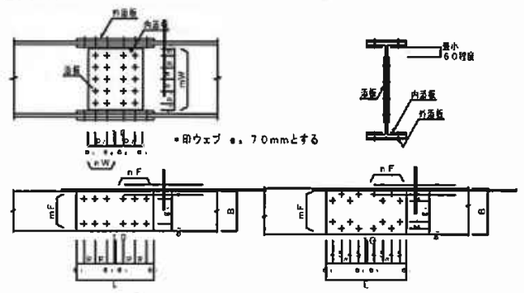
BJ−1 符号	部材	ボルト径	本数	GPL厚	ウェブ添板 WPL厚	備考
	H−100×50×5×7	M16	2	6		ボルトは横打ち
	H−150×75×5×7	M20	2	9		〃
	H−148×100×6×9	M20	2	9		〃
	H−175×90×5×8	M16	3	6		
	H−198×99×4.5×7	M20	2	9		g2=70、e1=35
B1	H−200×100×5.5×8	M20	2	9		
	H−248×124×5×8	M20	3	9		
	H−250×125×6×9	M16	3	9		
	H−298×149×5.5×8	M20	3	9		g2=70、e1=40
	H−300×150×6.5×9	M20	3	9		
	H−346×174×6×9	M20	4	9		
	H−350×175×7×11	M20	4	9		
	H−396×199×7×11	M20	4	9		
	H−400×200×8×13	M20	5	9		
	H−446×199×8×12	M20	5	9		
	H−450×200×9×14	M20	6	12		

BJ−2 符号	部材	ボルト径	本数	GPL厚	ウェブ添板 WPL厚	備考
	H−346×174×6×9	M20	4	9	6	
	H−350×175×7×11	M20	4	9	6	
	H−396×199×7×11	M20	4	9	9	
	H−400×200×8×13	M20	4	9	9	
	H−446×199×8×12	M20	4	9	9	
	H−450×200×9×14	M20	4	9	9	
	H−496×199×9×14	M20	5	9	9	
	H−500×200×10×16	M20	5	12	9	
	H−596×199×10×15	M20	6	12	9	
	H−600×200×11×17	M20	6	12	9	
	H−294×200×8×12	M20	3	9	9	
	H−340×250×9×14	M20	3	9	9	
	H−390×300×10×16	M20	4	12	9	
	H−440×300×11×18	M20	4	12	9	
	H−482×300×11×15	M20	5	12	9	
	H−488×300×11×18	M20	5	12	9	

（3） 梁継手、柱継手　ディテールの共通事項

H形鋼フランジ幅 B	高力ボルト使用区分 M16	M20	M22	フランジゲージ g_1	g_2	フランジ添板幅 外側	内側	ウェブ添板	備考
100	○			56	−	100	−		シングル
125	○			75	−	125	−		シングル
150	○	○		90	−	150	60		シングル
175	○	○		105	−	175	70	最小60対応	シングル
200		○	○	120	−	200	80		シングル
250		○	○	150	−	250	100		シングル
300		○	○	150	40	300	110		チドリ
350		○	○	140	70	350	140	H−100は30mmとする	ダブル
400		○	○	140	90	400	170		ダブル

梁　継手リスト



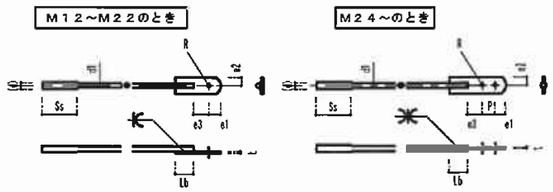
柱（GJ）符号	部材	ボルト径	フランジ ボルト nF×mF	ゲージ g_1	g_2	外添板 厚×長さ	内添板 厚×幅	ウェブ ボルト mW×nW	p	添板 厚×幅×長さ
	H−200×100×5.5×8	M16	2×2	56	−	16×290	−	2×1	60	6×140×170
	H−248×124×5×8	M16	3×2	75	−	12×410	−	2×2	90	6×170×290
RG1・CB1	H−250×125×6×9	M16	3×2	75	−	12×410	−	2×2	90	6×170×290
	H−298×149×5.5×8	M20	2×2	90	−	9×290	9× 60	2×1	120	6×200×170
	H−300×150×6.5×9	M20	2×2	90	−	9×290	9× 60	2×1	120	6×200×170
	H−346×174×6×9	M20	2×2	105	−	9×290	9× 70	3×1	60	6×260×170
	H−350×175×7×11	M20	2×2	105	−	9×290	9× 70	3×1	60	6×260×170
	H−396×199×7×11	M20	3×2	120	−	9×410	9× 80	4×1	60	9×260×170
	H−400×200×8×13	M20	3×2	120	−	9×410	9× 80	4×1	60	9×260×170
	H−446×199×8×12	M20	3×2	120	−	12×410	12× 80	5×1	60	9×320×170
	H−450×200×9×14	M20	3×2	120	−	12×410	12× 80	5×1	60	9×320×170
	H−500×200×10×16	M20	3×2	120	−	12×410	12× 80	5×1	60	9×320×170
	H−600×200×11×17	M20	3×2	120	−	12×410	12× 80	4×2	120	9×440×290
	H−148×100×6×9	M16	2×2	56	−	16×290	−	1×2	60	6× 80×290
	H−194×150×6×9	M20	2×2	90	−	9×290	9× 60	2×1	60	6×140×230
	H−244×175×7×11	M20	2×2	105	−	9×290	9× 70	2×1	60	9×140×170
	H−294×200×8×12	M20	3×2	120	−	9×410	9× 80	3×1	60	9×200×170
	H−340×250×9×14	M20	4×2	150	−	12×530	12×100	3×1	60	9×200×170
	H−390×300×10×16	M20	4×2	150	40	12×440	12×110	4×1	60	9×260×170
	H−440×300×11×18	M20	4×2	150	40	12×440	12×110	5×1	60	9×320×170
	H−488×300×11×18	M20	4×2	150	40	12×440	12×110	4×2	90	12×350×290
	H−588×300×12×20	M20	5×2	150	40	12×530	16×110	4×2	120	9×440×290
	H−100×100×6×8	M16	2×2	56	−	12×290	−	1×2	60	9× 50×350
	H−200×200×8×12	M16	2×2	56	−	12×290	−	1×2	60	9× 50×350

SCSS-H97によ

梁（GJ）符号	部材	ボルト径	フランジ ボルト nF×mF	ゲージ g	g	外添板 厚×長さ	内添板 厚×幅	ウェブ ボルト mW×nW	p	添板 厚×幅×長さ

1-10 ブレース取付基準図

（A）丸鋼ブレース（JIS規格品とする　JIS　A5540～5542）
羽子板ボルト

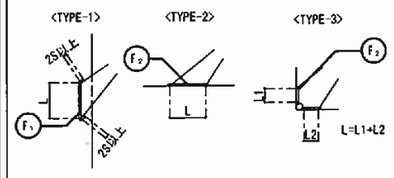


ねじの呼び（d）		M12	M16	M20	M22
軸径（d1）	標準	10.7	14.56	18.22	20.22
調整ねじの長さ	Ss	100	125	150	165
取付ボルト穴許容誤差＋0、−0　5mm	R	13	17	21.5	23.5
はしあき（最小）　注（b）	e1	35	45	50	55
へりあき（最小）　注（a）	e2	22	28	34	38
板厚	t	4.5	6	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）	e3	47	59	66	75
溶接長さ（最小）	Lb	40	55	75	85
取付ボルト本数　注（b）		1−M12	1−M16	1−M20	1−M22
ガセットプレート厚		6	9	9	9

注（a）e1、e2が確保されていれば形状は自由でよい。
（b）羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。
（c）取付ボルトの種類はJISB1186　2種高力ボルト（F10T）又はJISB1180　中8g10.9　又はトルシア型高力ボルトS10T

1-11 その他

（A）屋根ブレース端部ガセットプレート溶接図（最小溶接長）
大梁ウェブ又は大梁ウェブ及び小梁取付ガセットプレートに屋根勾配で溶接。



サイズ	ガセットプレート厚さ
M12	6
M16	9
M20	9
M22	9

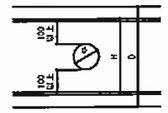
L≧Le	L ≧ Le/2 + 2S	L ≧ Le/2 + 4S
M12 L=60	M12 L=42	M12 L=54
M16 L=80	M16 L=56	M16 L=72
M20 L=80	M20 L=56	M20 L=72
M22 L=80	M22 L=56	M22 L=72

1-12 梁貫通孔補強

（a）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

（1）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
（2）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

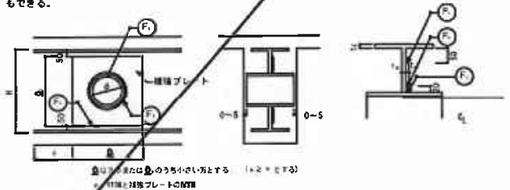
梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）



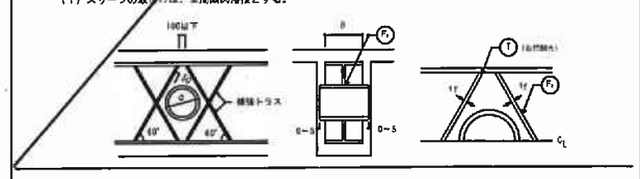
H　鉄骨せい
D　はりせい
φ　貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

（b）貫通孔の補強方法は、構造図による。
（1）補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法
（1）補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
（2）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとの[illegible]mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

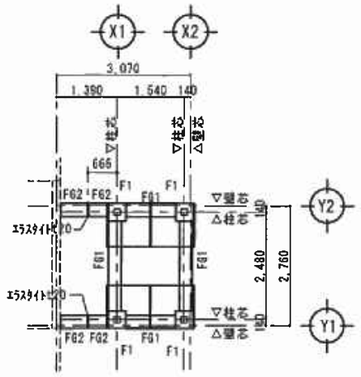


補強トラス法
（1）スリーブの取付[illegible]は、全周隅肉溶接とする。

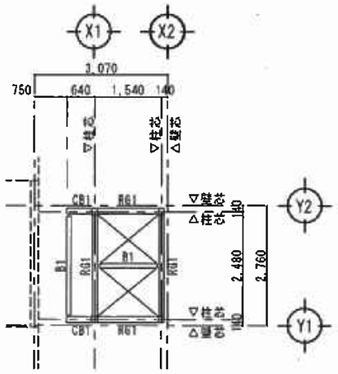


備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A44	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 鉄骨標準図（2）	scale

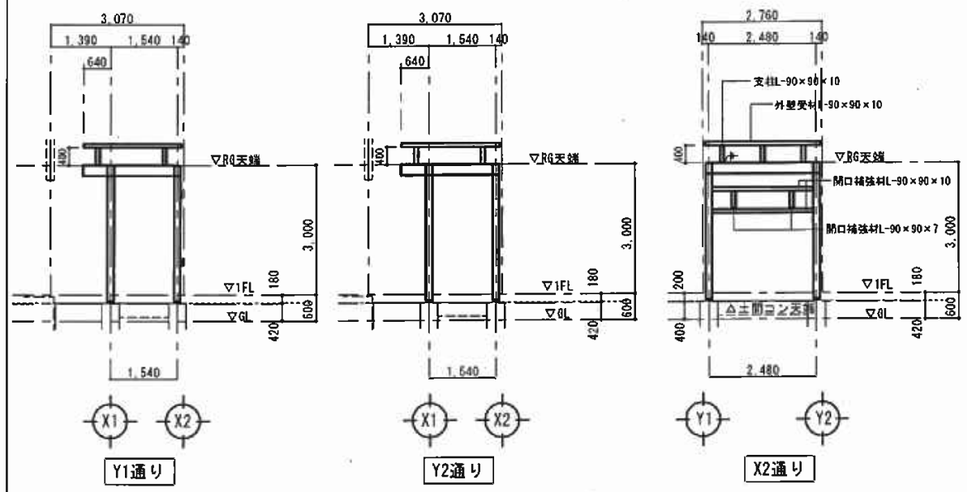
基礎伏図 S=1/100



屋根梁伏図 S=1/100



軸組図 S=1/100



使用材料等

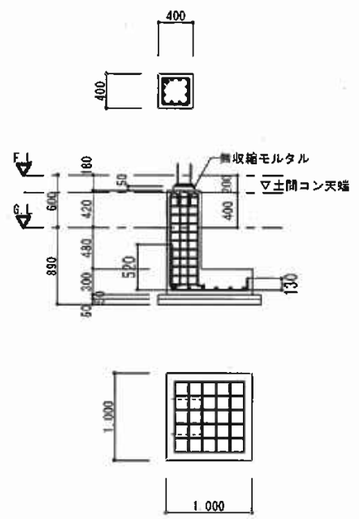
躯体コンクリート	普通 Fc = 21N/mm2 スランプ 18cm	
土間コンクリート	普通 Fc = 18N/mm2 スランプ 15cm	
鉄筋	SD295A(D10～D16) SD345 (D19以上)	

鉄骨リスト

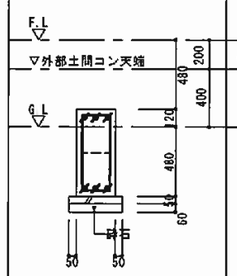
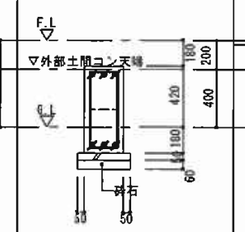
符号	主材	備考
RG1	H－250×125×6×9	大梁(RF) SN400B
B1	H－200×100×5.5×8	小梁 SS400
CB1	H－250×125×6×9	片持梁 SN400B
C1	□－150×150×9	柱 BCR295
水平ブレース	M16（JISターンバックル）	接合 1-M16

注）特記なき限り下記による。
1. 材質はSN400A（大梁ブラケット端はSN400B）、SSC400、BCR295とする。
2. ダイアフラム・ベースPLはSN490Cとする。
3. 接合部板材質は母材に倣うものとする。
4. 高力ボルト材質は、S10Tとする。

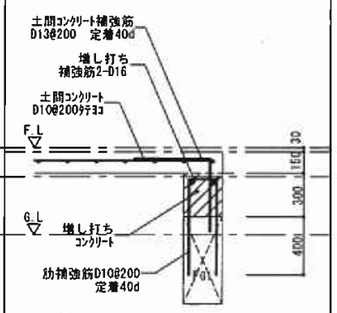
基礎リスト S=1/50

符号	F1
形状	
主筋	12-D16
HOOP	D10-@200
ベース筋	6-D13

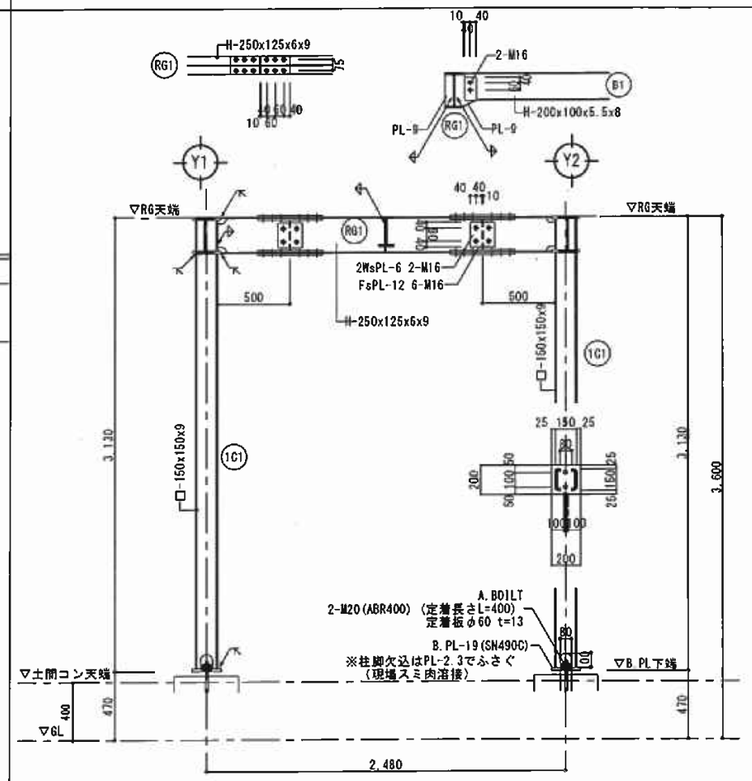
地中梁リスト S=1/30

符号	FG1	FG2
形状		
断面寸法	250x600	250x600
上端筋	3-D16	3-D16
下端筋	3-D16	3-D16
肋筋	D10-@200	D10-@200
腹筋	2-D10	2-D10
幅止め筋	D10-@1000	D10-@1000

配筋詳細図 S=1/30



鉄骨架構詳細図 S=1/30



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1861 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68276号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A45	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期） 工事設計図
						図面名	屋内運動場多目的トイレ（新設）構造図 scale 1/50

電　気　設　備　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事
2．工事場所　　岐阜県　可児市　青葉台地内
3．建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（m²）	消防法施行令別表第一	備考
(南舎)普通教室棟	RC	3	3,189.33 ㎡	項　（　）	改修
(北舎西)管理特別教室棟	RC	3	1,841.17 ㎡	項　（　）	改修
(北舎東)普通特別教室棟	RC	4	1,599.93 ㎡	項　（　）	改修
特別教室棟・配膳室棟	S	平屋	764.25 ㎡	項　（　）	改修
屋内運動場棟	SRC	2	1,889.23 ㎡	項　（　）	改修
同上多目的トイレ(今回増築)	S	平屋	8.47 ㎡	項　（　）	増築
プール付属棟	RC	平屋	116.57 ㎡	項　（　）	改修
屋外トイレ	S	平屋	21.00 ㎡	項　（　）	改修

4．工事項目　　〇 印内に番号記入のもの及び　　印のみ適用する）

工事項目＼建物名称	(南舎)普通教室棟	(北舎西)管理特別教室棟	(北舎東)普通特別教室棟	特別教室配膳室棟	屋内運動場棟	同左多目的トイレ今回増築	プール付属棟	屋外トイレ
高圧受変電設備								
自家発電設備								
① 幹線設備	〇	〇	〇		〇		〇	
動力設備								
② 電灯設備								
⊙ 照明設備	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
⊙ コンセント設備	〇	〇	〇		〇	〇	〇	
・ 電気暖房設備								
放送、電気時計設備								
・ 館内放送　設備								
・ 　　　設備								
・ 電気時計設備								
電話設備								
・ 電話用配線設備								
・ LAN用配線設備								
③ 表示、警報設備								
⊙ トイレ呼出表示設備	〇		〇			〇		
・ 警備保障会社用配管設備								
・ ITV設備								
インターホン設備								
テレビ共聴設備								
④ 防災設備								
⊙ 自動火災報知設備	〇		〇					
・ 自動閉鎖装置設備								
・ ガス漏れ警報設備								
・ 誘導灯設備								
・ 非常用照明設備								
・ 非常警報設備								
・ 漏電火災警報設備								
避雷針設備								
構内配電線路（強電）								
構内配電線路（弱電）								
太陽光発電設備								

5．別途工事
・建築工事　・機械設備工事

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様　　（⊙ 印のみ適用する）
特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

⊙ 工事請負契約書
⊙ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　最新版　（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）　最新版　（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書　最新版　（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
・ 公共住宅建設工事共通仕様書　最新版　（公共住宅事業者等連絡協議会監修）
⊙ 可児市建築工事共通仕様書　最新版　（可児市）
⊙ 内線規程　最新版　（電気技術基準調査委員会編集）
⊙ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2．特記仕様　　（項目は番号に 〇 印記入のもの、選択式の特記事項は　　印のみ適用する）

共通事項

項目	特記事項
① 適用範囲（1）	この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）による。
② 適用範囲（2）	設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1）質疑応答書　2）現場説明書　3）工事仕様書　4）標準特記仕様書（添付された場合に限る）　5）図面　6）公共建築改修工事標準仕様書　7）公共建築工事標準仕様書　8）可児市建築工事共通仕様書
③ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。
④ 工事実績情報の作成・登録	公共建築工事標準仕様書 第1編 第1章 1－1－4工事実績情報の登録により、工事受注代金額５００万円以上の工事について「CORINS」を作成、登録することとする。 手続きの流れは別紙のとおりとする。
⑤ 提出書類	本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出または提示とする。　また、工事着工時に工事用製本（A３二つ折り）３部を提出とする。
⑥ 完成時の提出書類	工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出とする。　完成図は施工図も含め完成製本（A２二つ折り、A３二つ折り）各２部提出とする。 また、CADデーター（JWW又はDXF及びPDF）を提出とする。
⑦ 工事書類の簡素化	提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するもとする。　また、工事打合簿（指示・協議・承諾は除く）、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき電子メールにて提出するものとし、書面には署名又は押印する必要は無いもとする。　これらに定めない事項については、監督員と協議とする。
⑧ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
9 建設工事保険（火災保険含む）	工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを工事着手後１４日以内に提出すること。　加入期間は工事着手より、完成検査引渡しまでの期間を満足すること。
10損害保険	工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。
⑪ 質　疑	本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなけらばならない。
⑫ 設計変更	建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。
⑬ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない
⑭ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について工事完了時までに所定の様式により提出することが出来る。
⑮ 立会検査	下記の項目については、監督員の立合検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。 ⊙各種製品検査　⊙各種仕上検査　⊙工事中間検査及び竣工検査
⑯ 使用材料	⊙本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ⊙上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。
⑰ 材料試験	本工事に使用する材料の内、監督員より指示あるものに関してはその成積表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。尚試験に要する費用は全て受注者の負担とする
⑱ 既存との取合い	本工事施工に伴う既存設備の軽微な加工、改造は、本工事とする。
⑲ 撤去工事	撤去及び取壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないよう充分検討した上で着工する。
⑳ 再利用機器	撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。　但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
㉑ 発生材の処理	引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。
㉒ 産業廃棄物の適正処理	受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並び確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。　廃棄物マニフェストE票を一覧にし提出する。
㉓ 新築時廃棄物	処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。
㉔ 再資源化施設への搬出	工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。 ・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・木屑　・繊維屑　・プラスチック屑 ・石膏ボード　⊙鉄・アルミ・ステンレス屑　・ガラス・陶磁器屑
㉕ 再生資材計画書及び再生資源利用促進計画書（COBRIS）	建設工事リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。
26再生資材の利用	下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針（日本道路協会）	構内アスファルト
再生クラッシャラン		アスファルト舗装下

項目	特記事項
27残土処分	場外処分とする。
㉘ はつり	はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告を行うこと。　既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
29耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針　2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［kg f］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	[illegible]	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	[illegible]	0.6
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

［備考］（※1）水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤　・発電装置　・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・変換機　・自動火災報知受信機　・中央監視装置　・
上層階の定義は次による。
2－6階建の場合は最上階、7－9階建の場合は上層2階、10－12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項目	特記事項
㉚ 配線器具	配線器具は、下記を標準とする。 ⊙大角形連用型　・ワイドハンドル型　・
㉛ フラッシュプレート	プレートは、下記を標準とする。 ・樹脂製（洋風モダン）　⊙ 新金属製
32別途工事	・電力会社外線工事負担金　・電話機器納入、取付 ・光ケーブル（CATV）引込工事 ・警備保障配線工事及び機器納入、取付
㉝ 工事方法	・電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。 ・建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。 ⊙ 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が４個以下の場合はPF-S22を１本、５個以上の場合は２本以上天井裏まで立上げる。（露出配管の場合は屋内：E-25、屋外　G-22とする） ・配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線（1.2ｍ／ｍビニル被覆鉄線）を挿入する。 ⊙ 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。（エッチングプライマー下処理の後、指定色OP２回塗り） ⊙ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。 ⊙ 建物内で、配管の１区間が３０ｍ以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。 ・FP板（スタイロフォーム等）打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。（外壁部のみ） ⊙ ジョイントボックス等、配線器具を実装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。 ⊙ 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート（樹脂製、エッチング文字）を設ける。 ⊙ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。 （イ）建築基準法　告示　第３１８３号に準拠 （ロ）（財）日本建築センター（BCJ）防災評定品の使用
㉞ 照明器具の吊ボルト	（イ）吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」によりものとする。 改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。 （ロ）その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。 （ハ）特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。
㉟ 工事保証	建築竣工引渡し後、原則として５年以内（特に指定のある工種を除く）において、工事不良の為生じたと認められる損害等については、受注者の費用負担にて敏速丁寧に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は１０年間とする。
㊱ 経年検査	建築竣工引渡後１年が経過した時点において監督員立合のもとで１年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。
㊲ 施工調査	⊙ 事前調査（ ⊙本工事　・別途 ） ⊙ 調査項目（ ⊙既存資料調査　⊙既設配線ルート ） ⊙ 調査範囲（ ・図示　⊙工事範囲 ） ⊙ 調査方法（ ・図示　⊙目視 ）
㊳ 工事着手前協議	1）本工事の受注者は、契約後１～２週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議行うこと。 2）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3）協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。
39ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について	1）ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。 2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
㊵ 改修工事注記事項	⊙ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。　従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。 ⊙ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。 ⊙ 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し→再取付等に伴う既設電気設備機器の取外し→再取付、配線の再接続等は本工事とする。 ⊙ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。 ⊙ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。 ⊙ 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。 ⊙ 上記、２項目に於いて金額の増減は無いものとする。
㊶ 撤去工事注記事項	⊙ 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。　建築工事において天井撤去、壁撤去に供い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。 ⊙ 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。　建築工事において天井撤去、壁撤去に供い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。 ⊙ 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。 ⊙ 上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事にて全て撤去とする。
㊷ 工事中の既設設備	⊙ 工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事とする。 既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。
㊸ そ　の　他	⊙ 別途機器への接続は、本工事とする。 ⊙ 姿図の寸法、形状は参考とする。

備　考

株式会社　三　宅　設　計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士　三　宅　品　信　第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	E01	図面名	電気設備工事仕様書	scale

分電盤結線図（1）

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ａ１　設置場所：屋内運動場 ２階 ホール　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※屋内運動場（f）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：2,300 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	700	100	A
女子WC 便座用コンセント	—	—	1,000	100	C
予　備	—	—	—	100	E

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	600	女子WC 便座用、洗面コンセント
D	100	—	—	—	予　備
F	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　6

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｂ２　設置場所：南舎西普通特別教室棟 ２階（３階） トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※南舎西普通特別教室棟（a2F・a3F）用

２Ｌ－１より
３Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：3,212 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	212	—	200	100	A
男子WC 小便器、便座用コンセント	—	—	600	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
予　備	—	—	—	100	G

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予　備
D	100	—	—	600	男子WC 便座用、洗面コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用　コンセント
H	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　8

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ａ２　設置場所：プール棟 機械室　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※プール棟トイレ（g）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：3,800 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	1,200	100	A
女子WC 便座用コンセント	—	—	1,500	100	C
予　備	—	—	—	100	E

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	1,100	女子WC 便座用、洗面コンセント
D	100	—	—	—	予　備
F	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　6

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｃ１　設置場所：南舎東普通教室棟 １階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※南舎東普通教室棟（b1F）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：5,900 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	300	—	300	100	A
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	700	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
女子WC 便座用　コンセント	—	—	1,000	100	G
予　備	—	—	—	100	I

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予　備
D	100	—	—	1,000	男子WC 便座用　コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用　コンセント
H	100	—	—	1,000	女子WC 便座用　コンセント
J	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　10

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｂ１　設置場所：南舎西普通特別教室棟 １階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※南舎西普通特別教室棟（a1F）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：3,212 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	212	—	200	100	A
男子WC 小便器、便座用コンセント	—	—	600	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
予　備	—	—	—	100	G

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予　備
D	100	—	—	600	男子WC 便座用、洗面コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用　コンセント
H	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　8

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｃ２　設置場所：南舎東普通教室棟 ２階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※南舎東普通教室棟（b2F・b多）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V　（合計負荷容量：4,992 VA）

ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	292	—	300	100	A
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	700	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
女子WC 便座用　コンセント	—	—	1,000	100	G
多目的WC 洗面コンセント	—	—	100	100	I

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予　備
D	100	—	—	1,000	男子WC 便座用　コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用　コンセント
H	100	—	—	—	予　備
J	100	—	—	—	予　備

MCCB 2P 1E　50AF/ 20AT　×　10

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	E02	図面名	分電盤結線図（1）	scale N.S

分電盤結線図（２）

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｃ３　設置場所：南舎東普通教室棟 ３階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※南舎東普通教室棟（b3F）用

３Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V （合計負荷容量：5,900 VA）
ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	300	—	300	100	A
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	700	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
女子WC 便座用 コンセント	—	—	1,000	100	G
予 備	—	—	—	100	J

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予 備
D	100	—	—	1,000	男子WC 便座用 コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用 コンセント
H	100	—	—	1,000	女子WC 便座用 コンセント
J	100	—	—	—	予 備

MCCB 2P 1E 50AF/ 20AT × 10

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｂ４　設置場所：北舎東普通特別教室棟 ２階（３階） トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※北舎東普通特別教室棟（d2F・d3F）用

Ｌ－２，３より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V （合計負荷容量：3,226 VA）
ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	226	—	200	100	A
男子WC 便座用 コンセント	—	—	1,000	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
予 備	—	—	—	100	G

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予 備
D	100	—	—	200	男子WC 小便器、洗面コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用 コンセント
H	100	—	—	—	予 備

MCCB 2P 1E 50AF/ 20AT × 8

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｂ３　設置場所：北舎西管理特別教室棟 １階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※北舎西管理特別教室棟（C）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V （合計負荷容量：3,212 VA）
ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	212	—	200	100	A
男子WC 小便器、洗面コンセント	—	—	600	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
予 備	—	—	—	100	G

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予 備
D	100	—	—	600	男子WC 便座用 コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用 コンセント
H	100	—	—	—	予 備

MCCB 2P 1E 50AF/ 20AT × 8

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｂ５　設置場所：屋内運動場 １階 ホール　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※屋内運動場（e）（j）用

１Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V （合計負荷容量：4,158 VA）
ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
多目的WC 電灯	58	—	100	100	A
多目的WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	C
男子WC 小便器、他コンセント	—	—	1,200	100	E
女子WC 便座用 コンセント	—	—	1,000	100	G
予 備	—	—	—	100	I

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	—	—	—	予 備
D	100	—	—	600	多目的WC オストメイト用
F	100	—	—	600	女子WC 便座用、洗面コンセント
H	100	—	—	—	予 備
J	100	—	—	—	予 備

MCCB 2P 1E 50AF/ 20AT × 10

新設　電灯分電盤：Ｌ－Ｃ４　設置場所：北舎東普通特別教室棟 １階 トイレ　屋内露出壁掛型、鋼板製　鍵付

※北舎東普通特別教室棟（d1F・d(多)）用

Ｌ－１より ※主幹の2次側へ接続する。
1φ3W
210/105V （合計負荷容量：3,990 VA）
ELCB 3P
50AF/ 30AT

負荷名称	容量(VA) 照明	コンセント	その他	電圧(V)	回路
男子・女子WC 電灯	226	—	200	100	A
男子WC 便座用 コンセント	—	—	1,000	100	C
女子WC 便座用、洗面コンセント	—	—	600	100	E
多目的WC オストメイト用	—	—	600	100	G
予 備	—	—	—	100	I

回路	電圧(V)	容量(VA) 照明	コンセント	その他	負荷名称
B	100	64	—	100	多目的WC 電灯
D	100	—	—	200	男子WC 小便器、洗面コンセント
F	100	—	—	1,000	女子WC 便座用 コンセント
H	100	—	—	—	予 備
J	100	—	—	—	予 備

MCCB 2P 1E 50AF/ 20AT × 10

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	工事設計図
		2024 10	E03	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	
				図面名 分電盤結線図（２）	scale N.S.

凡　例

記　号	名　称	仕　様	備　考
	電灯分電盤	既設及び、分電盤結線図参照	
	照明器具	平面図及び、照明器具姿図参照	
	〃	〃	
	照明器具（壁付け）	〃	
	照明器具（ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ）	〃	
●	タンブラスイッチ	1P15Ax1	埋込形、金属製プレート
●L	タンブラスイッチ	1P15Ax1 + 1P4Ax1(確認表示灯)	埋込形、金属製プレート
●3	タンブラスイッチ	3W15Ax1	埋込形、金属製プレート
○	パイロットランプ	既設	天井形
▽A	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形	天井埋込形
▽B	人感センサー子機	広角検知形	天井埋込形
▽C	人感センサー子機	換気扇連動可能 (動作時間10秒～30分可変形)	天井埋込形
▽D	人感センサー	照明制御及び、換気扇連動可能	天井埋込形
▽E	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形、屋外用	天井埋込形
▽F	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形	天井露出形
▽G	人感センサー子機	広角検知形	天井露出形
▽H	人感センサー子機	換気扇連動可能 (動作時間10秒～30分可変形)	天井露出形
●1SL	センサ用操作スイッチ	１回路（自動、切、手動切替）	壁付、埋込形
●2SL	センサ用操作スイッチ	２回路（自動、切、手動切替）	壁付、埋込形
⊖	壁付コンセント	125V、2P15Ax1	埋込形、金属製プレート
⊖ET	壁付コンセント	125V、2P15Ax1、接地端子付	埋込形、金属製プレート
⊖EET	壁付コンセント	125V、2P15Ax1、接地極、接地端子付	埋込形、金属製プレート
⊖2EET	壁付コンセント	125V、2P15Ax2、接地極、接地端子付	埋込形、金属製プレート
⊖ELK	天井付コンセント	125V、2P15Ax1 （抜止形）	埋込形、金属製プレート

記　号	名　称	仕　様	備　考
nL	トイレ呼出表示装置	トイレ呼出設備 機器姿図参照	nLは窓数を示す。
N	呼出ボタン（引きひも付）	〃	壁付、埋込形
R	復旧ボタン	〃	壁付、埋込形
	ブザー付廊下灯	〃	壁付、埋込形
	廊下灯	既設	壁付、埋込形
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ形感知器	既設（露出形）	
	換気扇	壁付	機械設備工事
	換気扇	天井付	機械設備工事
□	中継ボックス		
○	中継ボックス		
⊠	プルボックス	平面図注記を参照	
――――	配管配線・ｹｰﾌﾞﾙ配線	天井内いんぺい	
―・―・―	ｹｰﾌﾞﾙ配線	鉄骨部露出配線	
― ― ―	配管配線・ｹｰﾌﾞﾙ配線	床いんぺい	
- - - - -	配管配線・ｹｰﾌﾞﾙ配線	露出	
― ― ―	配管配線・ｹｰﾌﾞﾙ配線	地中埋設	
	配管配線	立上げ 素通し 引下げ	
○	回路番号	1φ2W 100V	
◇	回路番号	1φ2W 200V	
□	回路番号	3φ3W 200V	

照明器具姿図（参考図）

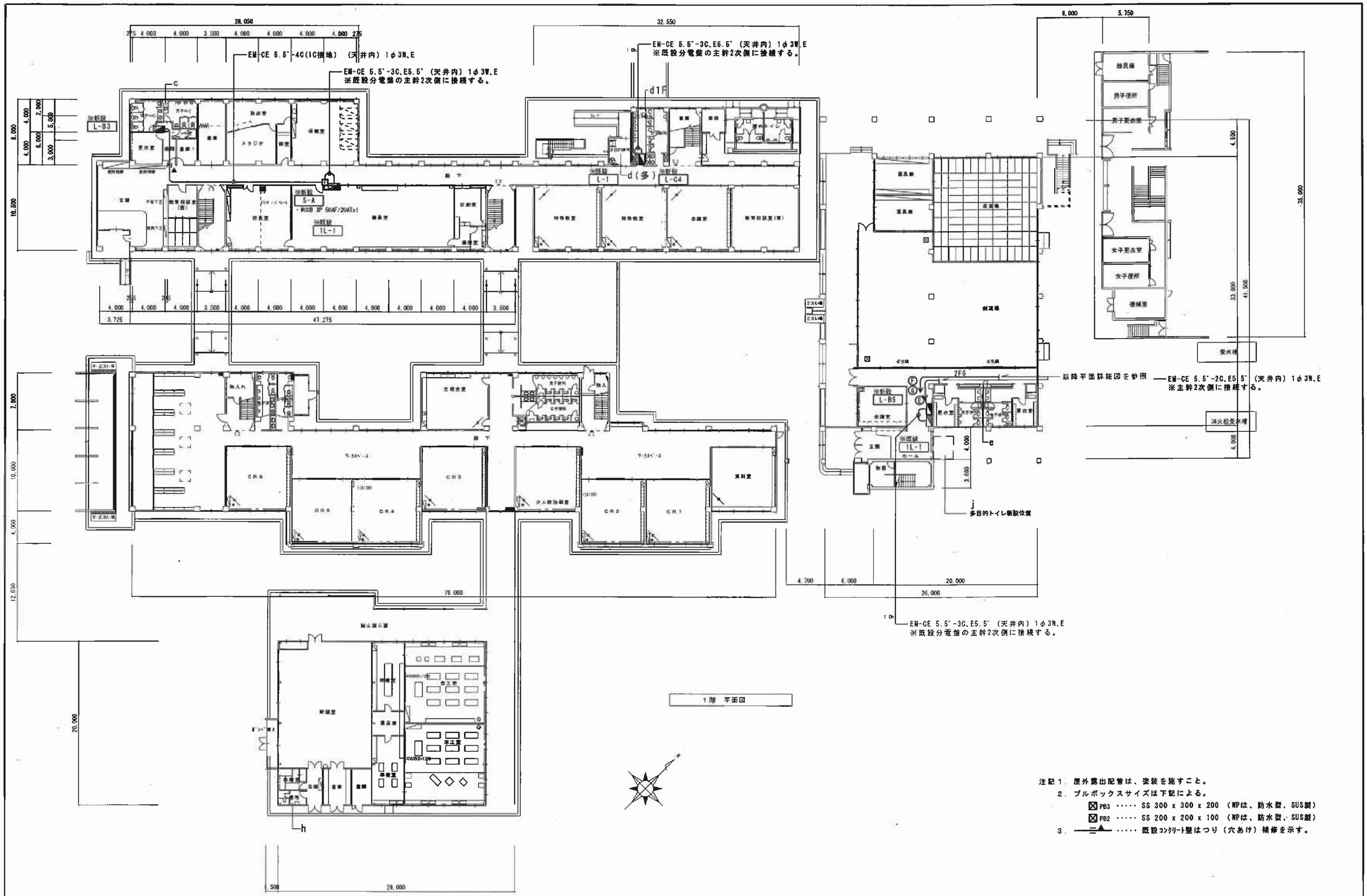
A1	LRS1 - 05 LW	B	LRS1 RP - 05 LW
A2	LRS1 - 08 LW		
A3	LRS1 - 13 LW		
A4	LRS1 - 17 LW		
A5	LRS1 - 22 LW		

C1	LSS9 - 4 - 30 LW		
C2	LSS9 - 4 - 48 LW		

備　考

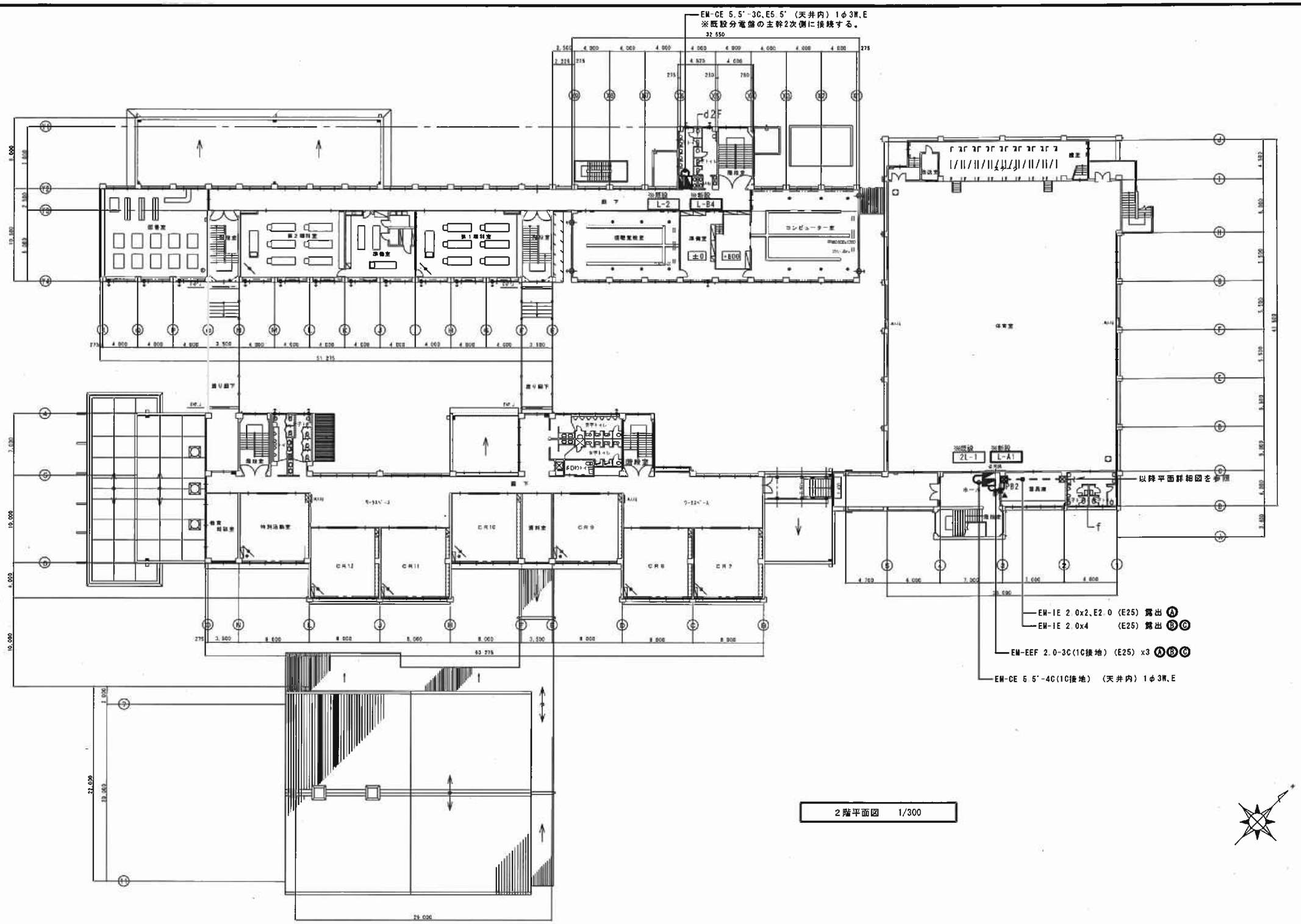
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅品信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	工事設計図
		2024.10	E04	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	
				図面名 凡例、照明器具姿図	scale N.S.



注記 1. 屋外露出配管は、塗装を施すこと。
2. プルボックスサイズは下記による。
PB3 ····· SS 300 x 300 x 200 (WPは、防水型、SUS製)
PB2 ····· SS 200 x 200 x 100 (WPは、防水型、SUS製)
3. ····· 既設コンクリート壁はつり(穴あけ)補修を示す。

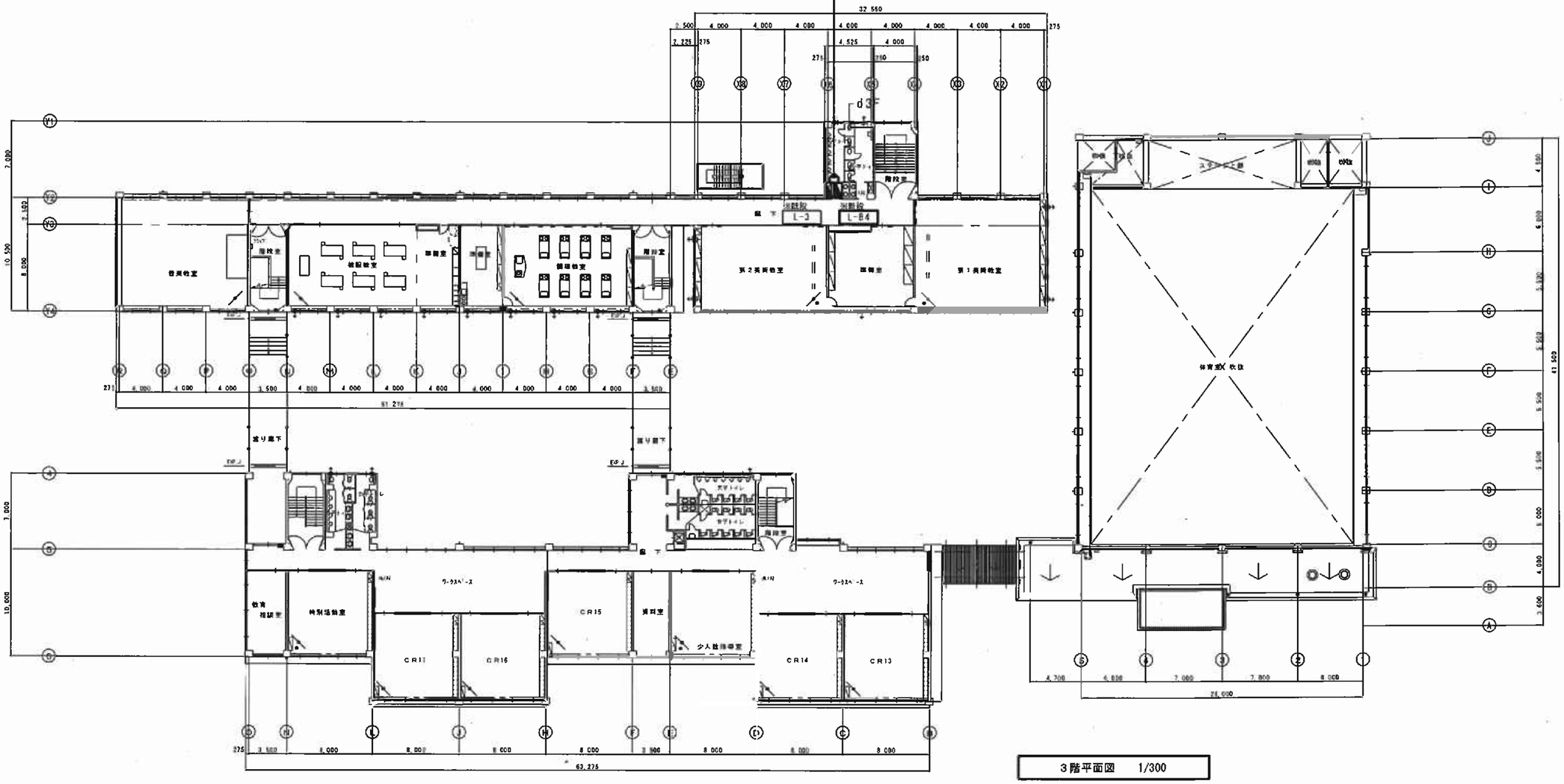
備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68276号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E05	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(I期)	工事設計図
						図面名 電灯設備 1階平面図	scale 1/300



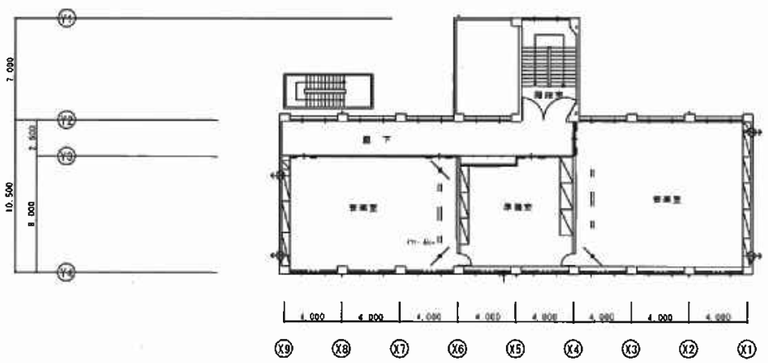
2階平面図 1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E06	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（1期）	工事設計図
						図面名 電灯設備 2階平面図	scale 1/300

EM-CE 5.5'-3C,E5.5' (天井内) 1φ3W,E
※既設分電盤の主幹2次側に接続する。

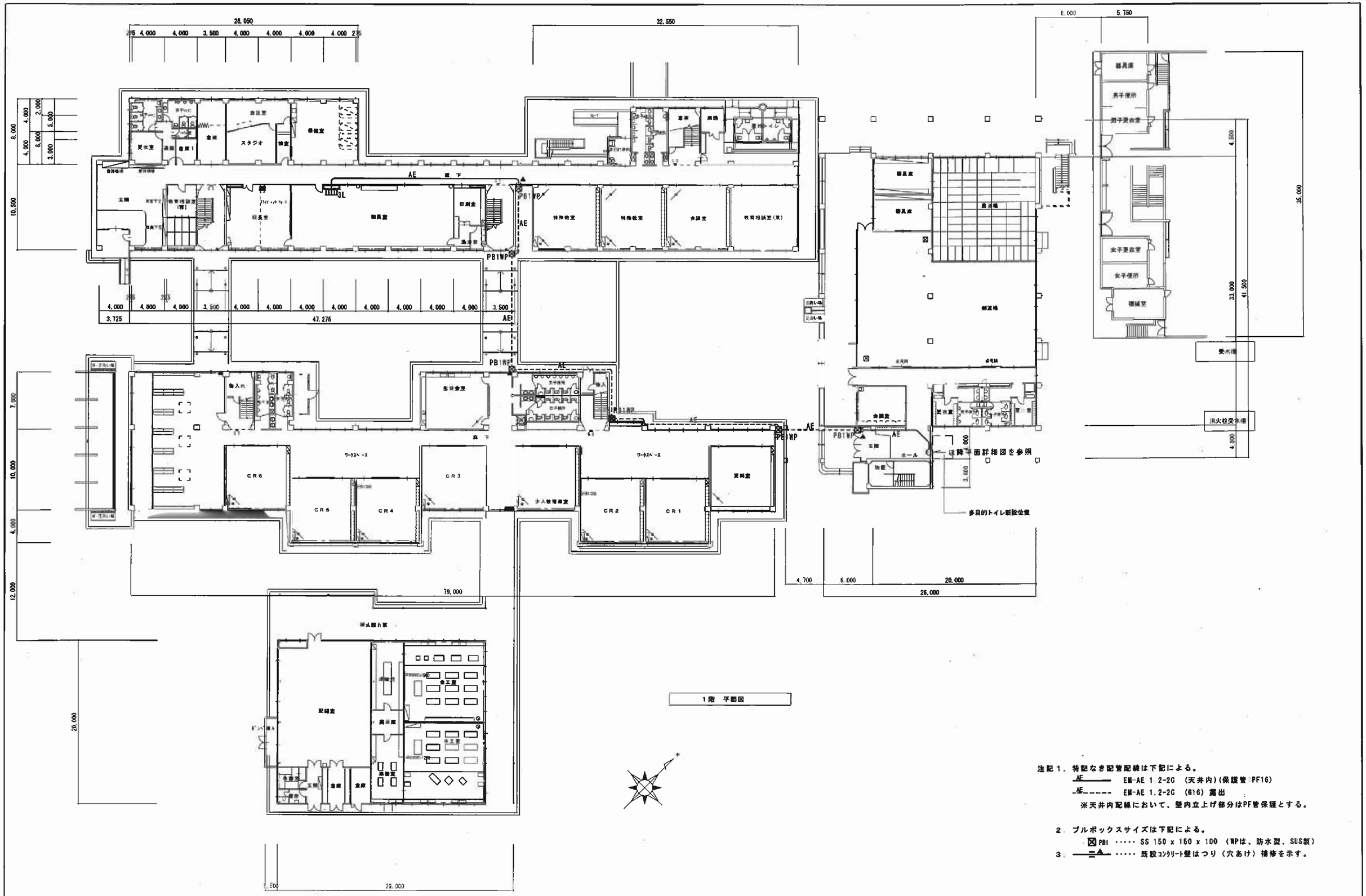


3階平面図　1/300



4階平面図　1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1861 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E07	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 電灯設備 3階・4階平面図	scale 1/300



注記1．特記なき配管配線は下記による。

AE ——— EM-AE 1.2-2C （天井内）（保護管 PF16）

AE - - - - - EM-AE 1.2-2C （G16）露出

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．プルボックスサイズは下記による。

⊠ PB1 ····· SS 150 x 150 x 100 （WPは、防水型、SUS製）

3．═══A ····· 既設コンクリート壁はつり（穴あけ）補修を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅品信 第68278号	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事	工事設計図
				2024.10	E08	図面名	トイレ呼出設備 1階平面図	scale 1/300

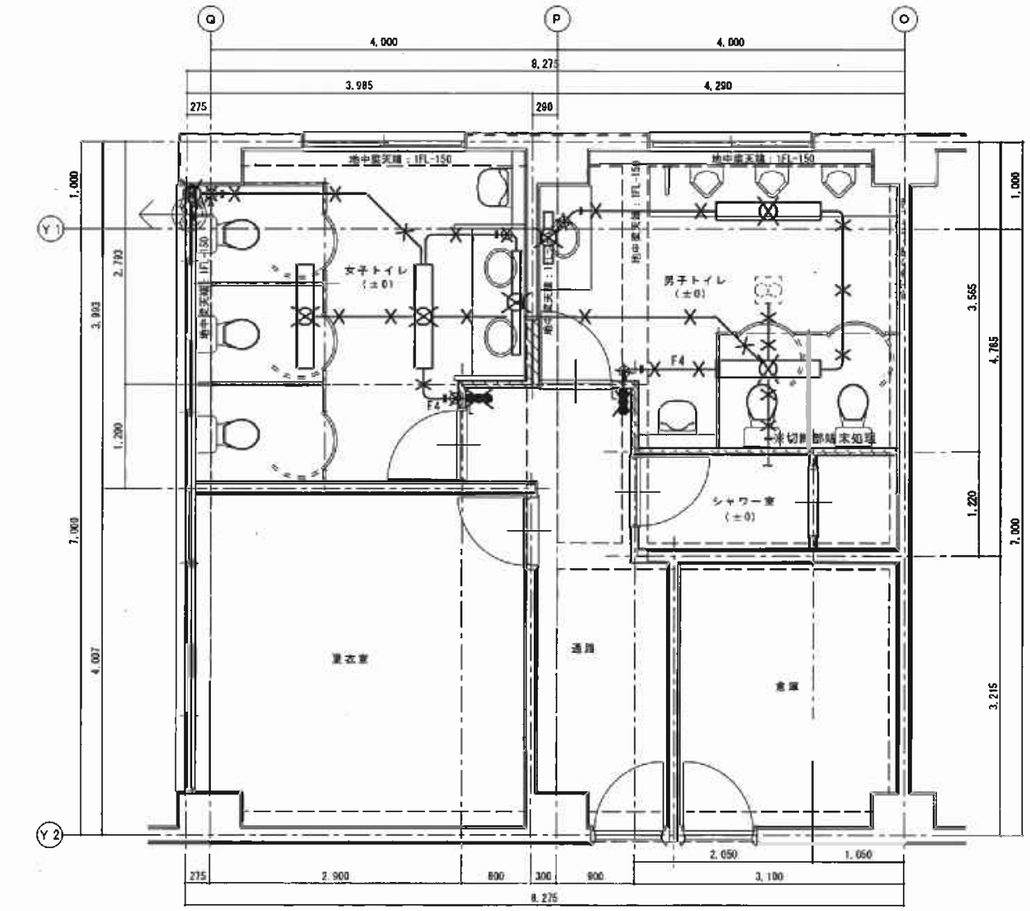
改修前（現況）北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　（平成18年度改修工事竣工）　1/50

※照明器具 撤去

女子トイレ	
埋込形　FHF 322	2
露出形　FL 401（壁付）	1

※照明器具 撤去

男子トイレ	
埋込形　FHF 322	2
露出形　FL 201（壁付）	1



北舎管理特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

注記１　特記なき配管配線は下記による。

――――	VVF 1.6 -3C	（天井内）
F4	VVF 1.6 -2C x2	（天井内）
F5	VVF 1.6 -2C + 3C	（天井内）
F6	VVF 1.6 -3C x2	（天井内）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2　X　……撤去を示す。
3　―X―　……配管配線共撤去を示す。
4　―X―　……配管配線の内配線のみ撤去を示す。
5　―+―　……配管配線の切断を示す。

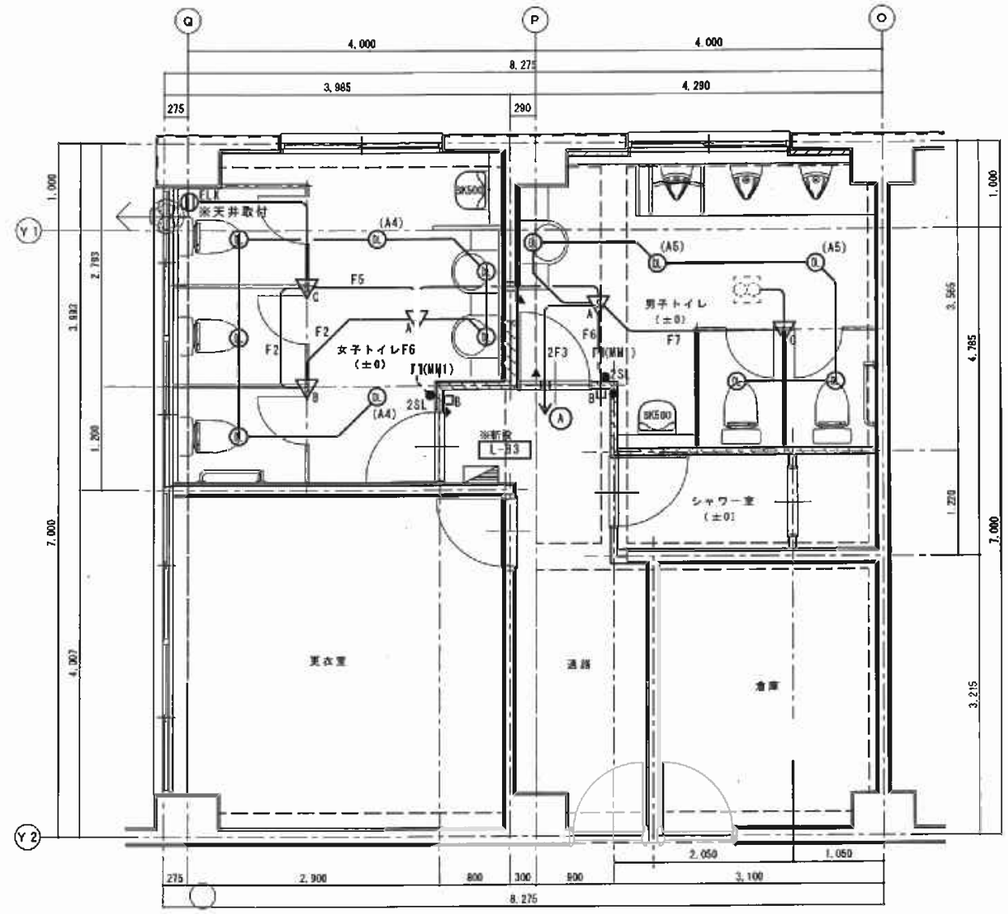
改修後　北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　1/50

※照明器具 新設

女子トイレ	
A4：LRS1 - 17 LN	2
A2：LRS1 - 08 LN	5

※照明器具 新設

男子トイレ	
A5：LRS1 - 22 LN	2
A2：LRS1 - 08 LN	3



北舎管理特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

注記１　特記なき配管配線は下記による。

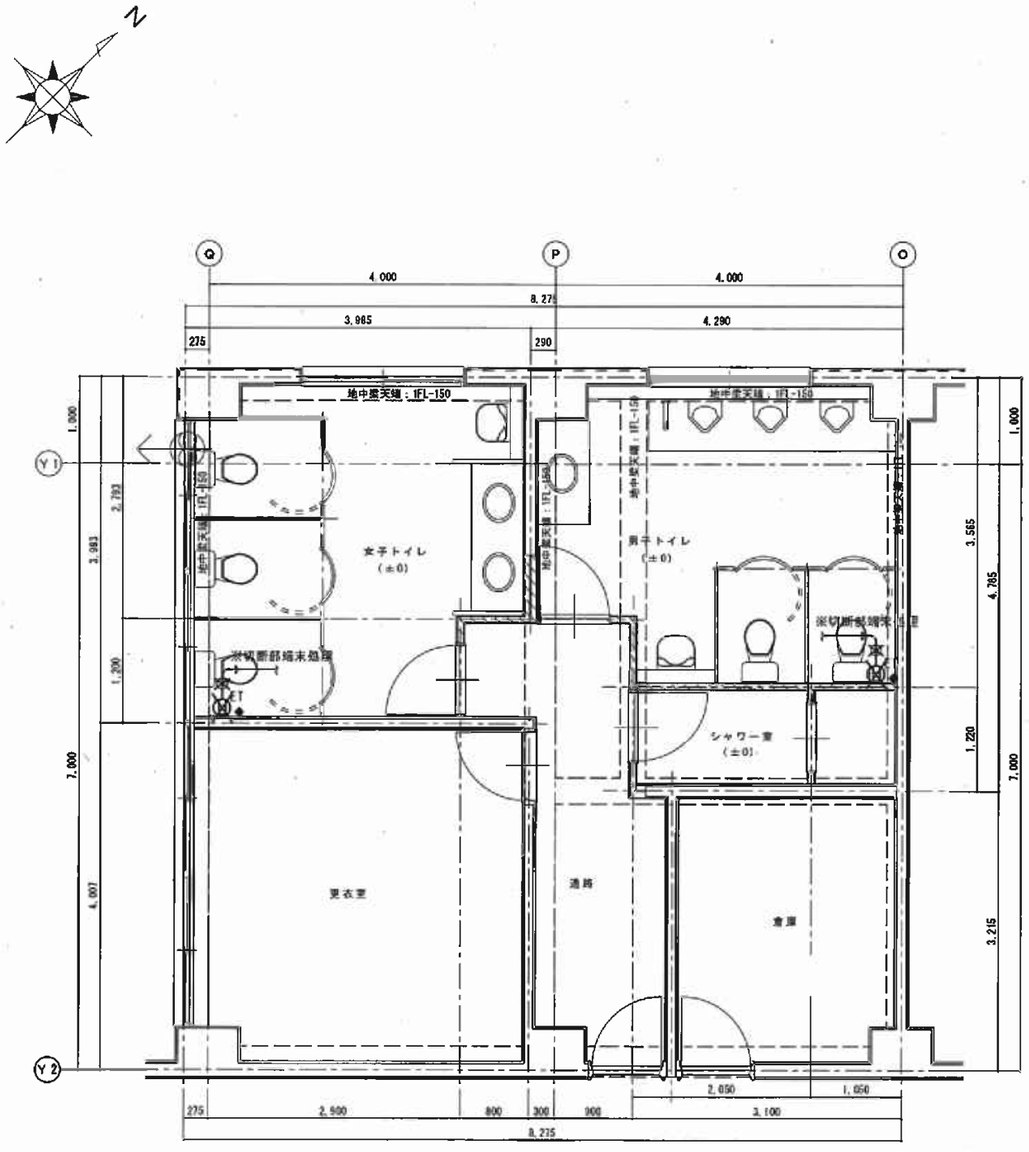
――――	EM-EEF 1.6-3C	（天井内）（保護管：PF22）
F6	EM-EEF 1.6-3C x2	（天井内）（保護管：PF22）
F7	EM-EEF 1.6-2C x2 + 3C	（天井内）（保護管：PF16）
2F3	EM-EEF 2.0-3C	（天井内）（保護管：PF22）
F6（MM1）	EM-EEF 1.6-3C x2	（MM1-B）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2　◆　……既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。
3　―▲―　……既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。
4　B□　……中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432 一級建築士 三宅 品 信 第68276号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E09	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 北舎西管理特別教室棟 １階トイレ（男子・女子トイレ）電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　（平成18年度改修工事竣工）　1/50



北舎西管理特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

——— VVF 2.0 -3C　（天井内）

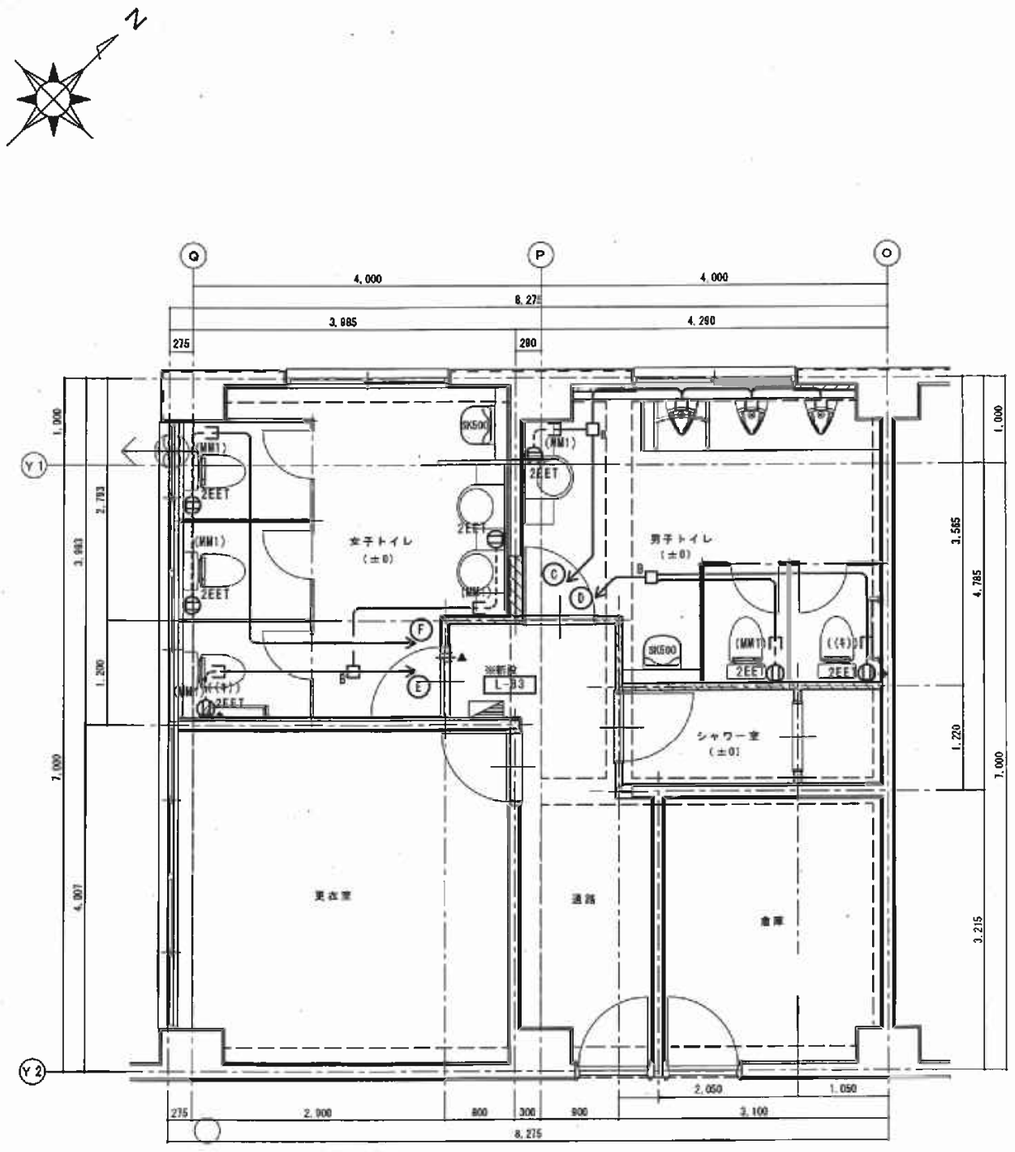
※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．× ・・・・・ 撤去を示す。

3．—✕— ・・・・・ 配管配線の内配線のみ撤去を示す。

4．—|— ・・・・・ 配管配線の切断を示す。

改修後　北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　1/50



北舎西管理特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

——— EM-EEF 2.0-3C　（天井内）（保護管：PF22）

----（埋込）EM-EEF 2.0-3C　（MM1-A）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．◆ ・・・・・ 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

3．BO ・・・・・ 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士　三宅晶信　第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	E10	図面名	北舎西管理特別教室棟 １階トイレ（男子・女子トイレ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50

※照明器具 撤去

男子トイレ	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

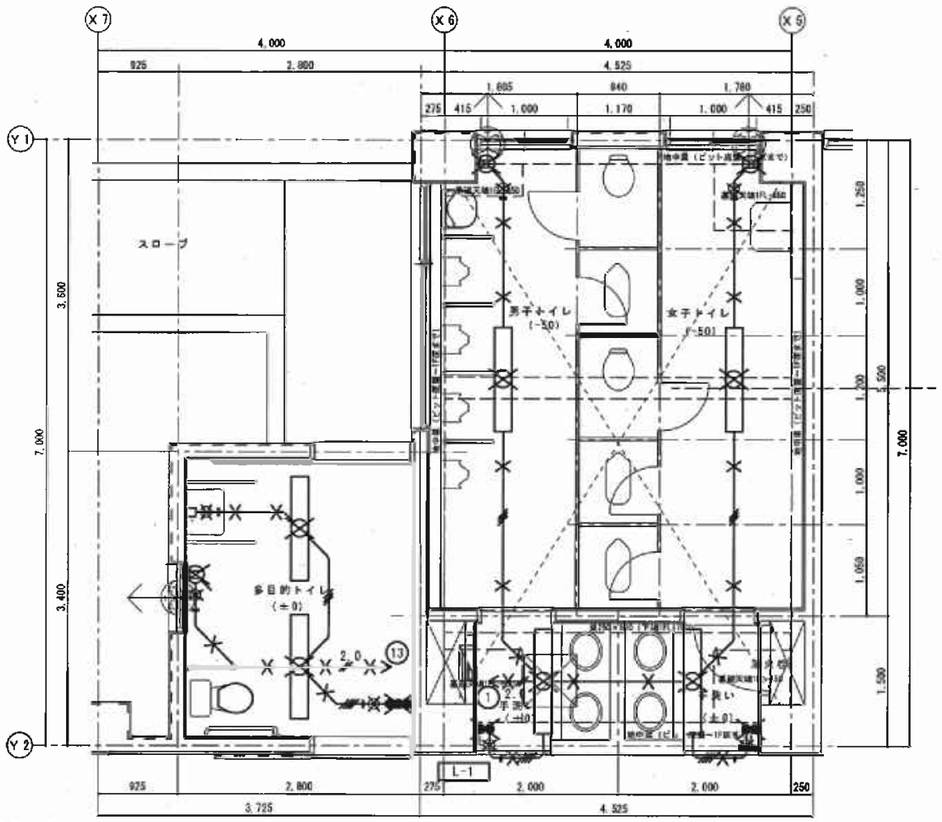
女子トイレ	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

男子トイレ手洗	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

女子トイレ手洗	
露出形　FL 402	1



※照明器具 撤去

多目的トイレ	
露出形　FL 402	2

北舎東普通特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- EM-IE 1.6 x2　(19)
- EM-IE 1.6 x3　(19)
- EM-IE 1.6 x4　(25)
- EM-IE 2.0 x2　(19)

2．X ・・・・・ 撤去を示す。
3．—X— ・・・・・ 配管配線共撤去を示す。
4．—#— ・・・・・ 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
5．—+— ・・・・・ 配管配線の切断を示す。

改修後　北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50

※照明器具 新設

男子トイレ	
A3：LRS1 - 13 LN	4
A2：LRS1 - 08 LN	2

※照明器具 新設

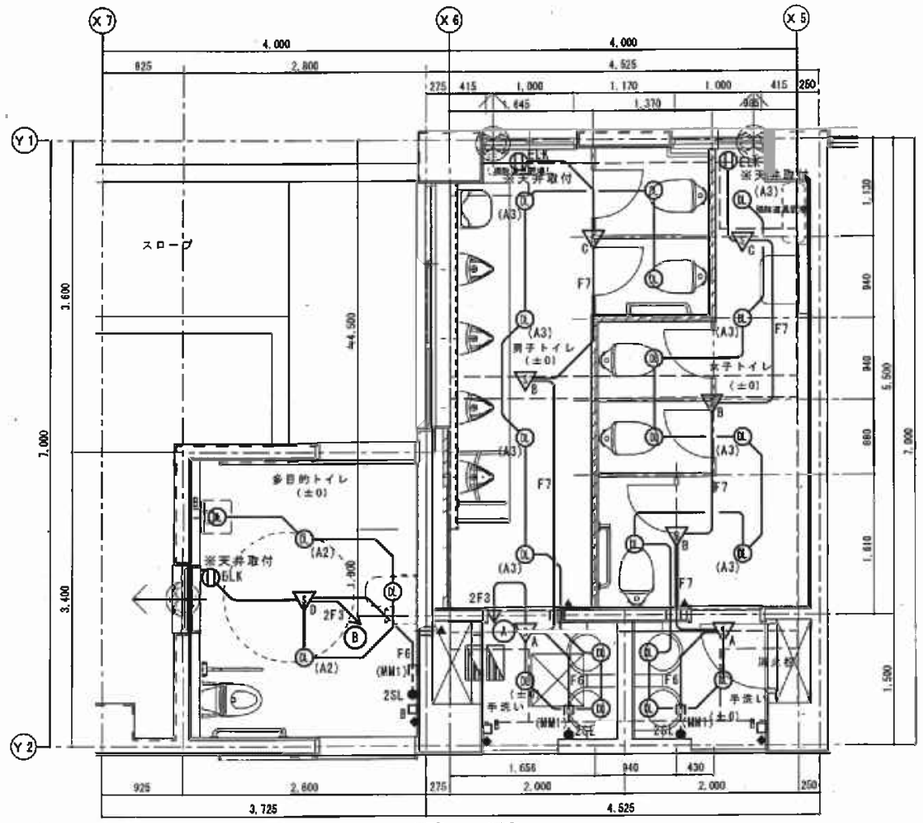
女子トイレ	
A3：LRS1 - 13 LN	4
A2：LRS1 - 08 LN	3

※照明器具 新設

男子トイレ手洗	
A1：LRS1 - 05 LN	3

※照明器具 新設

女子トイレ手洗	
A1：LRS1 - 05 LN	3



※照明器具 新設

多目的トイレ	
A4・LRS1 - 17 LN	2
A2：LRS1 - 08 LN	2

※既設 L-1　※新設 L-C4

北舎東普通特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-3C　(天井内)(保護管:PF22)
- F5　EM-EEF 1.6-2C + 3C　(天井内)(保護管:PF16)
- F6　EM-EEF 1.6-3C　x2　(天井内)(保護管:PF22)
- 2F3　EM-EEF 2.0-3C　(天井内)(保護管:PF22)
- F6 (MM1)　EM-EEF 1.6-3C　x2　(MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

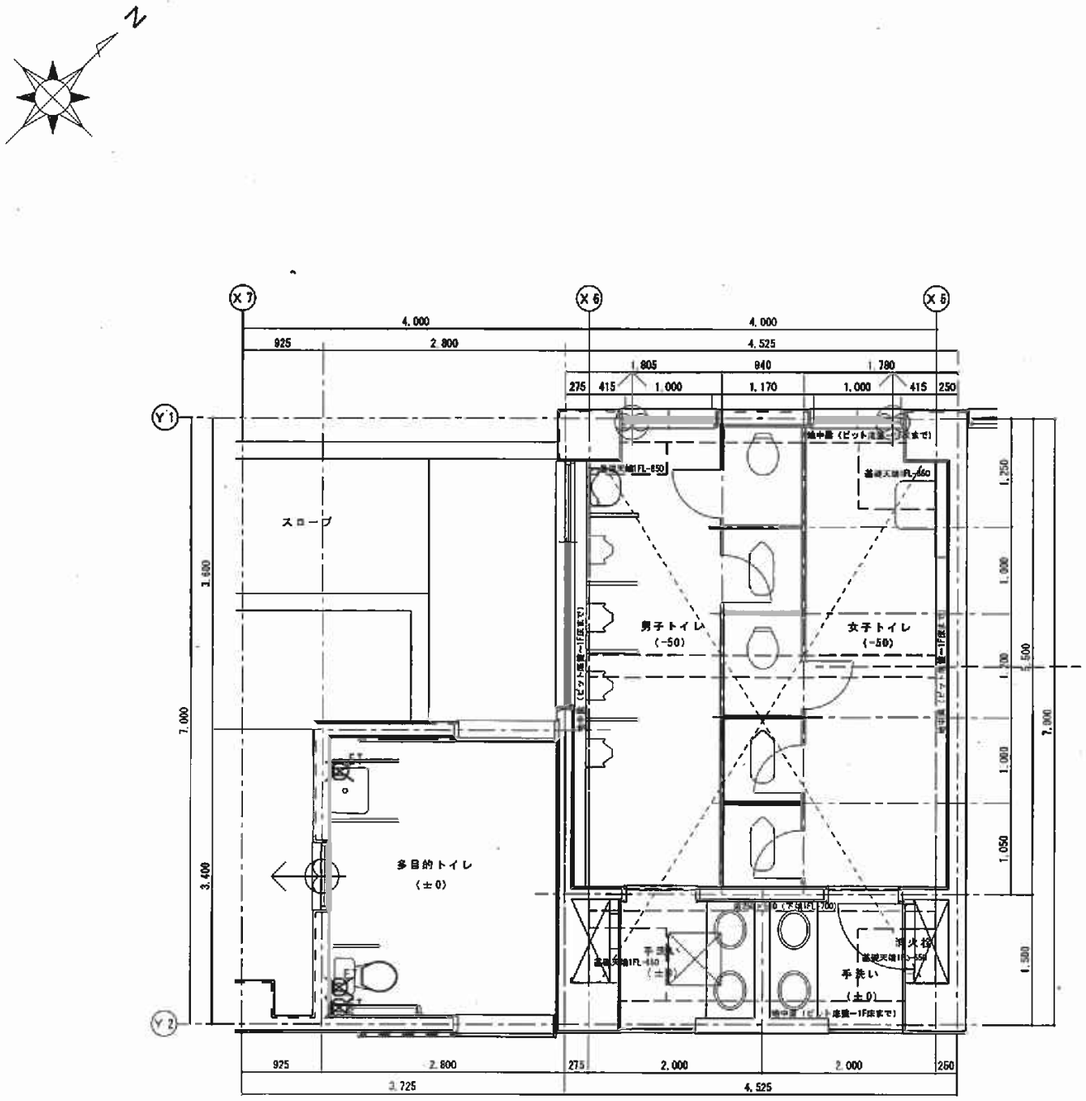
2．◆ ・・・・・ 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。
3．—=▲— ・・・・・ 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。
4．B□ ・・・・・ 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 忠信 第58278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
		2024.10	E11	図面名	北舎東普通特別教室棟 １階トイレ（男子・女子・多目的トイレ）電灯設備　平面詳細図　scale 1/50

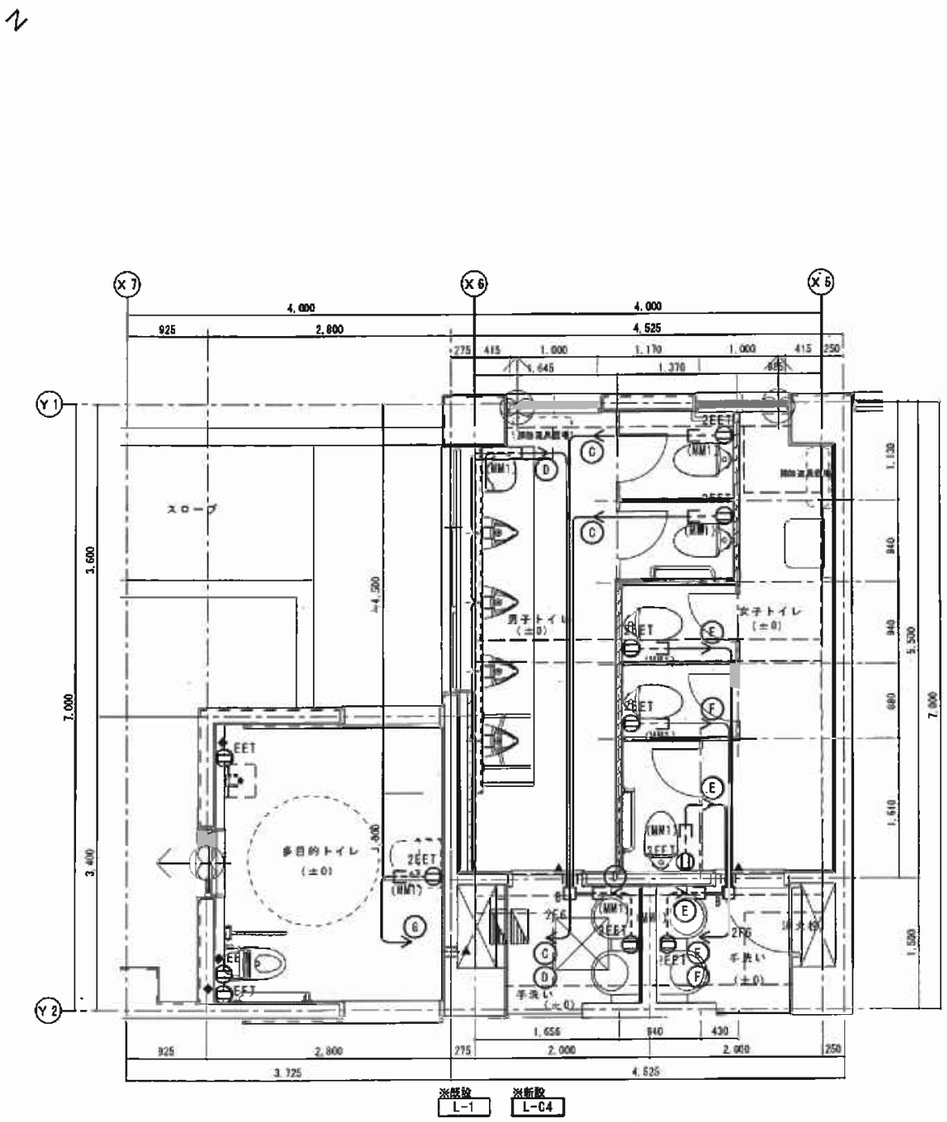
改修前（現況）北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

※既設コンセント設備無し

改修後　北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

———— EM-EEF 2.0-3C　(天井内)(保護管:PF22)

----(MM1) EM-EEF 2.0-3C　(MM1-A)

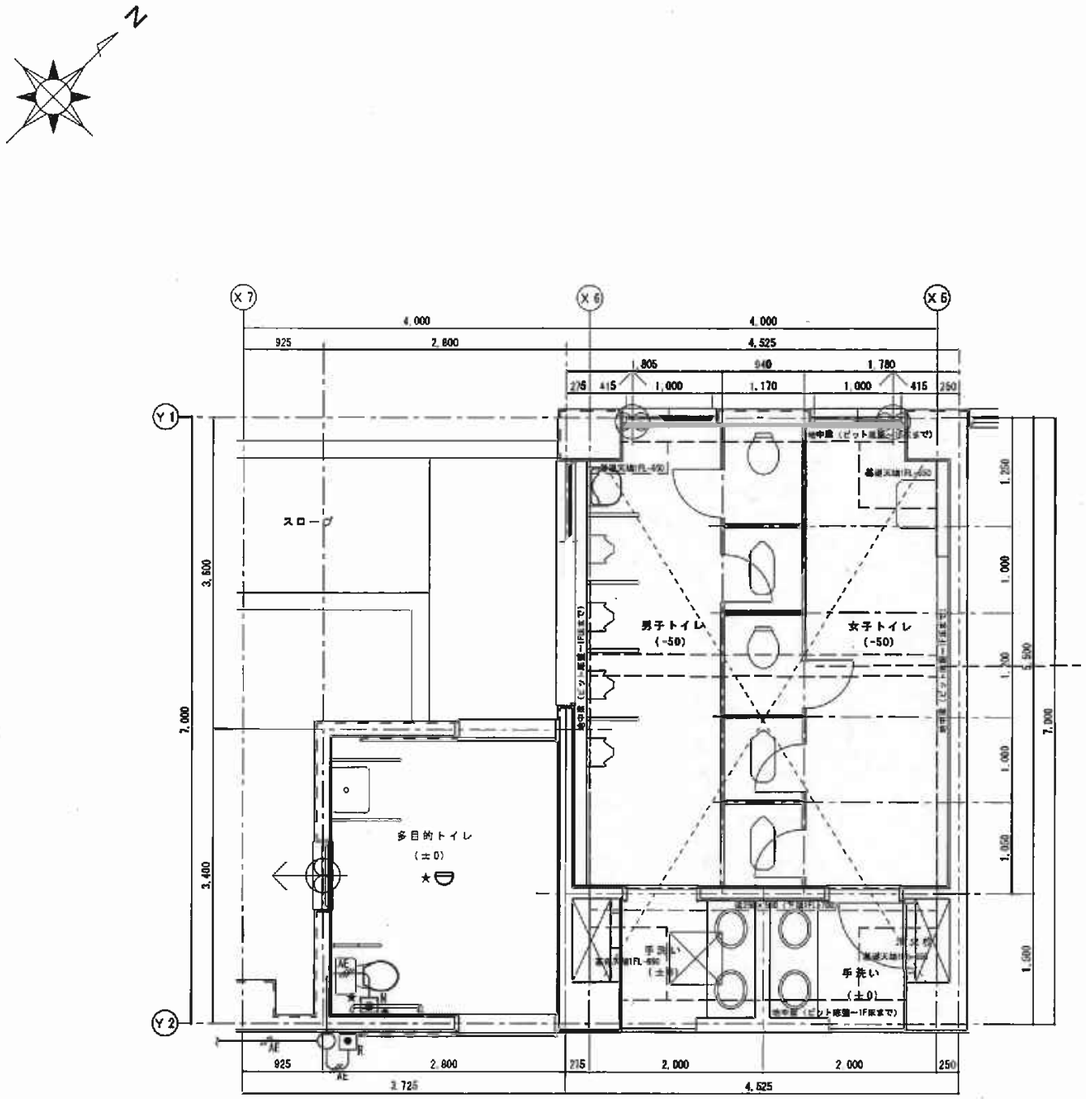
※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

２．◆ ・・・・・ 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

３．BO ・・・・・ 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E12	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
						図面名	北舎東普通特別教室棟 １階トイレ（男子・女子・多目的トイレ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図　scale 1/50

改修前（現況）北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

※既設コンセント設備無し

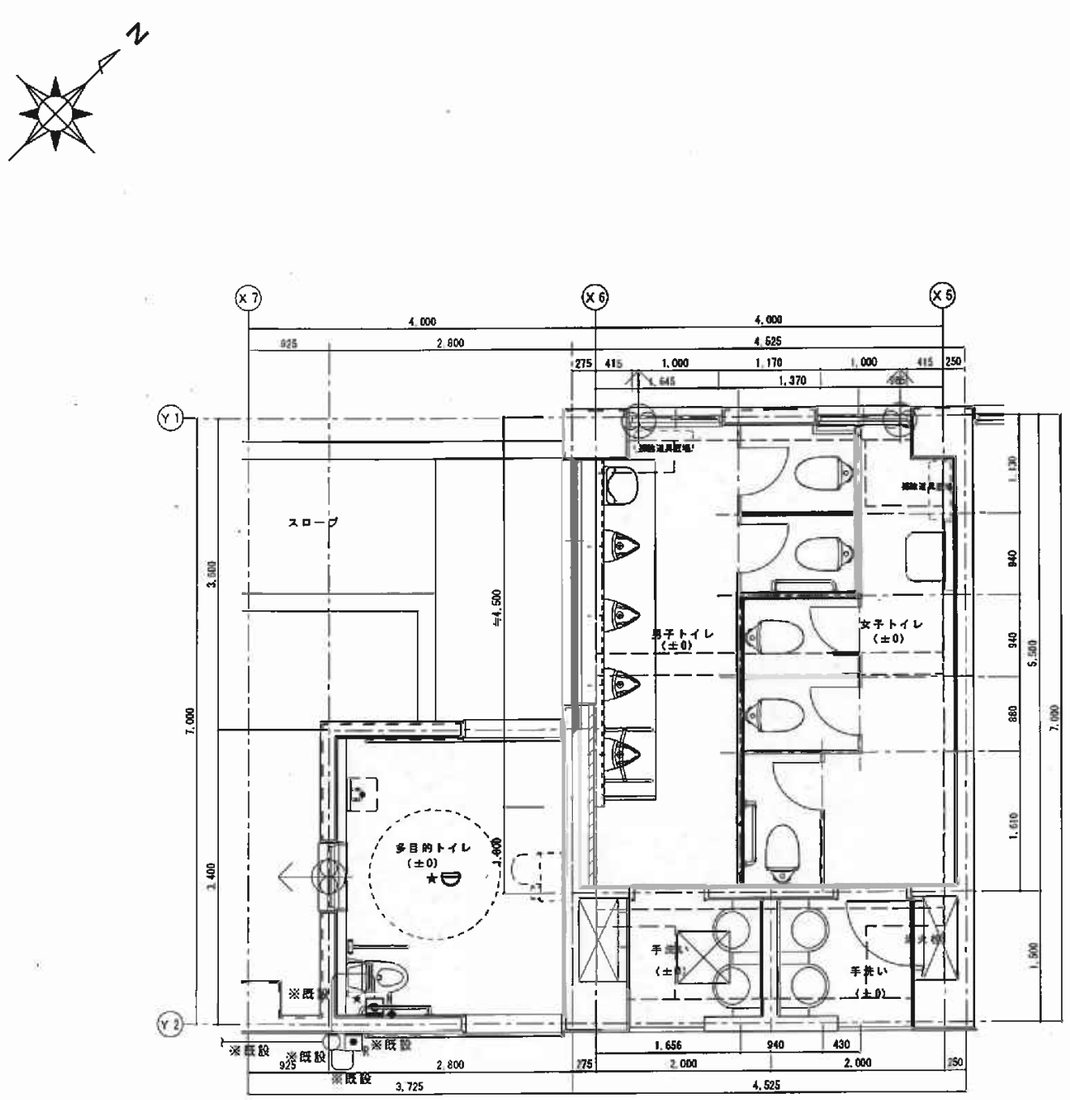
注記１．特記なき配管配線は下記による。

AE ～～～ AE 1.2-2C (PF16)

AE ～～～ AE 1.2-3C (PF16)

２．★ …… 機器等の取外し（再使用する）を示す。

改修後　北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．◆ …… 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

２．★ …… 機器等等の再取付（既設品）を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E13	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
						図面名 北舎東普通特別教室棟 １階トイレ（男子・女子・多目的トイレ）ﾄｲﾚ呼出設備 平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50

※照明器具 撤去

男子トイレ	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

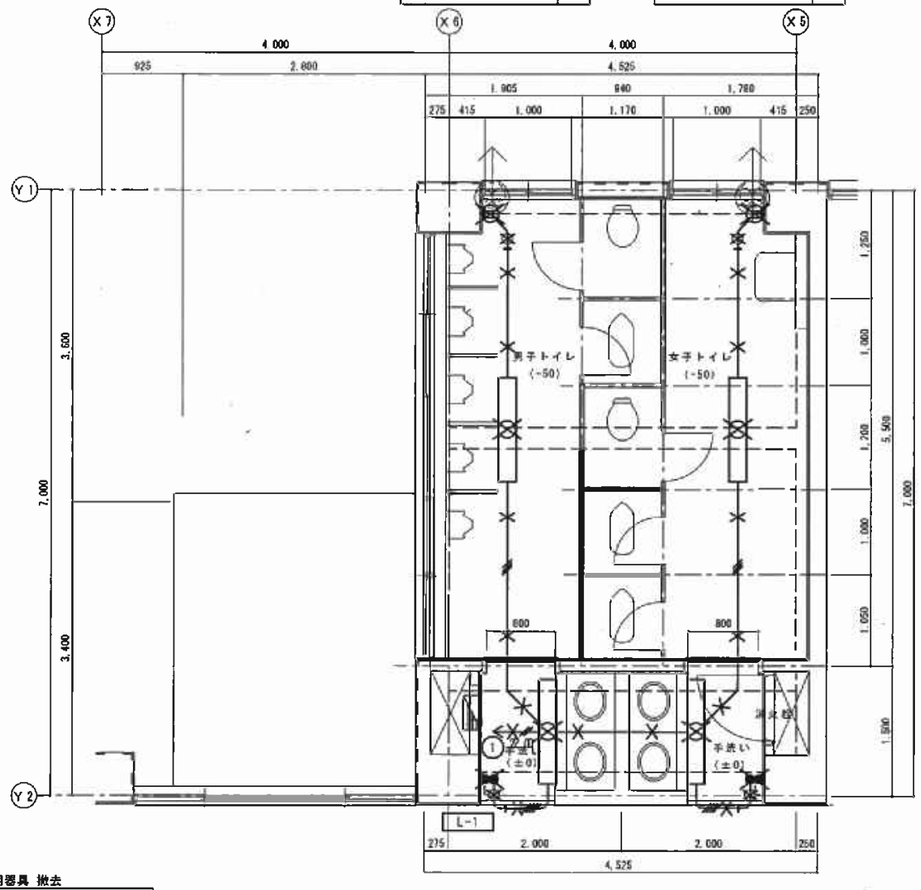
女子トイレ	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

男子トイレ手洗	
露出形　FL 402	1

※照明器具 撤去

女子トイレ手洗	
露出形　FL 402	1



※照明器具 撤去

多目的トイレ	
露出形　FL 402	2

北舎東普通特別教室棟２・３階現況平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- EM-IE 1.6 x2　(19)
- EM-IE 1.6 x3　(19)
- EM-IE 1.6 x4　(25)
- EM-IE 2.0 x2　(19)

2．X …… 撤去を示す。
3．…… 配管配線共撤去を示す。
4．…… 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
5．…… 配管配線の切断を示す。

改修後　北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50

※照明器具 新設

男子トイレ	
A3：LRS1 - 13 LN	4
A2：LRS1 - 08 LN	2

※照明器具 新設

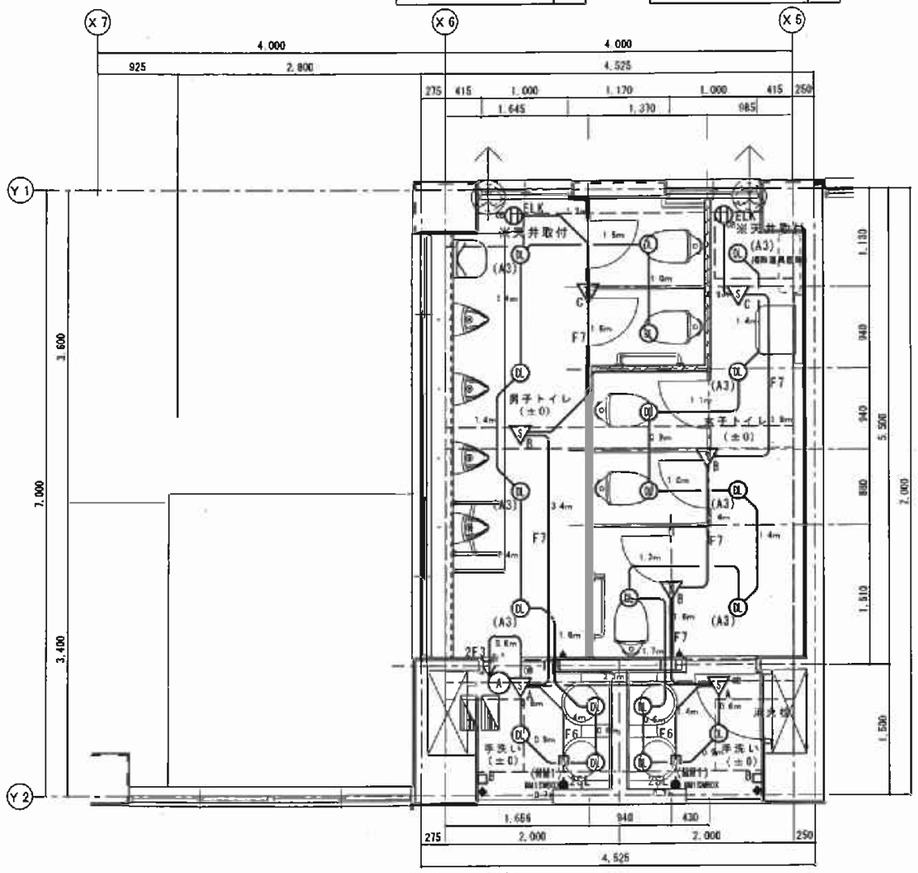
女子トイレ	
A3：LRS1 - 13 LN	4
A2：LRS1 - 08 LN	3

※照明器具 新設

男子トイレ手洗	
A1：LRS1 - 05 LN	3

※照明器具 新設

女子トイレ手洗	
A1：LRS1 - 05 LN	3



※既設 L-1　※新設 L-B4

※照明器具 新設

多目的トイレ	
A4：LRS1 - 17 LN	2
A2：LRS1 - 08 LN	2

北舎東普通特別教室棟２・３階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-3C　(天井内)(保護管:PF22)
- F5　EM-EEF 1.6-2C + 3C　(天井内)(保護管:PF16)
- F6　EM-EEF 1.6-3C x2　(天井内)(保護管:PF22)
- 2F3　EM-EEF 2.0-3C　(天井内)(保護管:PF22)
- F6 (MM1)　EM-EEF 1.6-3C x2　(MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

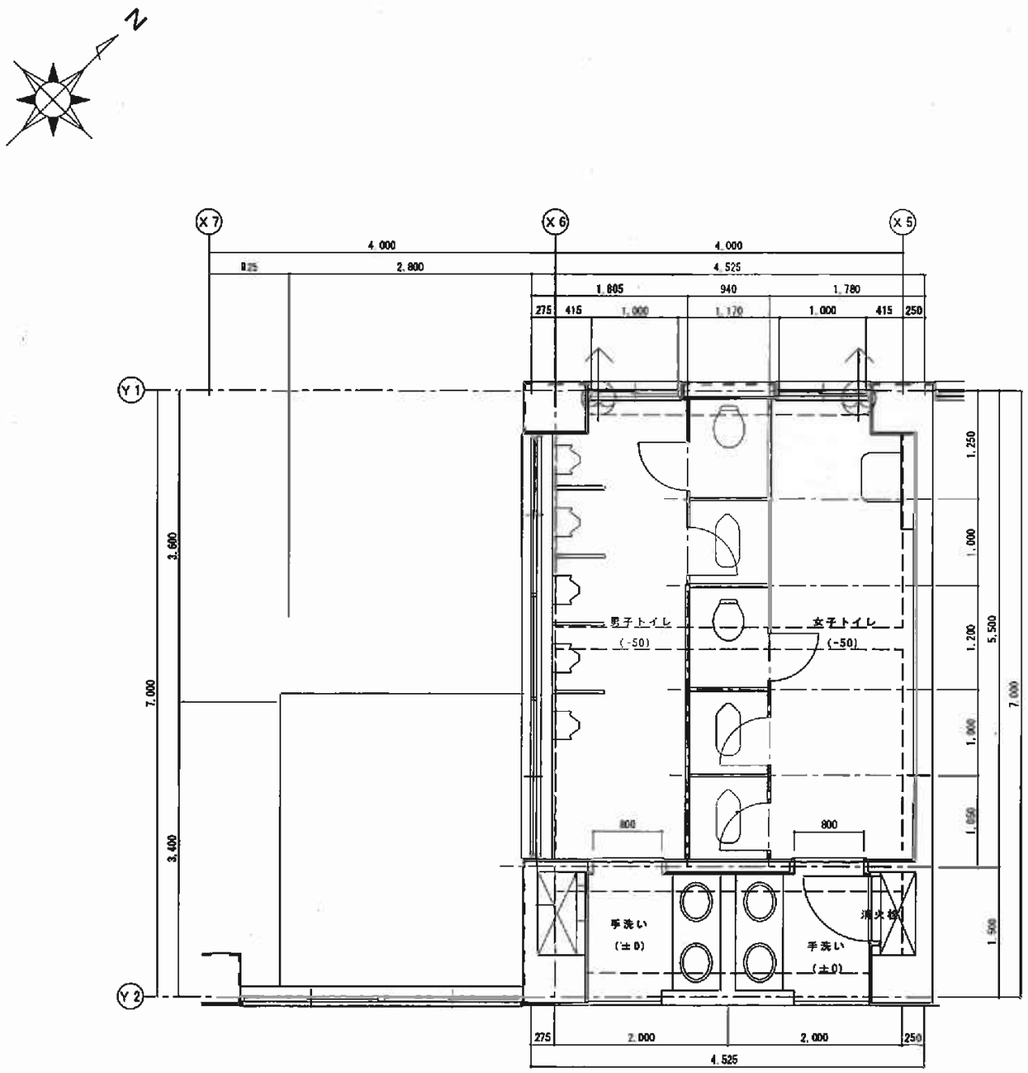
2．◆ …… 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。
3．…… 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。
4．B□ …… 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	E14	図面名	北舎東普通教室棟 ２・３階トイレ（男子・女子トイレ）電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

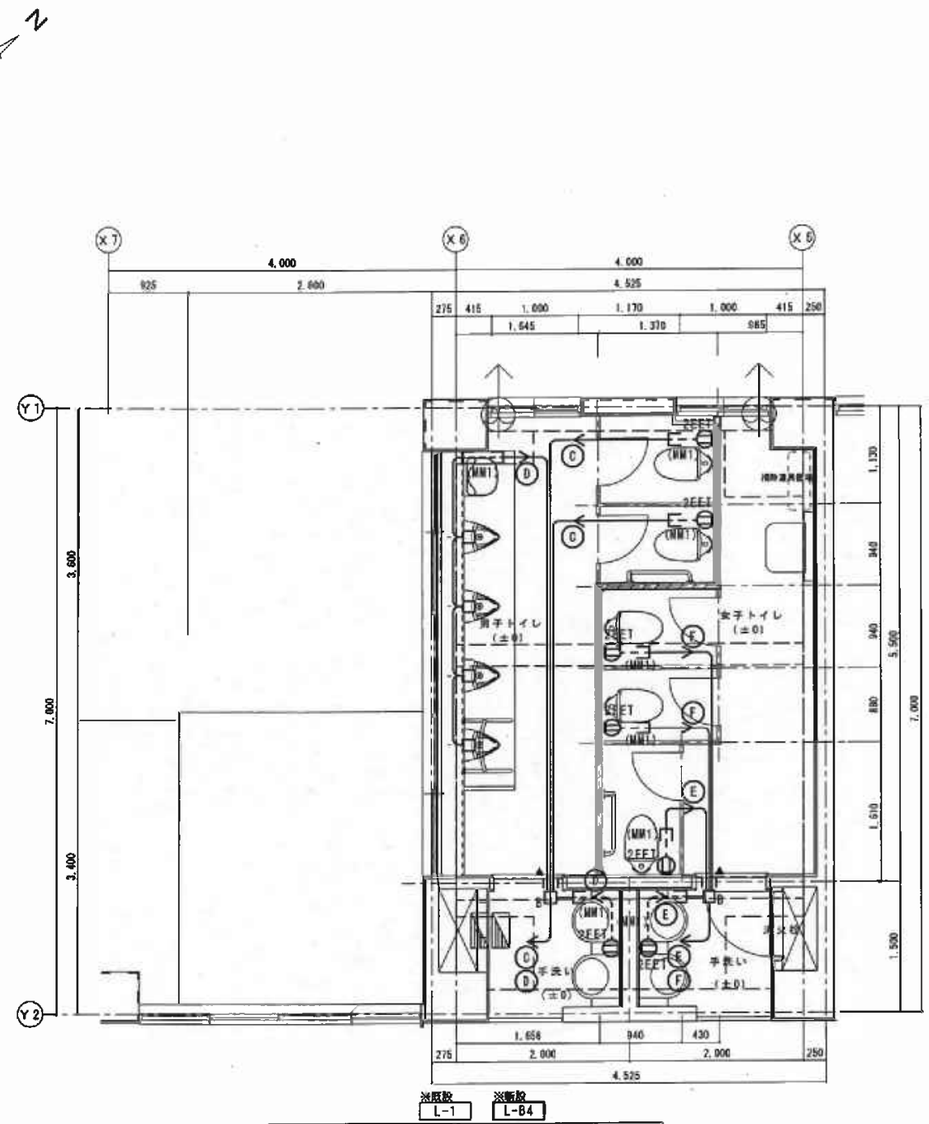
改修前（現況）北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟２・３階現況平面詳細図　1/50

※既設コンセント設備無し

改修後　北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50



北舎東普通特別教室棟２・３階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

———　EM-EEF 2.0-3C　（天井内）（保護管：PF22）

----(MM1)　EM-EEF 2.0-3C　（MM1-A）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

２．◆　・・・・・既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

３．B口　・・・・・中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E15	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図
						図面名	北舎東普通特別教室棟 ２・３階トイレ（男子・女子トイレ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図　scale 1/50

改修前（現況）屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50

※照明器具 取外し（再使用する）

男子トイレ手洗	
露出形 LED（20形）	1

※照明器具 取外し（再使用する）

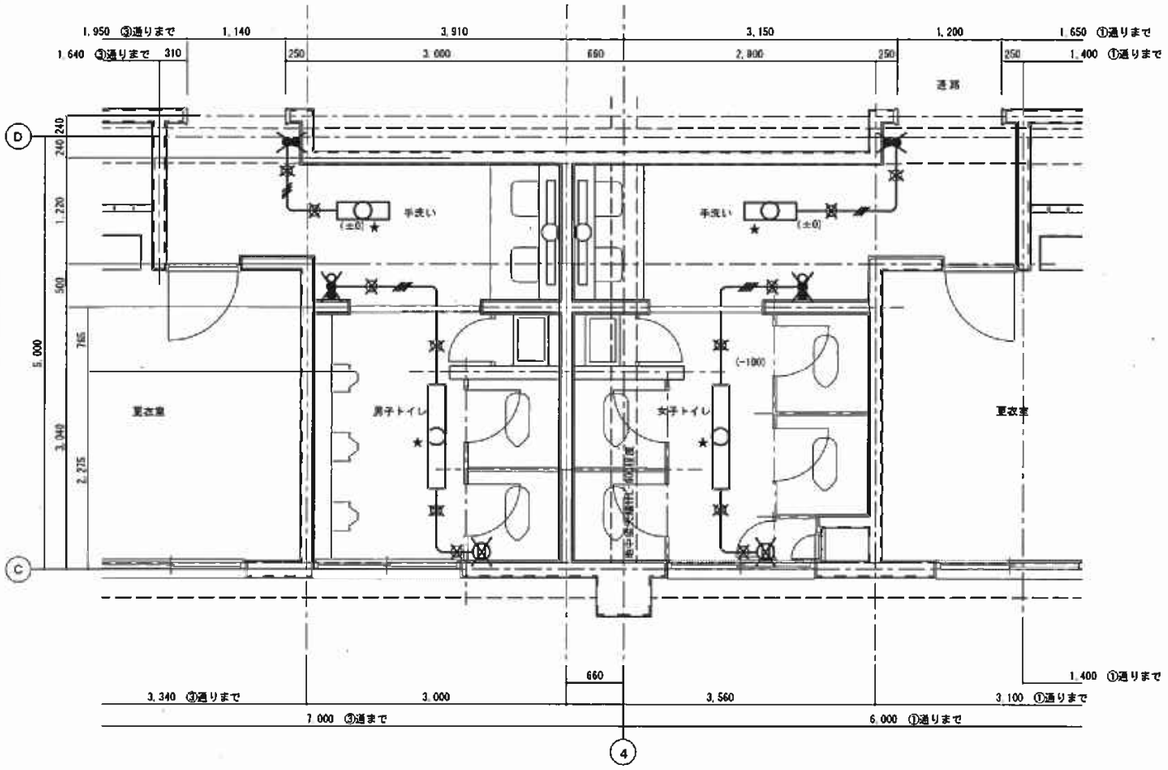
女子トイレ手洗	
露出形 LED（20形）	1

※照明器具 取外し（再使用する）

男子トイレ	
露出形 LED（40形）	1

※照明器具 取外し（再使用する）

女子トイレ	
露出形 LED（40形）	1



屋内運動場１階現況平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- IV 1.6 x2　(19)
- IV 1.6 x3　(19)
- IV 1.6 x4　(25)

2．X …… 撤去を示す。
3．…… 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
4．★ …… 機器等の取外し（再使用する）を示す。

改修後　屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50

※照明器具 再取付(既設品)

男子トイレ手洗	
露出形 LED（20形）	1

※照明器具 再取付(既設品)

女子トイレ手洗	
露出形 LED（20形）	1

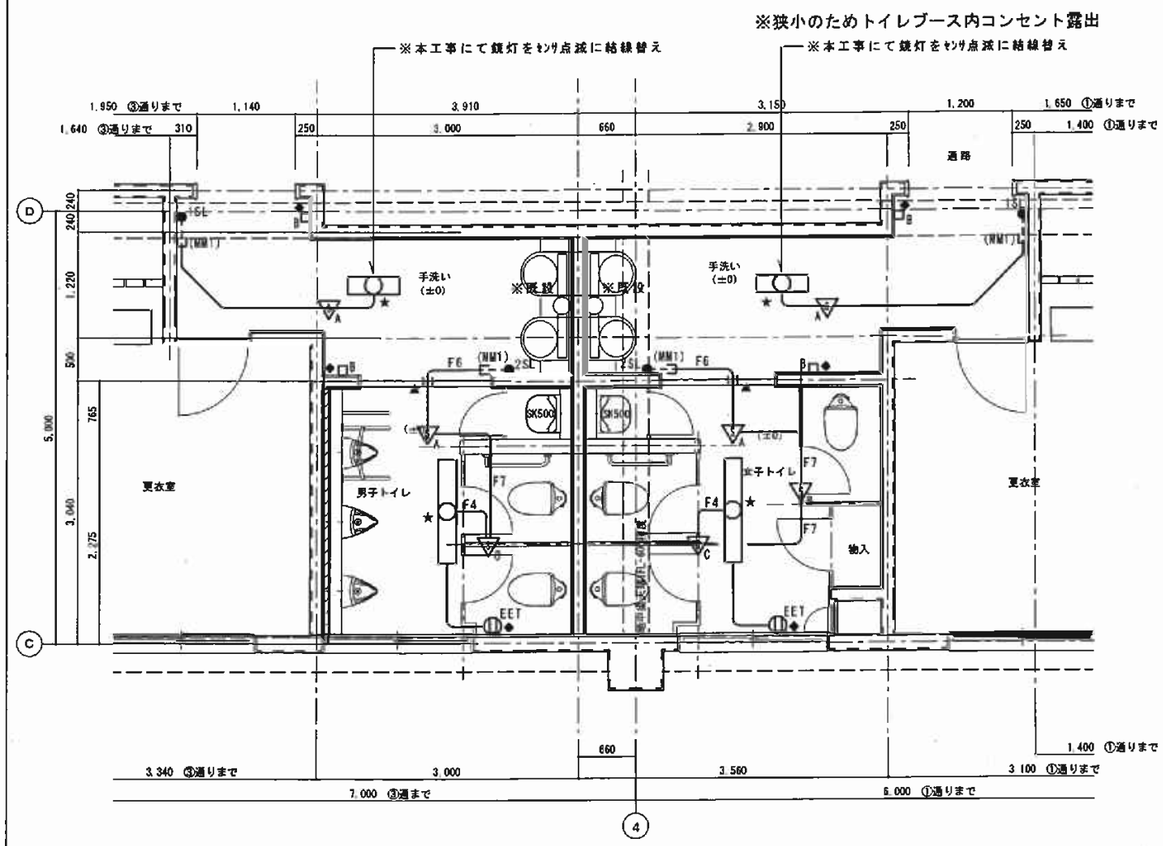
※照明器具 再取付(既設品)

男子トイレ	
露出形 LED（40形）	1

※照明器具 再取付(既設品)

女子トイレ	
露出形 LED（40形）	1

※狭小のためトイレブース内コンセント露出



屋内運動場１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-3C　(天井内)(保護管:PF22)
- F6 EM-EEF 1.6-3C x2　(天井内)(保護管:PF22)
- E6 (MM1) EM-EEF 1.6-3C x2　(MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

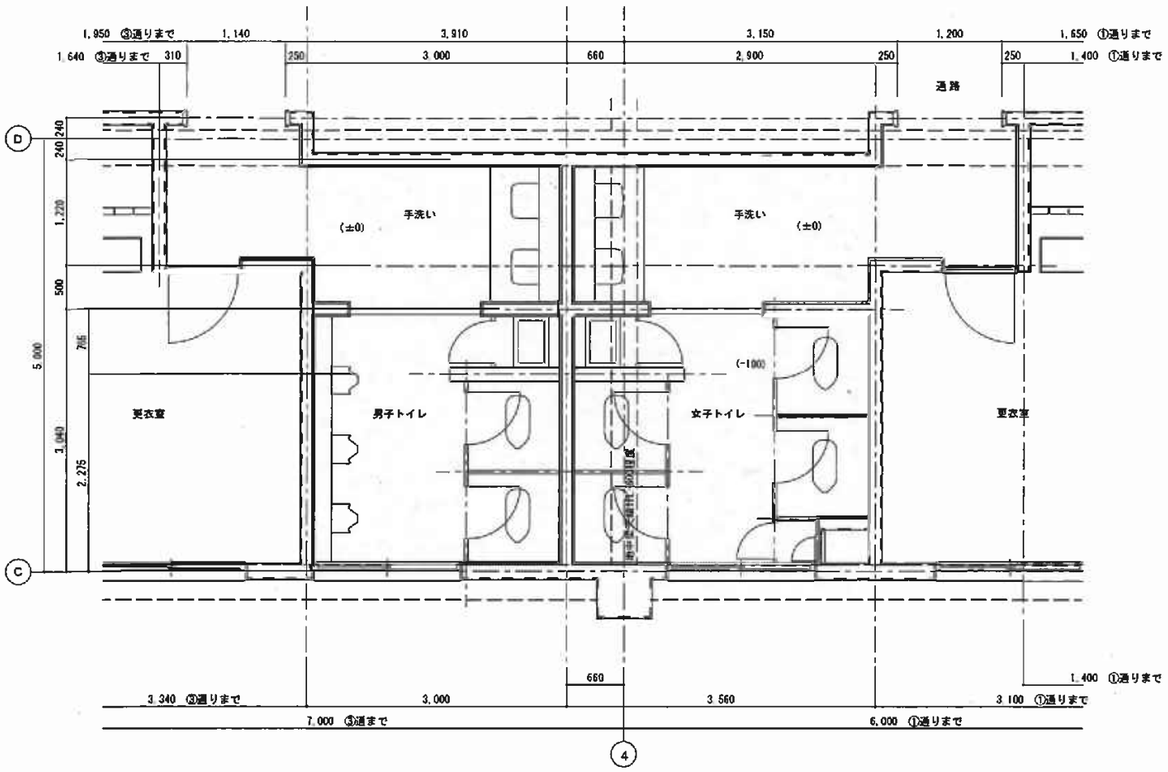
2．◆ …… 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。
3．B□ …… 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。
4．★ …… 機器等の取外し（再使用する）を示す。
5．…… 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅品信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	E16	図面名	屋内運動場 １階トイレ（男子・女子トイレ）電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50

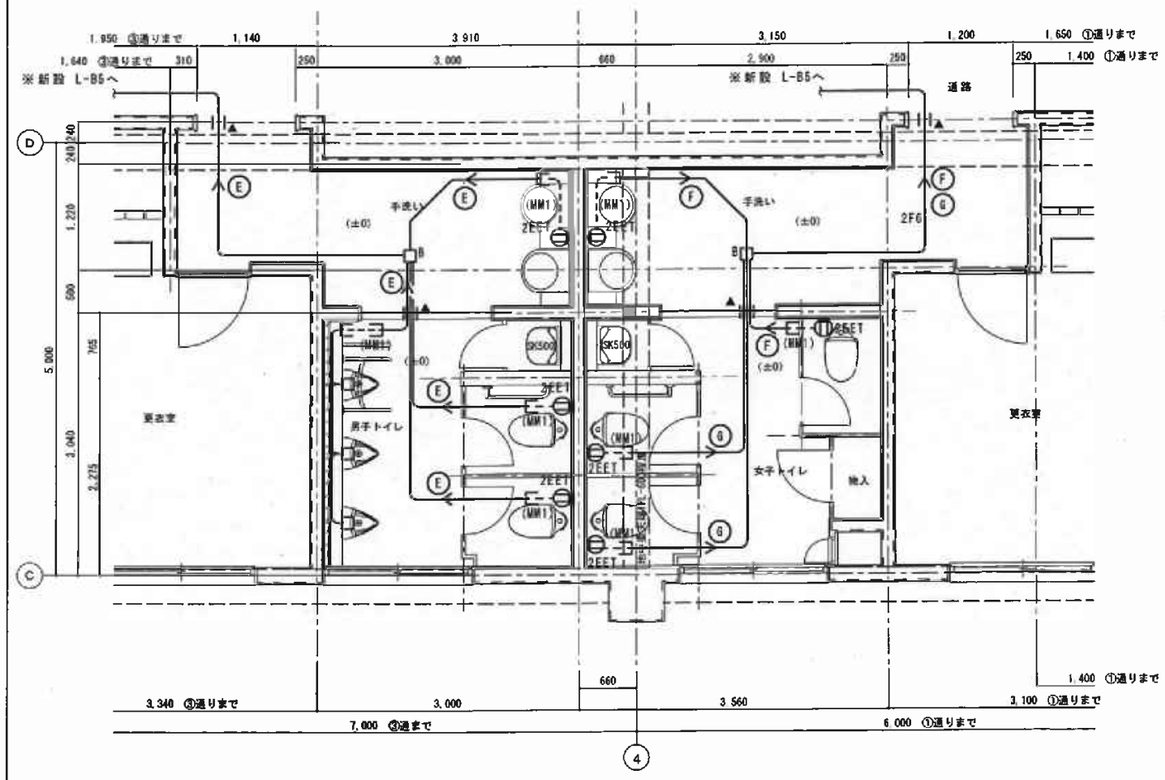


屋内運動場１階現況平面詳細図　1/50

※既設コンセント設備無し

改修後　屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50

※狭小のためトイレブース内コンセント露出



屋内運動場１階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

————	EM-EEF 2.0-3C	(天井内)(保護管:PF22)
2FG ————	EM-EEF 2.0-3C x2	(天井内)(保護管:PF28)
----(MM1)----	EM-EEF 2.0-3C	(MM1-A)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．◆ …… 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

3．—=▲ …… 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

4．B□ …… 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
				2024.10	E17	図面名	屋内運動場 １階トイレ（男子・女子トイレ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50

※照明器具 取外し（再使用する）

男子トイレ手洗	
露出形　LED(20形、壁付)	1

※照明器具 取外し（再使用する）

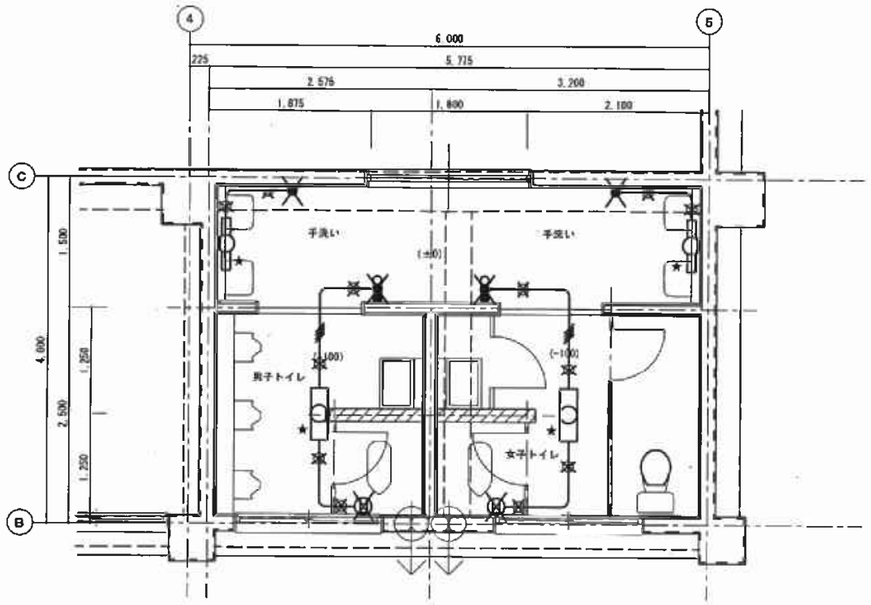
女子トイレ手洗	
露出形　LED(20形、壁付)	1

※照明器具 取外し（再使用する）

男子トイレ	
露出形　LED(20形)	1

※照明器具 取外し（再使用する）

女子トイレ	
露出形　LED(20形)	1



屋内運動場２階現況平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

IV 1.6 x2　(19)

IV 1.6 x4　(25)

2．X　・・・・・撤去を示す。

3．　・・・・・配管配線の内配線のみ撤去を示す。

4．★　・・・・・機器等の取外し（再使用する）を示す。

改修後　屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50

※照明器具 再取付(既設品)

男子トイレ手洗	
露出形　LED(20形、壁付)	1

※照明器具 再取付(既設品)

女子トイレ手洗	
露出形　LED(20形、壁付)	1

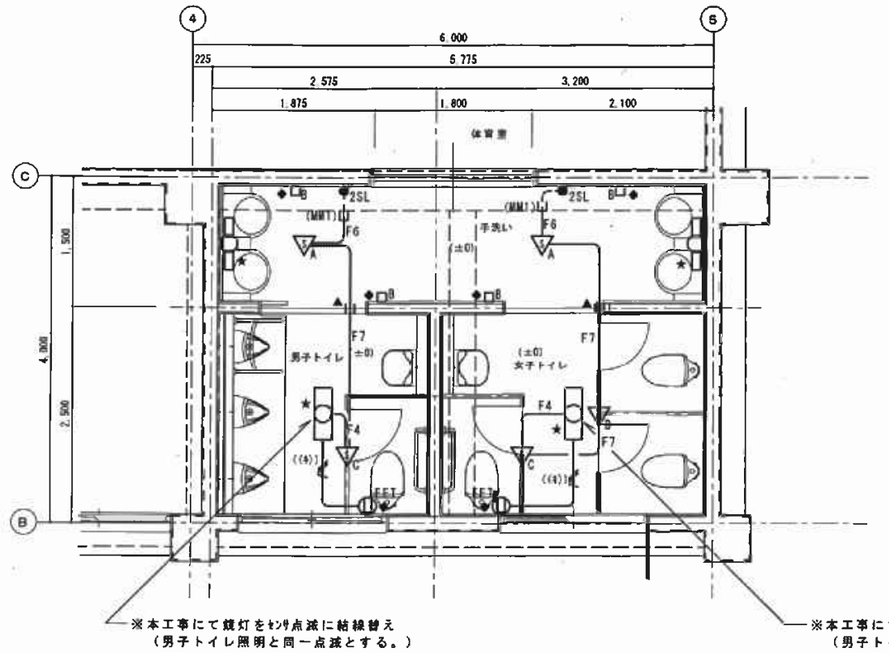
※照明器具 再取付(既設品)

男子トイレ	
露出形　LED(20形)	1

※照明器具 再取付(既設品)

女子トイレ	
露出形　LED(20形)	1

※狭小のためトイレブース内コンセント露出



屋内運動場２階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF 1.6-3C　(天井内)(保護管:PF22)

F4　EM-EEF 1.6-2C x2　(天井内)(保護管:PF22)

F6　EM-EEF 1.6-3C x2　(天井内)(保護管:PF22)

F7　EM-EEF 1.6-2C x2 + 3C　(天井内)(保護管:PF28)

F6 (MM1)　EM-EEF 1.6-3C x2　(MM1-B)

(既)　IV 1.6 x2、E1.6　(既設管内)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．◆　・・・・・既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

3．B□　・・・・・中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

4．★　・・・・・機器等の取外し（再使用する）を示す。

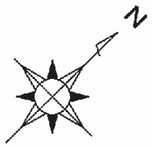
5．　・・・・・既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

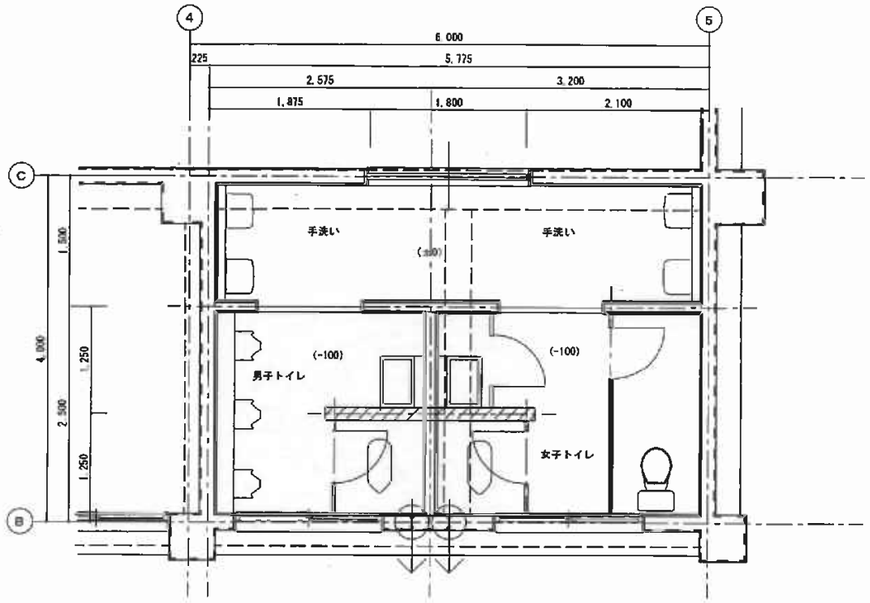
備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	E18	図面名	屋内運動場 ２階トイレ（男子・女子トイレ）電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

改修前（現況）屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50

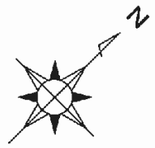




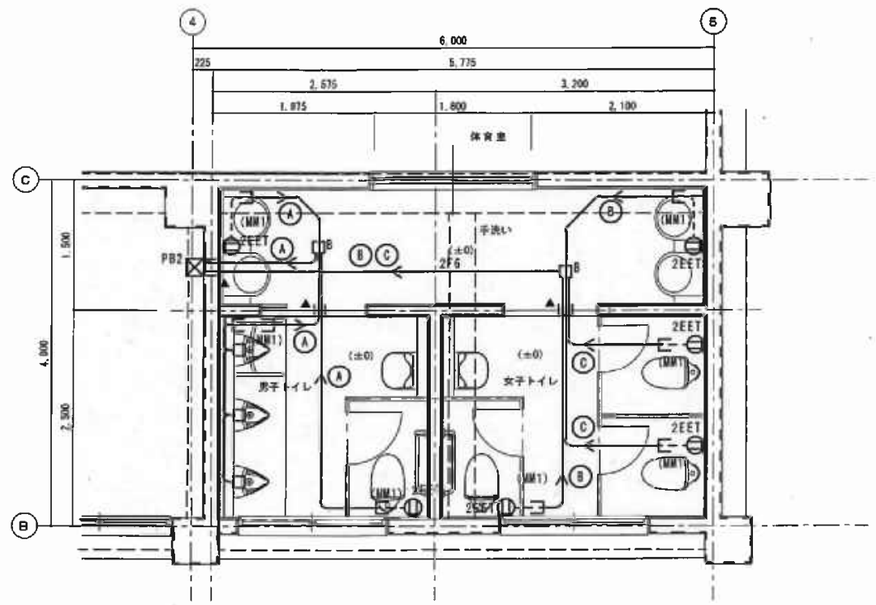
屋内運動場２階現況平面詳細図　1/50

※既設コンセント設備無し

改修後　屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50



※狭小のためトイレブース内コンセント露出



屋内運動場２階改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

――――	EM-EEF 2.0-3C	(天井内)(保護管:PF22)
2FG ――――	EM-EEF 2.0-3C x2	(天井内)(保護管:PF28)
----(MM1)----	EM-EEF 2.0-3C	(MM1-A)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2　◆　・・・・・ 既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

3　―＝▲―　・・・・・ 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

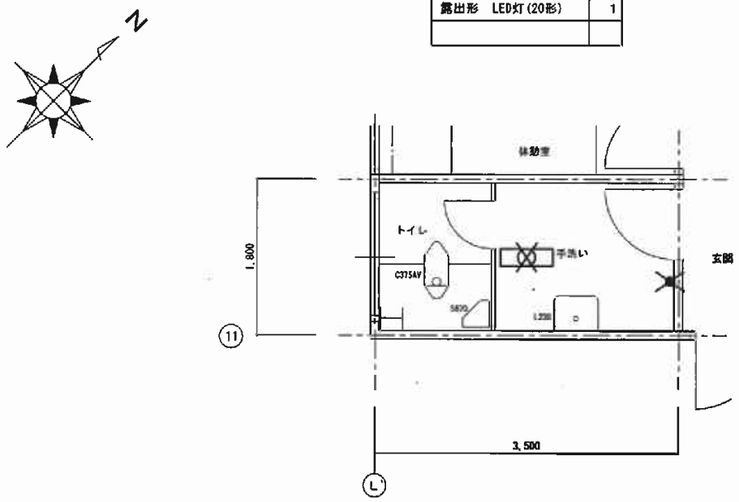
4　B□　・・・・・ 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO E19	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図
						図面名	屋内運動場 ２階トイレ（男子・女子トイレ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図　scale 1/50

改修前（現況）南舎西普通特別教室棟１階トイレ（h）平面詳細図　1/50

※照明器具 撤去

配膳室トイレ	
露出形　LED灯(20形)	1



配膳室棟現況平面詳細図　1/50

注記１．　X　・・・・・撤去を示す。

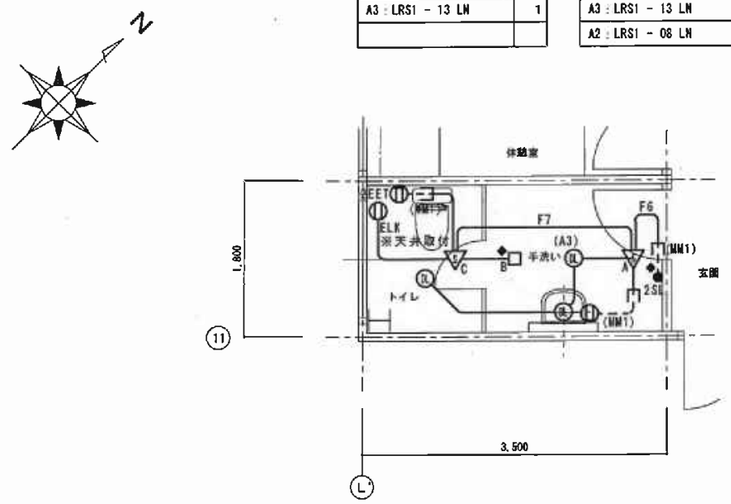
改修後　南舎西普通特別教室棟１階トイレ（h）平面詳細図　1/50

※照明器具 新設

配膳室トイレ	
A3：LRS1 - 13 LN	1

※照明器具 新設

配膳室手洗い	
A3：LRS1 - 13 LN	1
A2：LRS1 - 08 LN	1



配膳室棟改修後平面詳細図　1/50

注記１．特記なき配管配線は下記による。

――――	EM-EEF 1.6-3C	(天井内)(保護管:PF22)
F6 ――――	EM-EEF 1.6-3C x2	(天井内)(保護管:PF22)
F7 ――――	EM-EEF 1.6-2C x2 + 3C	(天井内)(保護管:PF16)
(MM1) ――――	EM-EEF 1.6-3C	(MM1-A)
F6 (MM1) ――――	EM-EEF 1.6-3C x2	(MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

２．◆　・・・・・既設位置ﾎﾞｯｸｽの再使用を示す。

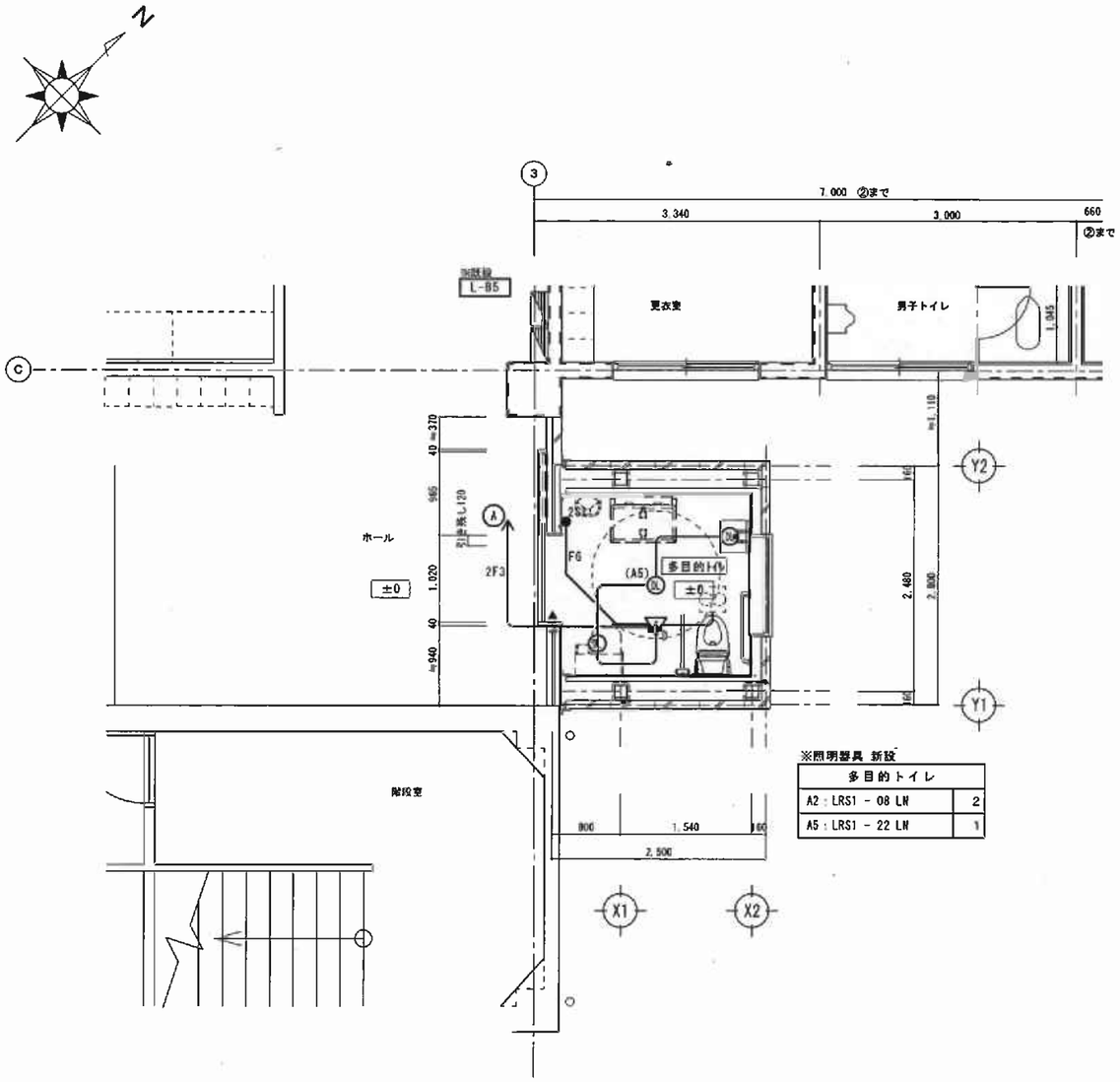
３．B口　・・・・・中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備　考

株式会社　三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士　三宅品信　第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	E20	図面名	配膳室棟 トイレ　電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

新設トイレ（j）　電灯設備　平面詳細図　1/50



※照明器具 新設

多目的トイレ	
A2：LRS1 - 08 LN	2
A5：LRS1 - 22 LN	1

新設トイレ（j）平面詳細図　1/50

注記 1．特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF 1.6-3C　（天井内）（保護管：PF22）

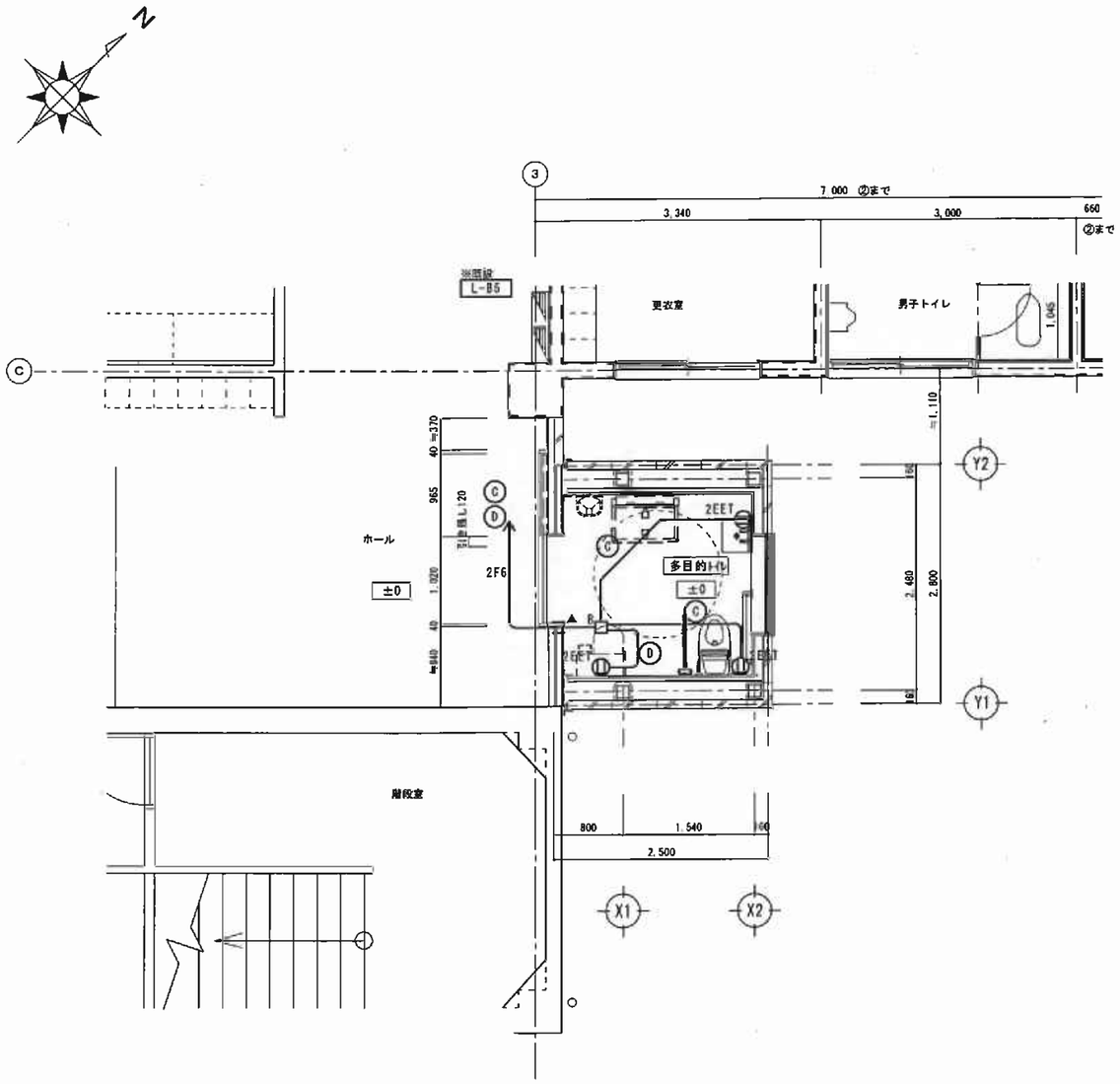
F6　EM-EEF 1.6-3C x2　（天井内）（保護管：PF22）

2F3　EM-EEF 2.0-3C　（天井内）（保護管：PF22）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．▲ …… 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

新設トイレ（j）　コンセント設備　平面詳細図　1/50



新設トイレ（j）平面詳細図　1/50

注記 1．特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C　（天井内）（保護管：PF22）

EM-EEF 2.0-3C x2　（天井内）（保護管：PF22）

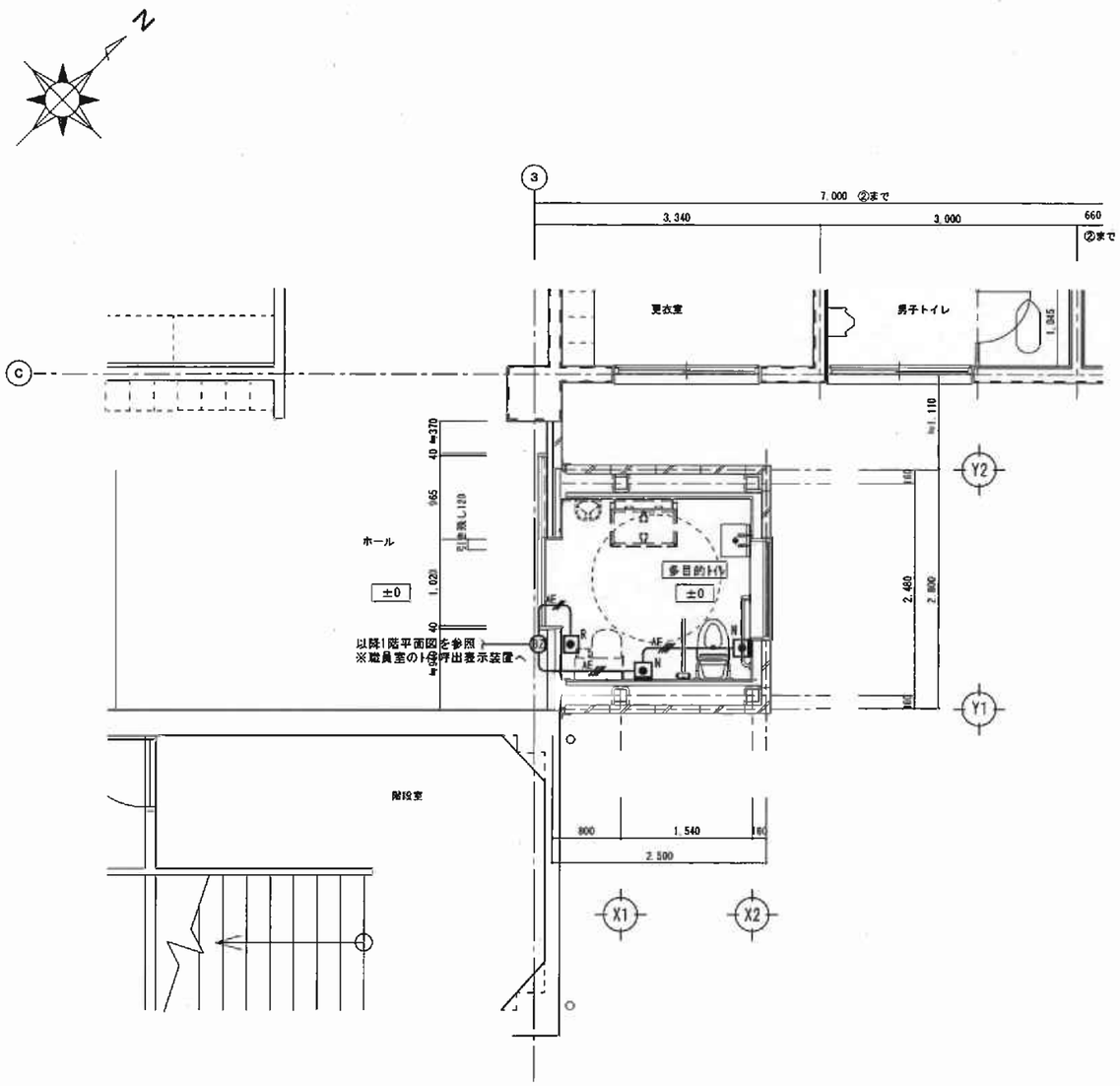
※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

2．▲ …… 既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり（穴あけ）補修を示す。

3．B口 …… 中継ﾎﾞｯｸｽに、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1861 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E21	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 屋内運動場多目的トイレ（新設） 電灯設備　平面詳細図	scale 1/50

新設トイレ（j）　トイレ呼出設備　平面詳細図　1/50



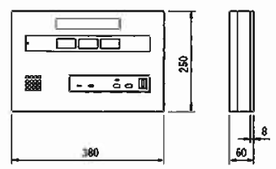
新設トイレ（j）平面詳細図　1/50

注記1．特記なき配管配線は下記による。
- AE EM-AE 1.2-2C　（天井内）（保護管：PF16）
- AE EM-AE 1.2-3C　（天井内）（保護管：PF16）

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

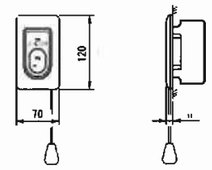
新設トイレ（j）　トイレ呼出設備　機器姿図（参考図）

3L　トイレ呼出表示装置（3窓）



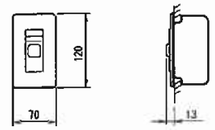
電源電圧	AC100V　50/60Hz　（内部電源DC12V）
形　状	壁取付形
材　質	SPCC t1.2
窓　数	3窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

N　呼出ボタン（引きひも付）



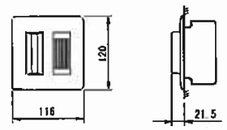
形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用 点字表内文有

R　復旧ボタン



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	樹脂

ブザー付廊下灯

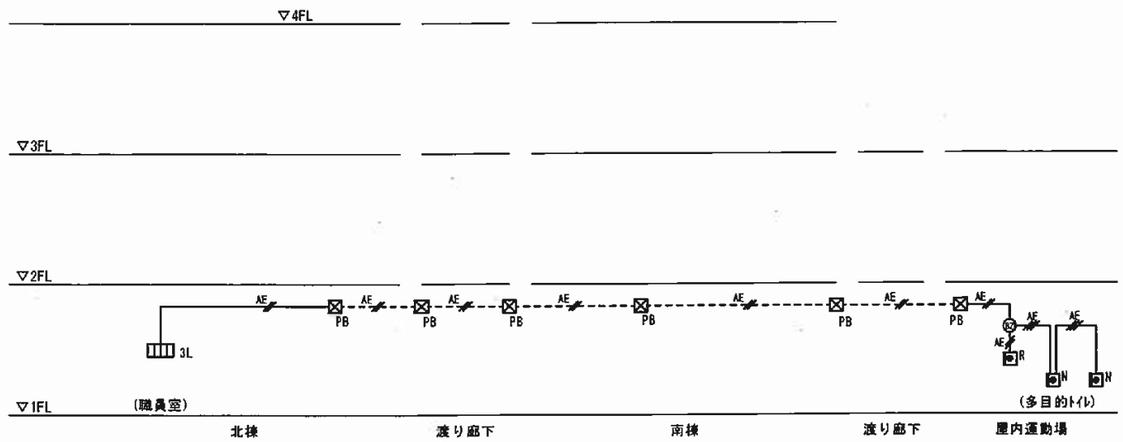


形　状	壁埋込型（JIS2個用スイッチボックス）
材　質	プレート：自己消火性樹脂 ランプカバー：ポリカーボネート

新設　トイレ呼出設備　系統図

注記1．特記なき配管配線は下記による。
- AE EM-AE 1.2-2C　（天井内）（保護管：PF16）
- AE EM-AE 1.2-3C　（天井内）（保護管：PF16）
- AE EM-AE 1.2-2C　（G16）露出

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. E22	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 屋内運動場多目的トイレ（新設） トイレ呼出設備　平面詳細図、機器姿図（参考図）	scale 1/50

A. 工事概要

1 工事種目

◉ 印の付いたものが対象工事

建物別及び屋外 / 工事種別	工事種別					
	南舎	北舎	屋内運動場	プール棟	屋外便所	
● 空気調和設備						
◉ 換気設備	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式		
● 排煙設備						
● 自動制御設備						
● その他設備						
●						
◉ 衛生器具設備	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式	
◉ 給水設備	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式		
◉ 排水通気設備	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式		
● 給湯設備						
● 消火設備						
● ＬＰガス設備						
● 厨房器具設備						
● さく井工事						
● 仮設配管設備						
◉ 撤去工事	改修１式	改修１式	改修１式	改修１式		
●						
●						
●						
●						
●						

B. 工事仕様書

1 一般仕様

1）新設工事共通仕様書（Ａ．１ 工事種目において新設・増設一式とあるもの）

（１）特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版）による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

2）改修工事共通仕様書（Ａ．１ 工事種目において改修・撤去一式とあるもの）

（１）特記仕様書、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版）による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

2 特記仕様

1） 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2） 特記事項のうち選択する事項は、◉ 印の付いたものを適用する。

3） 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第27条（臨機の措置）の規定による。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略を示す。
	② 技能士	1）技能士の適用は、次の職種による。 ⊙ 配管（建築配管作業） ⊙ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・ 建築板金（ダクト板金作業） ・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業） ・ 空気圧縮装置組立て（空気圧縮装置組立て作業） ・ 塗装 ・ さく井（ ・ パーカッション式さく井工事作業 ・ ロータリー式さく井工事作業 ） ・ 鉄工（ ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業） 2）本工事は前項で指定する職種別に１名以上の一級技能士又は単一等級の資格を有する技能士が作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
	③ 工事写真	本工事においては、「営繕工事写真撮影要領（令和６年改訂）」及び「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
	④ 施工計画書	工種別施工計画書 該当する工種別に作成し、監督員に提出する。
	⑤ 総合調整	本工事として下記の測定表を提出する。 総合調整の項目 ・ 風量調整 ⊙ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ⊙ 飲料水の水質の測定 (26項目) ・ 初期運転状態の記録 ・ 騒音の測定 ・ 振動調整 ・ 室内空気流じんあいの測定 ・ 雑用水の水質の測定 （ 項目）
	⑥ 地中埋設工事等	(1)地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設標 ⊙ 要（図示の箇所）（・コンクリート製 ⊙鉄製 ・アルミ製） ・ 不要 2) 埋設表示テープ ⊙ 要（排水管を除く） ・ 不要 3) 埋戻土及び盛土 ・ 根切土中の良質土 ・場外搬入土 ・ 山砂の類 地中埋設する管及び被覆樹脂に損傷を与えないよう山砂の類で周囲を埋め戻し保護すること。 ※【標準仕様書】第２編第７節2.7.1共通事項及び監理指針第１章第７節2.7.1(a)地中埋設配管に準じて施工すること。 4) 地中埋設の鋼管類（排水配管の鋼管類及び合成樹脂等で外面を被覆された部分は除く）の防食処理 ・ ペトロラタム系 ・ ブチルゴム系 ・プラスチックテープ
	⑦ 貫通部の処理	不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法、又は、（財）日本建築センター防災評定委員会の評定済工法とする。 さらに、消防法令による防火区画を貫通する場合は、消防法令に適合する工法、又は、（財）日本消防設備安全センター評定済工法による。
	⑧ 発生材の処理等	・ 引き渡しを要するもの （ ） ・ 特別管理産業廃棄物 （ ） ・ 再生資源化を図るもの （ ） ・ 石綿含有品 （ ・ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガスケット （ ・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体 ）） ・ 上記以外の発生材の処分地 （ ） ⊙ 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する ⊙ 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する
	⑨ 容量等の表示	(1)機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	⑪ 配管	(1)ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ⊙ 呼び径６０Ｓｕ以下（ ⊙ ＳＡＳ３２２を満足した接手 ・ ） (2)建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施工4,5(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 ・ (a) ・ (b) ・ (c) (3)溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要（ ） (4)給水に使用するポリエチレン管は、呼び径50以下は（ ・ １種（軟質） ・ ２種（硬質））の2層管とし75以上の管は、JWWA K 145 による。 (5)呼び径50以下のポリエチレン管の継手は下記による。 ・ 金属継手 （ JWWA B 116 ）
	⑫ 管の接合	（１） 鋼 管 ８０Ａ以下 ⊙ ネジ ・ ・ １００Ａ ・ ネジ ・ フランジ ⊙ 溶接 １２５Ａ以上 ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 ※排水、通気管の場合は、ねじ接合とする。 （２） 外面被覆鋼管 ８０Ａ以下 ・ ネジ ・ １００Ａ ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 １２５Ａ以上 ・ フランジ ・ 溶接
	⑬ 弁類	特記のない弁は、ＪＩＳ又はＪＶ １０Ｋとする。 油系に使用する弁は、１０Ｋ（マレアブル弁等）とする。 水道直結給水配管系に使用する弁は、ＪＩＳ又はＪＶ １０Ｋとする。 ステンレス鋼管に取付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。 ⊙弁名札及び開閉状況札を取り付ける。

1 一般共通事項

⑭ 保温及び塗装

1） 保温材の種類 （ ・（イ）ロックウール保温材 ⊙（ロ）グラスウール保温材 ⊙（ハ）ポリスチレンフォーム保温材 ）

2） 保温の種別（下記表の他は標準仕様書による） ＊仕上げ記号は、標準仕様書による。

種別 / 仕様区分	衛生設備				空調設備					換気設備	
	給水管	排水管			冷温水管	冷媒管	排水管	空調ダクト	外気ダクト	長方形ダクト	スパイラルダクト
屋内露出部	a1・(0)・Ⅶ	a1・(0)・Ⅶ									
機械室倉庫等	b・(0)・Ⅶ	b・(0)・Ⅶ									
天井内等	c・(0)・Ⅶ	c・(0)・Ⅶ									
ピット内	d・(n)・Ⅶ										

3）次の金属電線管は塗装を行う。（ ・屋外露出 ・ ）

⑮ はつり

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
穴開けを行う際は、超音波探査等の機器で鉄筋、電線管等の探査を行う。

16 天井仕上区分

（ ）書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

17 他工事との工事区分

図面に特記なき場合は、別表-1「他工事との取合い区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。

⑱ 電線類

電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい。）

⑲ その他

1. 屋外・ピット内で使用する鋼材等は、（ ・溶融亜鉛めっき仕上げ ⊙ステンレス鋼材 ）とする。
2. ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について。
   (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。
   (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
3. 屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。
4. 現場内の資材の保管に当たっては直射日光、風雨に曝されないよう十分な対策を講じること。（屋根下での保管、樹での保管等）

改修関係事項

① 改修共通仕様書

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年度版）を使用する。（以下改修標仕という）

2 再使用機器

取外し再使用機器は、清掃のうえ取付ける。また、電気使用機器は絶縁抵抗を測定を行う。
ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。

③ 既設との取合い

本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

④ 施工調査

下記によるほか、「改修標仕」第１編1.5.1及び1.5.2による。

施工計画調査
　調査項目
　調査範囲　方法　・図示

事前調査
　調査項目
　調査範囲　方法　・図示

⑤ 養生

既存部分の養生は、下記によるほか「改修標仕」第１編３章による。

養生範囲（ ・図示 ・ ） 養生方法（ ⊙ビニルシート ）

6 既設ダクトの再利用

「改修標仕」第３編2.2.7「既設ダクトの再利用」による。
「改修標仕」第３編2.2.8「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない

⑦ 非破壊検査等

超音波探査等による埋設物の調査を行う。範囲は監督職員の指示による。
- 既設図面による対象の有無を確認（鉄筋、電線管等）
- 断線時の影響範囲の確認（停電・断線等）及び施設管理者への周知
- 断線時の復旧に関する計画の作成及び資材等の準備

⑧ 試験

(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

⑨ 撤去工事

撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。
撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。
石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事
石綿撤去方法 ・ 図示による。

⑩ 仮設備

仮設備項目 （ ・ 空調設備 ・ ・ ）
仮設備期間 （ ・外壁、屋外階段工事期間 ・ ・ ）

換気設備

1 ダクト

- 低圧ダクト ・コーナーボルト工法 （長辺の長さが1,500mm以下の部分）（ ・ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法）
  ・ アングルフランジ工法 ・スパイラルダクト
- 高圧１ダクト （適用範囲は図示による）
- ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（適用範囲及び仕様は図示による）
- 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第３編１．14．３．５のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。

2 風量測定口

図示の位置に取り付ける。

3 ダンパー

空気調和設備の当該項目による。

4 シールする排気ダクトの系統

・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統

5 チャンバー

・ 空気調和設備の当該項目による。

6 保温

- 全熱交換器用のダクト （保温の厚さ ２５mm、範囲は図示による）
- 外気取入れ用のダクト （保温の厚さ ２５mm、範囲は図示による）
- 排気用ダクト （保温の厚さ ２５mm、範囲は図示による）
- 多湿箇所のダクト （保温の厚さ ５０mm、範囲は図示による）
- 厨房及び湯沸し室の排気ダクト （保温の厚さ ５０mm（RW）、範囲は図示による）
- 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚１．６mm）

衛生器具設備

① 大便器

洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8.5L/回以下とする。但しタンク式の洗浄水量は6.5L/回以下とする。

② 小便器

洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。

③ 自動水栓の電源供給

⊙ ＡＣ１００Ｖ ・ 乾電池 ・ 自己発電

④ 紙巻器

ステンレス製とし ⊙ 棚付きワンタッチ(スペア付)式 ・ ワンタッチ式 ・ ワンタッチ（スペアー付）式

5 水石けん入れ

- 手洗器一体型（衛生器具取付け） ・ 手洗器分離型（ ・ 壁取付け ・ カウンター取付け ）
- 洗面器には水石けん入れは不要

6 水栓

- 耐寒水栓（吊コマ） ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 ・ カウンター取付形

給水設備

① 配管材料

(1)一般配管 ⊙ステンレス鋼管（SUS304） ・ポリ粉体鋼管（ ・ PA ・ PB ）
・塩ビライニング鋼管（ ・ VA ・ VB ）
上記の選択で、ポリ粉体鋼管または塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房・浴室等のシンダー内配管は（ ・PD ・VD ）とする。

(2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管(SUS316)（ ・ 建物内 ・ 屋外部分 ） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ⊙ HIVP ・ VP ）
・ ポリエチレン管(屋外埋設部分) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ・ 塩ビライニング鋼管(VD)

(3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は(1)及び(2)による。

2 引き込み納付金

・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要

3 量水器

親メーター （ ・ 貸与品(移設) ・ ） 親メーターの形式（ ・ 現地表示式 ・ 遠隔表示式）
子メーター （ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 現地表示式 ・ 遠隔表示式）

4 量水器桝

・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り）・ 標準図ＭＣ形

5 水栓柱

・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金製

⑥ 管の地中埋設深さ

埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ 600mm ・ mm)以上
その他の部分では管の上端より（ ・ 300mm ・ mm)以上

排水設備

① 配管材料

(1)屋内 汚水管
- 排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 耐火二層管
- コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP)
- リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(ＲＦ－ＶＰ)
- ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ⊙ ＶＰ ・ ＶＵ ）

雑排水管・通気管
- 配管用炭素鋼鋼管（白） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP)
- リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(ＲＦ－ＶＰ) ⊙ 耐火二層管
- 硬質ポリ塩化ビニル管（ ⊙ ＶＰ ・ ＶＵ ）

衛生器具廻り
- ⊙ ビニル管
- 鉛管

(2)屋外 第１桝以降及び桝間
- 硬質ポリ塩化ビニル管（ ⊙ ＶＰ ・ ＶＵ ）
- 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(ＲＥＰ－ＶＵ)
- リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ）

2 洗面器等の排水管

(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。
(2)給湯室流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管を使用してもよい。

③ 試験

衛生器具等の取付完了後に行う試験は（ ⊙ 通水試験 ・ 煙試験）とする。

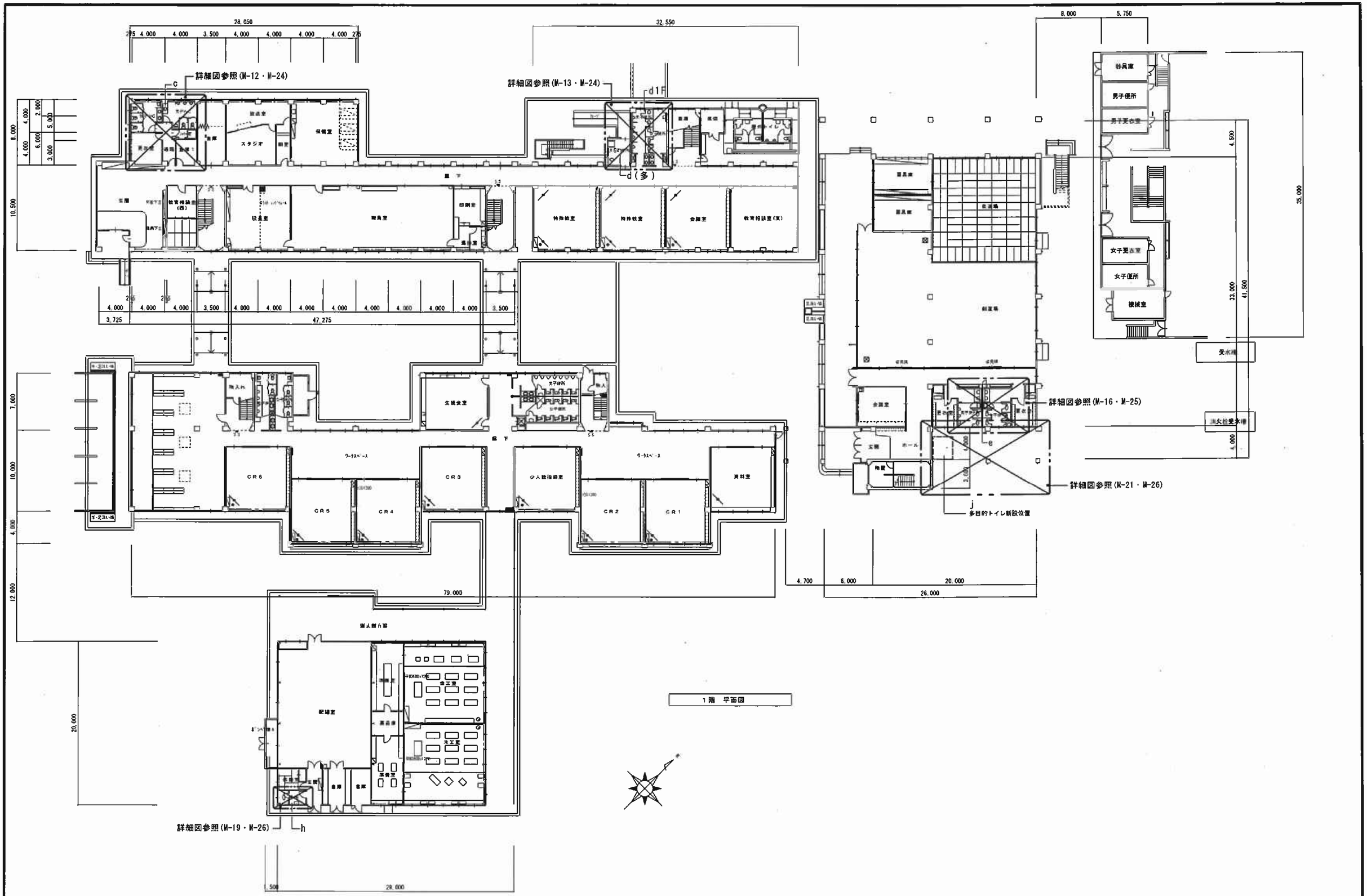
4 放流納付金

・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途） ・ 不要

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

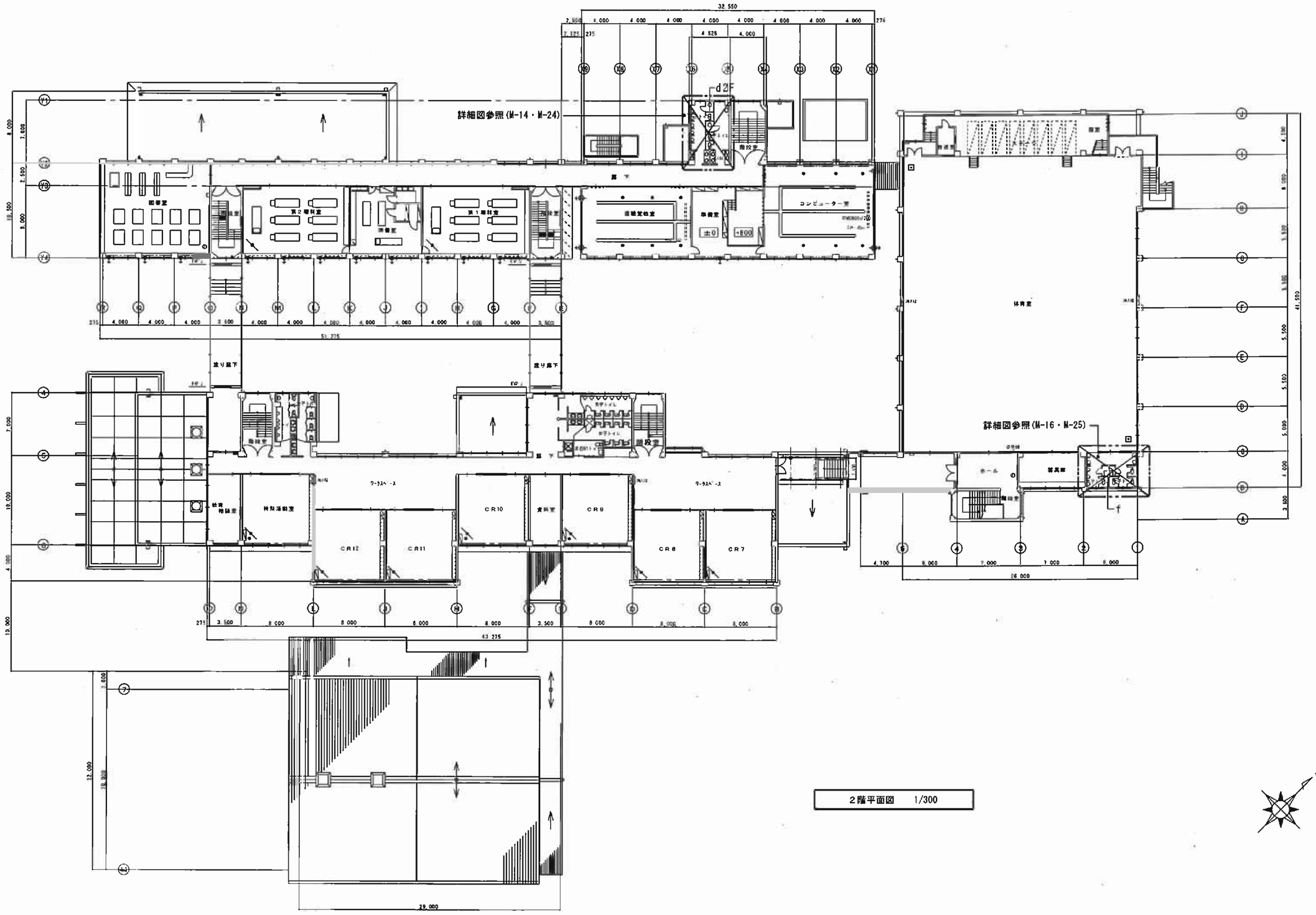
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	M-02	図面名	機械設備 工事仕様書２	scale N.S



備考

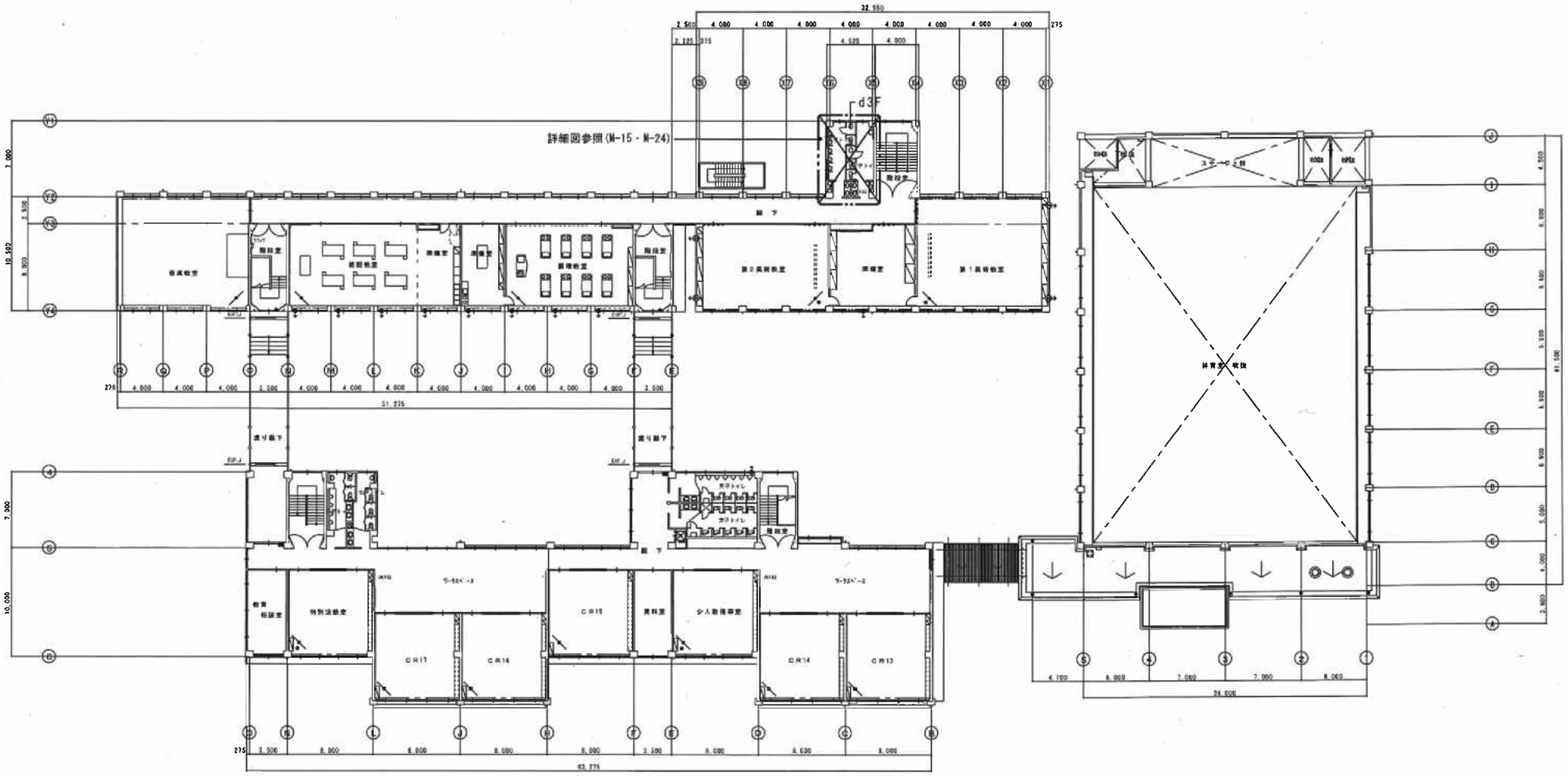
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-03	図面名	機械設備 1階平面図	scale 1/300



2階平面図　1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅品信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. M-04	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（1期）	工事設計図
						図面名 機械設備 2階平面図	scale N.S



3階平面図　1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432　1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. M-05	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 機械設備 3階平面図	scale 1/300

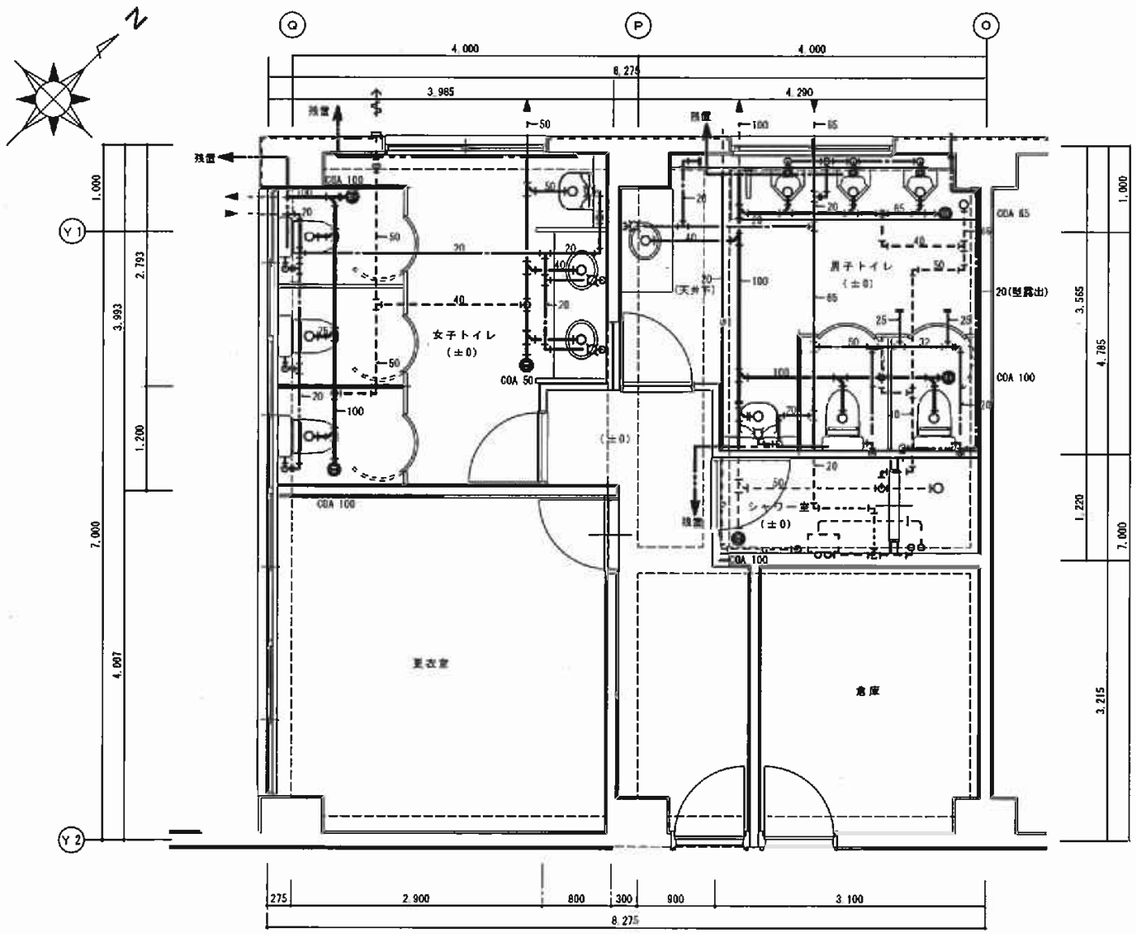
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	女子便所	男子便所		合計
洋風便器	CFS498BCK		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(ふたあり・タッチスイッチ式 擬音付) SUS製棚付二連紙巻器YH701	3	2		5
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDQ-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-RI(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS				
小便器	UFS900R		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き		3		3
		U-A51AP	〃 〃				
洗面器	L532		アンダーカウンター式 台付自動単水栓TLE26SS1A(AC100V) 床排水金具TLDS2105JA	2	1		3
		L-2094CL	〃 〃 AM-300CV1(AC100V) 〃 LF-105SAL				
カウンター	WL55		陶器製(プレーン) 奥行550 L=1,800 1方エプロン フロントパネル(扉式) ブラケット	1			1
		MB-601N	〃 (ベイシス) 奥行600 L=1,800 〃 〃 〃				
〃	WL55		陶器製(プレーン) 奥行550 L=1,200 2方エプロン フロントパネル(扉式) ブラケット		1		1
		MB-601N	〃 (ベイシス) 奥行600 L=1,200 〃 〃 〃				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具		1		1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
鏡	YM6090A		一般鏡 600W×900H	2	1		3
		KF-6090	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	女子便所	男子便所		合計
洋風便器	普通便座	2	1		3
〃	温水洗浄便座	1	1		2
小便器	手動フラッシュ弁	3			3
洗面器	水栓穴1	2	1		3
鏡	大鏡	1	1		2

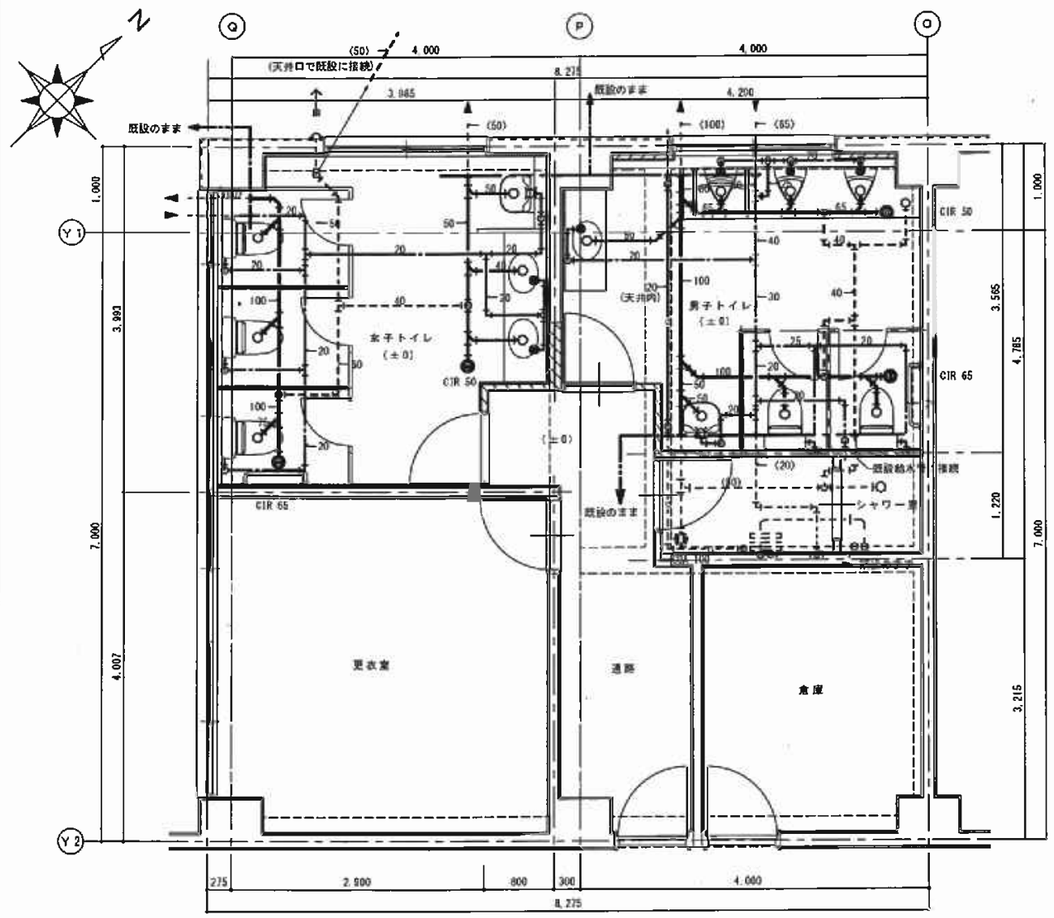
改修前（現況）北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　（平成18年度改修工事竣功）　1/50



北舎管理特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

1　残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後　北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　1/50



北舎管理特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-06	図面名	北舎西普通教室棟１階トイレ（職員女子・男子トイレ）平面詳細図・器具表	scale 1/50

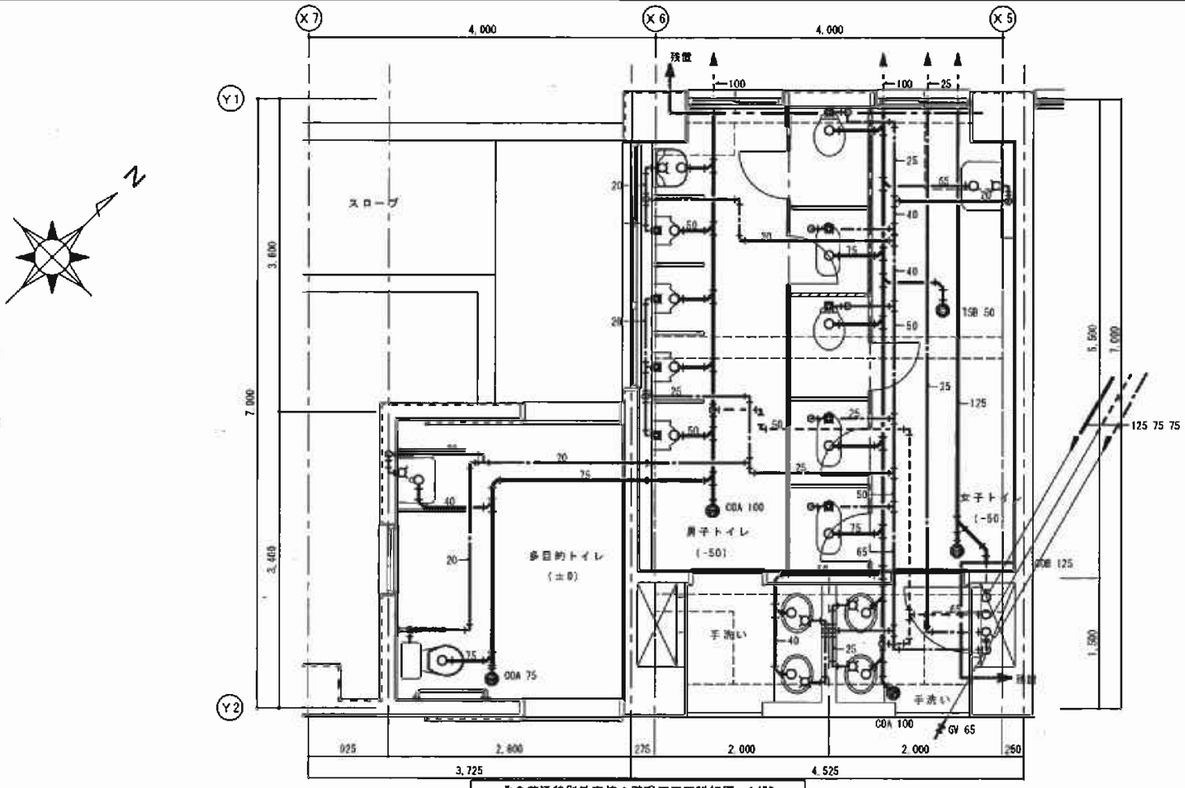
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	男子便所	女子便所	多目的便所	合計
洋風便器	CFS494CSNS		フラッシュバルブ式(床給水)TV565CP 掃除口付 暖房便座TCF116(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3		5
		C-P25S	フラッシュバルブ式(床給水)CF-T6115A 掃除口付 暖房便座CF-18ALJ(ふたあり) SUS製ワンタッチ紙巻器CF-32H				
〃	CFS498BC		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(タッチスイッチ式エコリモコン) 棚付紙巻器YH600FMR 背もたれEWC383CR			1	1
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDQ-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-R1(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS 背もたれKFC-275T1U				
小便器	UFS900R		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	4			4
		U-A51AP	〃 〃				
洗面器	LB30CRU		セルフトリミング式 台付自動単水栓TLE33SB3A(AC100V) 床排水金具TLDS2201J	2	2		4
		L-2160FC	オーバーカウンター式 台付自動単水栓AM-300CV1 床排水金具LF-105SAL				
カウンター	ML35		陶器タイプ(ブレーン) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット	1	1		2
		MB-350M	マーベリーナカウンター(ベイシス) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット				
洗面器	L270C		壁掛け カウンター一体形 自動単水栓(AC-100V)TLE32SS3A 壁排水金具TLDP2201J 取付金具TL220D			1	1
		L-275FCR	壁掛け カウンター一体形 自動単水栓(AC-100V)AM-320CV1 壁排水金具LF-105PA-H 取付金具KF-30DN				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガーSF-10E				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BL11		L型 ステンレスタイプ 800L×800H 出幅230 固定金具			1	1
		KF-926AE80D25J	L型 樹脂被覆タイプ 800L×800H 出幅250 固定金具				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具	1			1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
〃	T112HK7R		跳ね上げ式 ロック付 樹脂被覆タイプ 700L			1	1
		KF-471EH70JU	〃 〃 〃 700L				
〃	T112CP23		洗面器用 樹脂被覆タイプ 800L			2	2
		KF-312S70J	〃 樹脂被覆タイプ 700L				
鏡	YM456OA		一般鏡 450W×600H	2	2		4
		KF-456O	〃 〃				
〃	YM6090A		一般鏡 600W×900H			1	1
		KF-6090	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所	多目的便所	合計
洋風便器	タンク式 温水洗浄便座			1	1
〃	フラッシュ弁式	1	1		2
フラッシュ弁	和風便器用	1	2		3
小便器	手動フラッシュ弁	4			4
洗面器	水栓穴1	2	2	1	5
マルチシンク		1			1
掃除用流し			1		1
手すり	L型			1	1
〃	跳ね上げ式			1	1
〃	洗面器用			2	2
鏡		2	2		5
〃	傾斜鏡			1	1

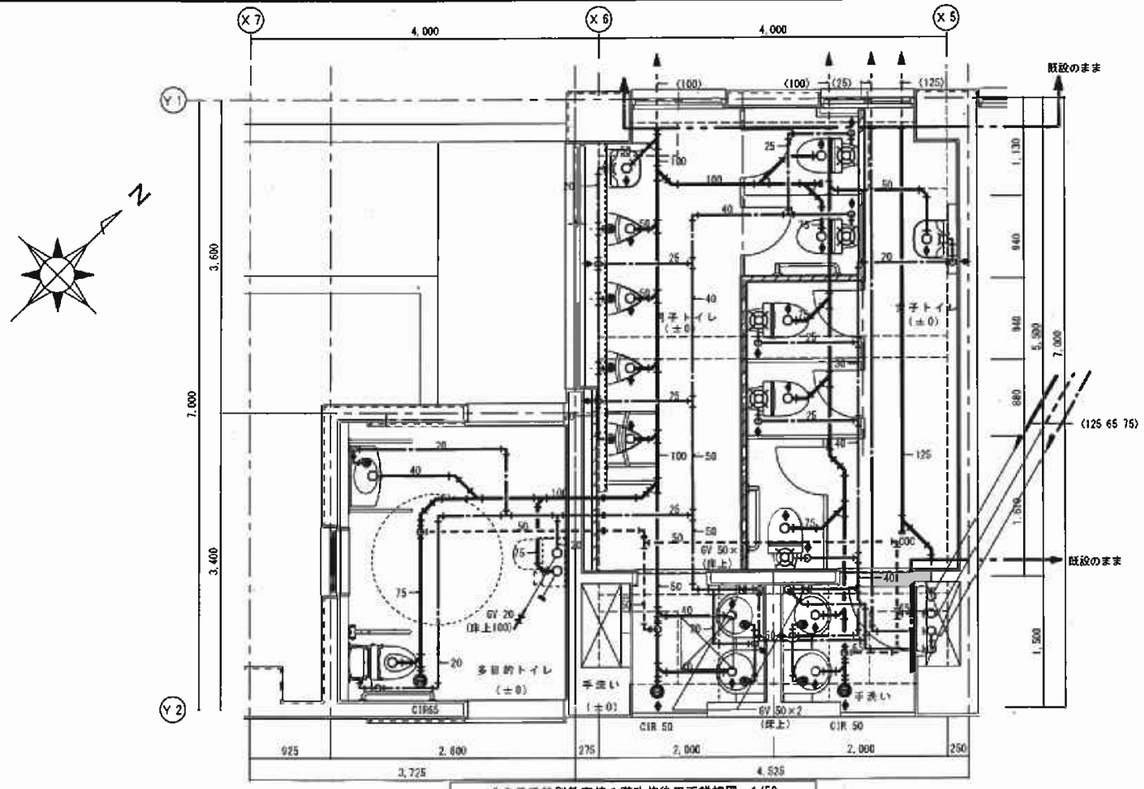
改修前（現況）北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図 1/50



北舎普通特別教室棟１階現況平面詳細図 1/50

1. 残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図 1/50



北舎普通特別教室棟１階改修後平面詳細図 1/50

1. ◆は、ダイヤモンドカッターによる床斫りを示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-07	図面名	北舎東普通教室棟１階トイレ（男子・女子・多目的トイレ）平面詳細図・内部仕上表	scale 1/50

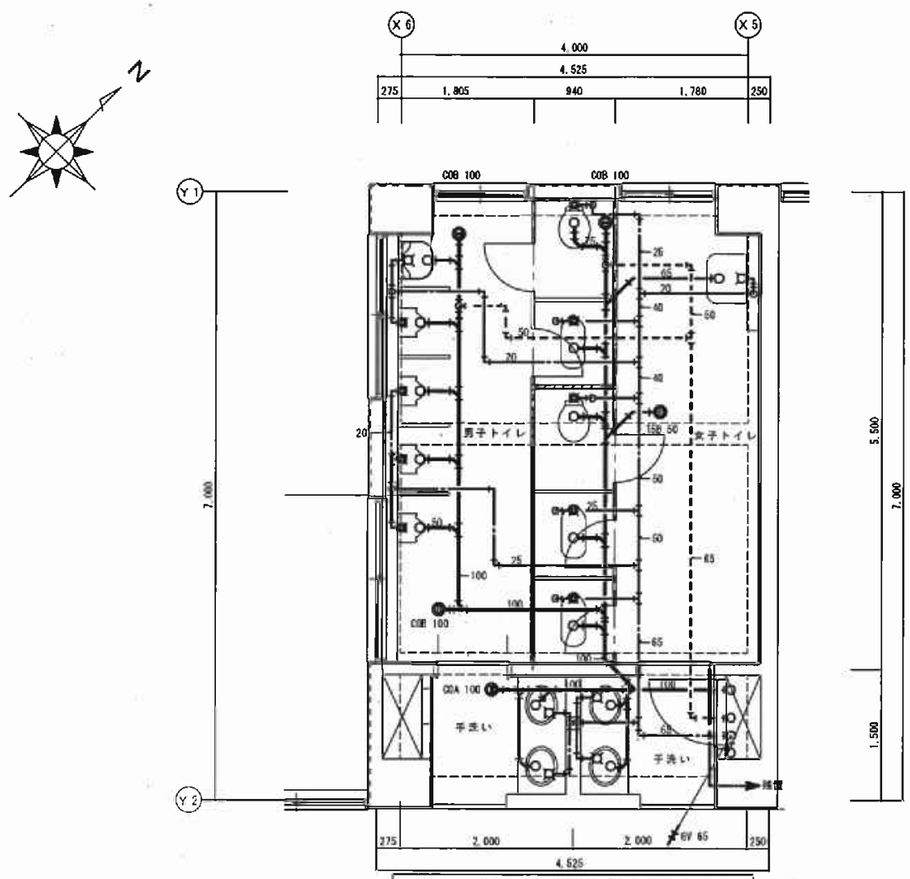
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	男子便所	女子便所		合計
洋風便器	CFS494CSNS		フラッシュバルブ式(床給水)TV565CP 掃除口付 暖房便座TCF116(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3		5
		C-P25S	フラッシュバルブ式(床給水)CF-T6115A 掃除口付 暖房便座CF-18ALJ(ふたあり) SUS製ワンタッチ紙巻器CF-32H				
小便器	UFS900R		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	4			3
		U-A51AP	〃 〃				
洗面器	L830CRU		セルフトリミング式 台付自動単水栓TLE33SB3A(AC100V) 床排水金具TLDS2201J	2	2		4
		L-2160FC	オーバーカウンター式 台付自動単水栓AM-300CV1 床排水金具LF-105SAL				
カウンター	ML35		陶器タイプ(プレーン) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット	1	1		2
		MB-350M	マーベリーナカウンター(ベイシス) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガーSF-10E				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具	1			1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2		4
		KF-4560	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所		合計
洋風便器	フラッシュ弁式 普通便座	1	1		5
フラッシュ弁	和風便器用	1	2		3
小便器	手動フラッシュ弁	4			4
洗面器	水栓穴1	2	2		4
多目的流し		1			1
掃除用流し			1		1
鏡		2	2		4

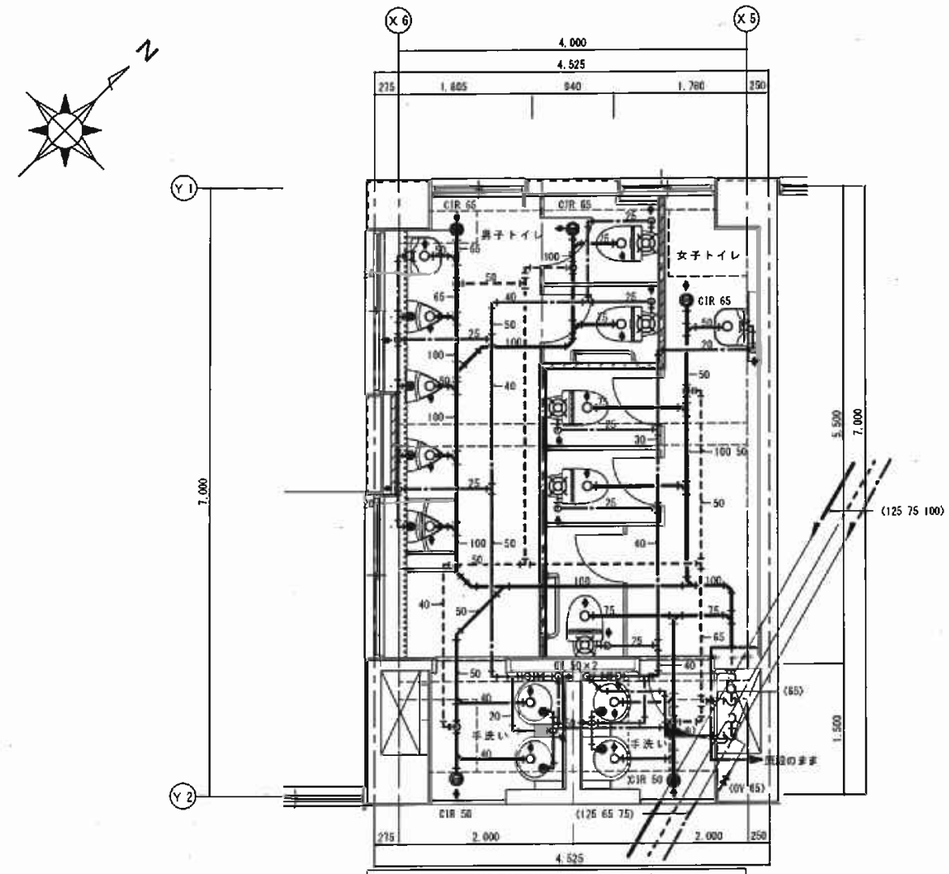
改修前（現況）北舎東普通特別教室棟２階トイレ（d2F）平面詳細図 1/50



北舎東普通特別教室棟 ２階現況平面詳細図 1/50

1. 残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 北舎東普通特別教室棟２階トイレ（d2F）平面詳細図 1/50



北舎東普通特別教室棟２階改修後平面詳細図 1/50

1. ◆は、ダイヤモンドカッターによる床斫りを示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-08	図面名	北舎東普通特別教室棟２階トイレ（男子・女子トイレ）平面詳細図・器具表	scale 1/50

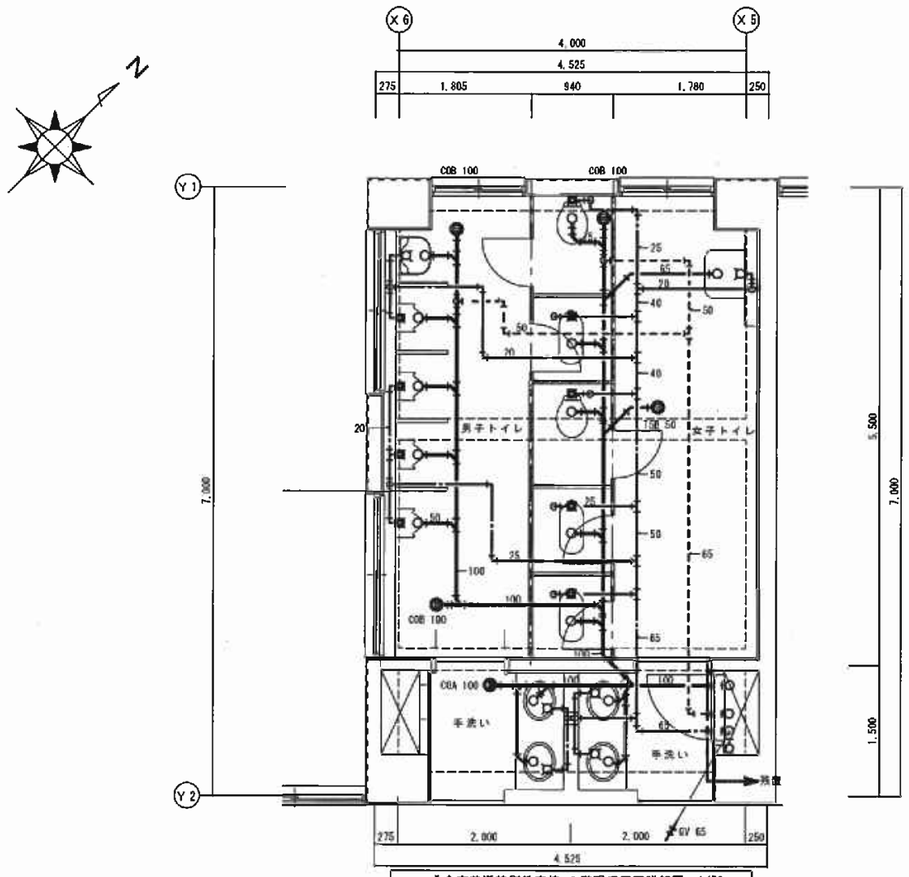
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	男子便所	女子便所		合計
洋風便器	CFS494CSNS		フラッシュバルブ式(床給水低圧用)TV585CP 掃除口付 暖房便座TCF116(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3		5
		C-P25S	フラッシュバルブ式(床給水低圧用)CF-6115UTA 掃除口付 暖房便座CF-18ALJ(ふたあり) SUS製ワンタッチ紙巻器CF-32H				
小便器	UFS900R		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	4			3
		U-A51AP	〃 〃				
洗面器	L830CRU		セルフトリミング式 台付自動単水栓TLE33SB3A(AC100V) 床排水金具TLDS2201J	2	2		4
		L-2160FC	オーバーカウンター式 台付自動単水栓AM-300CV1 床排水金具LF-105SAL				
カウンター	ML35		陶器タイプ(ブレーン) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット	1	1		2
		MB-350M	マーベリーナカウンター(ベイシス) 奥行350 L=1,350 1方エプロン ブラケット				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AE0F13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガーSF-10E				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具	1			1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2		4
		KF-4560	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所		合計
洋風便器	フラッシュ弁式 普通便座	1	1		5
フラッシュ弁	和風便器用	1	2		3
小便器	手動フラッシュ弁	4			4
洗面器	水栓穴1	2	2		4
多目的流し		1			1
掃除用流し			1		1
鏡		2	2		4

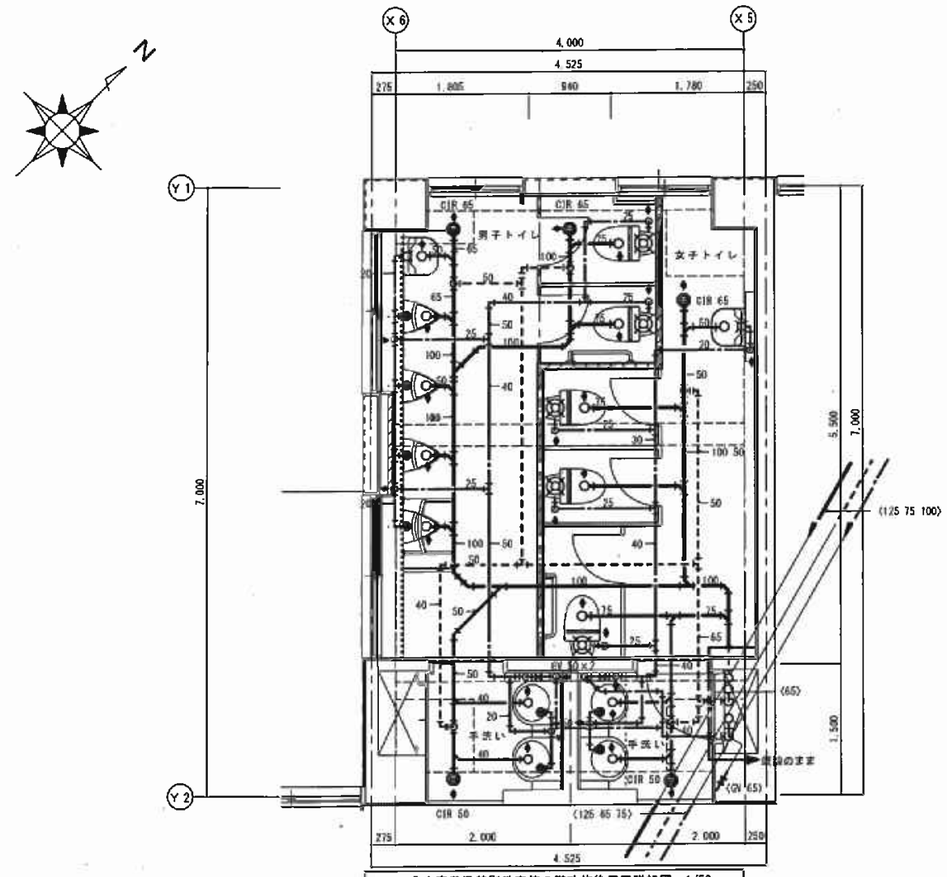
改修前（現況）北舎東普通特別教室棟３階トイレ（d3F）平面詳細図 1/50



北舎東普通特別教室棟 ３階現況平面詳細図 1/50

1. 残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 北舎東普通特別教室棟３階トイレ（d3F）平面詳細図 1/50



北舎東普通特別教室棟３階改修後平面詳細図 1/50

1. ◆は、ダイヤモンドカッターによる床研りを示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1861
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	M-09	図面名	北舎東普通特別教室棟３階トイレ（男子・女子トイレ）平面詳細図・器具表	scale 1/50

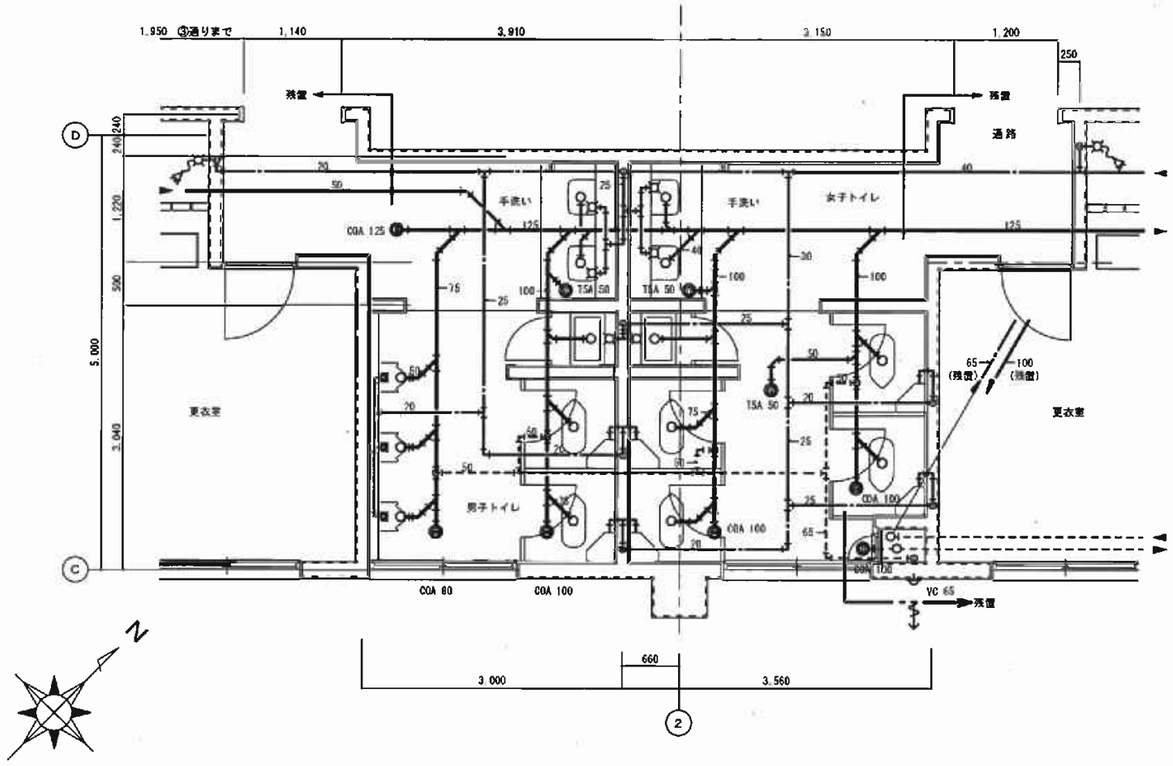
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	男子便所(西)	女子便所(西)		合計
洋風便器	CFS498BCK		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(ふたあり・タッチスイッチ式 擬音付) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3		5
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDO-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-R1(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS				
小便器	UFS900WR		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	3			3
		U-A51MP	〃 〃				
洗面器	L532		アンダーカウンター式 台付自動単水栓TLE26SS1A(AC100V) 床排水金具TLDS2105JA	2	2		4
		L-2094CL	〃 〃 AM-300CV1(AC100V) 〃 LF-105SAL				
カウンター	ML55		陶器製(プレーン) 奥行550 L=1,800 1方エプロン フロントパネル(扉式) ブラケット	1	1		2
		MB-601N	〃 (ベイシス) 奥行600 L=1,800 〃 〃 〃				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PWR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAW 壁止金具LF-6L バックハンガーSF-10E				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具	1			1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2		4
		KF-4560	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所		合計
隅付タンク	和風便器用	2	4		6
小便器	手動フラッシュ弁	3			3
洗面器	水栓穴1	2	2		4
水栓	13φ	1	1		2
鏡		2	2		4

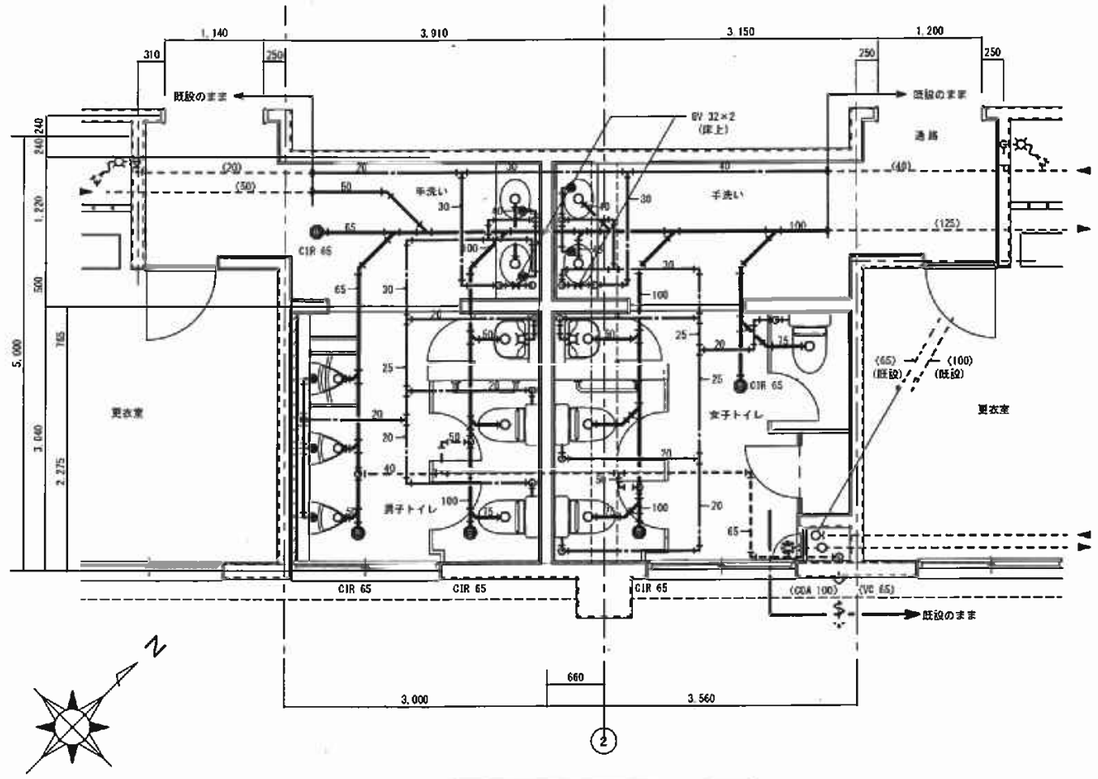
改修前（現況）屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図 1/50



屋内運動場１階現況平面詳細図 1/50

1. 残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図 1/50



屋内運動場１階改修後平面詳細図 1/50

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. M-10	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（I期）	工事設計図
						図面名 屋内運動場１階トイレ（男子・女子トイレ）平面詳細図・器具表	scale 1/50

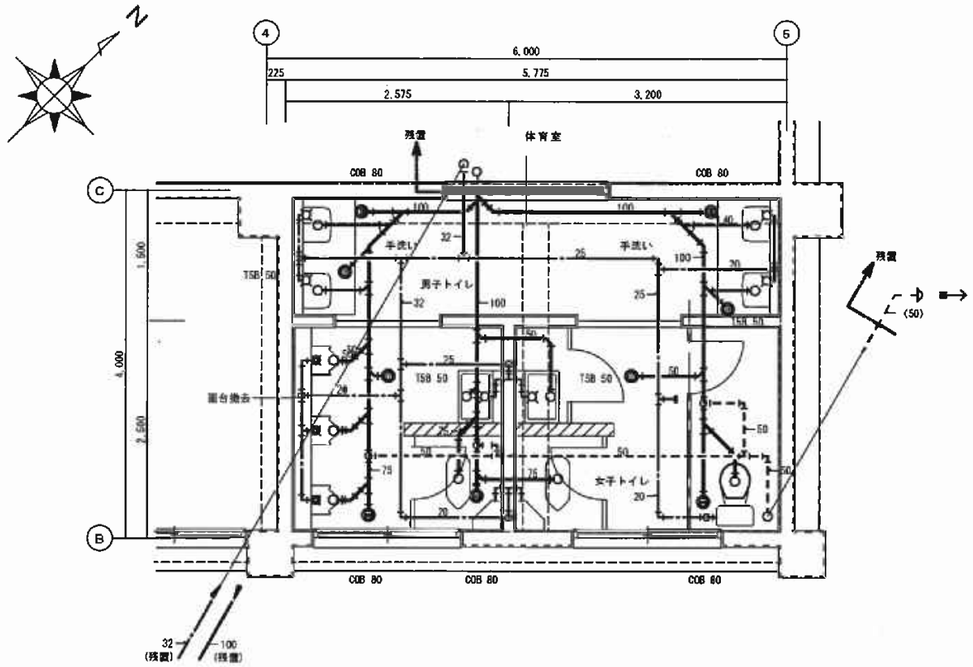
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	男子便所(一色)	女子便所(一色)		合計
洋風便器	CFS498BCK		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(ふたあり・タッチスイッチ式 擬音付) SUS製棚付二連紙巻器YH701	1	3		4
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDQ-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-R1(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS				
小便器	UFS900WR		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	3			3
		U-A51MP	〃 〃				
洗面器	L532		アンダーカウンター式 台付自動単水栓TLE26SS1A(AC100V) 床排水金具TLDS2105JA	2	2		4
		L-2094CL	〃 〃 AM-300CV1(AC100V) 〃 LF-105SAL				
カウンター	ML55		陶器製(ブレーン) 奥行550 L=1,800 1方エプロン フロントパネル(扉式) ブラケット	1	1		2
		MB-601N	〃 (ベイシス) 奥行600 L=1,800 〃 〃 〃				
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1		2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガーSF-10E				
手すり	T113BL10		L型 ステンレスタイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1		2
		KF-920S70D12J	L型 〃 700L×700H 出幅120				
〃	T113BU22		小便器用 ステンレスタイプ 600W×550L×470H 固定金具	1			1
		KF-701SJ	〃 〃 600W×600L×410H 〃				
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2		4
		KF-4560	〃 〃				

撤去器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所		合計
洋風便器	タンク式 普通便座		1		1
隅付タンク	和風便器用	1	1		2
小便器	手動フラッシュ弁	3			3
洗面器	水栓穴1	2	2		4
水栓	13φ	1	1		2
鏡		2	2		4

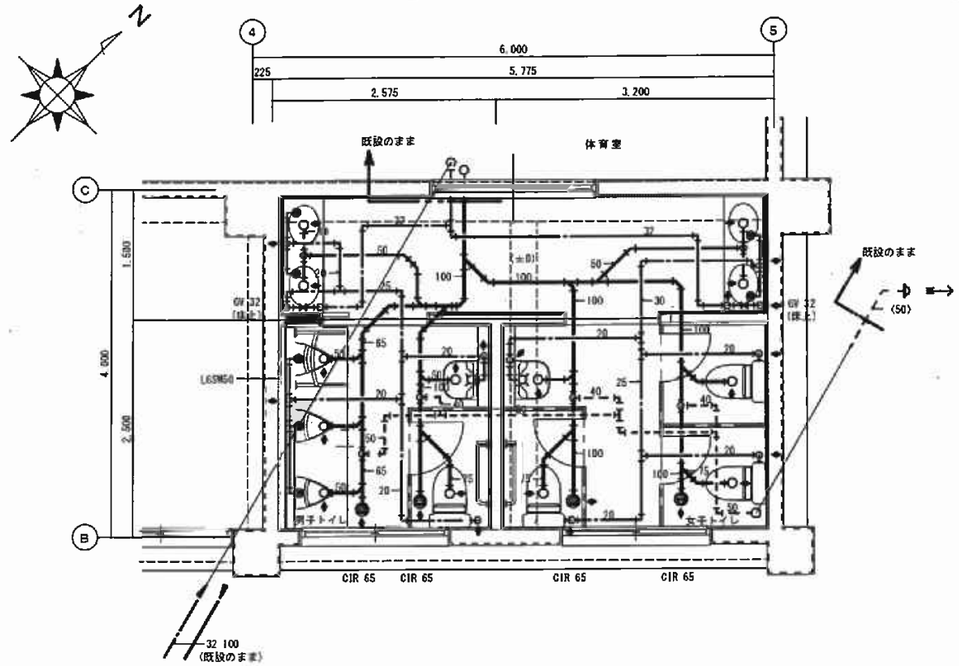
改修前（現況）屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図 1/50



屋内運動場２階現況平面詳細図 1/50

1．残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図 1/50



屋内運動場２階改修後平面詳細図 1/50

1．◆は、ダイヤモンドカッターによる床斫りを示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-11	図面名	屋内運動場２階トイレ（男子・女子トイレ）平面詳細図・器具表	scale 1/50

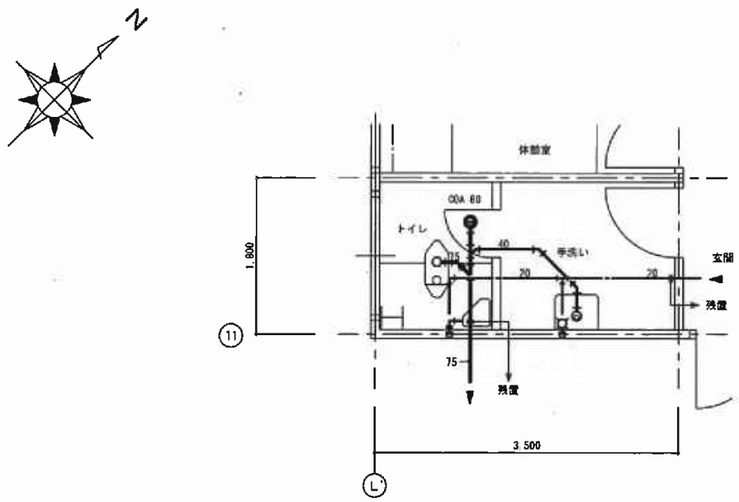
器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	計
洋風便器	CFS498BCK		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(ふたあり・タッチスイッチ式 擬音付) SUS製棚付二連紙巻器YH701	1
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDQ-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-R1(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS	
洗面器	L270C		壁掛け カウンター一体形 自動単水栓(AC-100V)TLE32SS3A 壁排水金具TLDP2201J 取付金具TL220D	1
		L-275FCR	壁掛け カウンター一体形 自動単水栓(AC-100V)AM-320CV1 壁排水金具LF-105PA-H 取付金具KF-30DN	
鏡	YM609GF		耐食鏡 600W×900H	1
		KF-6090A	〃 〃	

撤去器具表

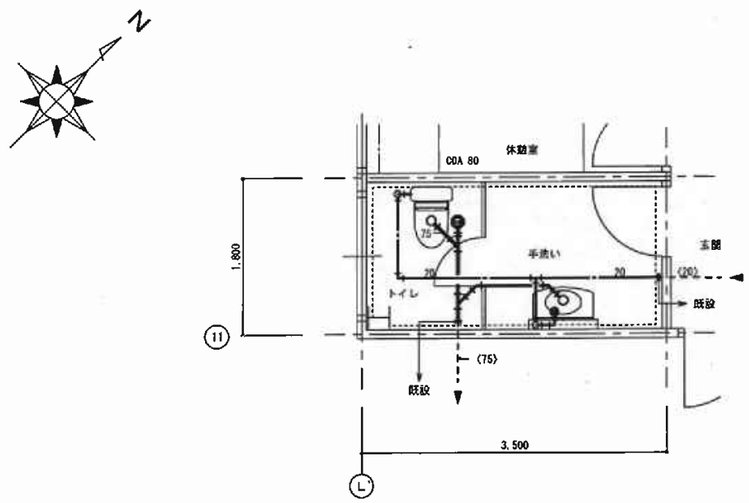
名称	仕様	計
和風便器	隅付きロータンク	1
洗面器	水栓穴1	1
鏡		1

改修前（現況）配膳室横トイレ（h）平面詳細図 1/50



配膳室横現況平面詳細図 1/50

改修後 配膳室横トイレ（h）平面詳細図 1/50

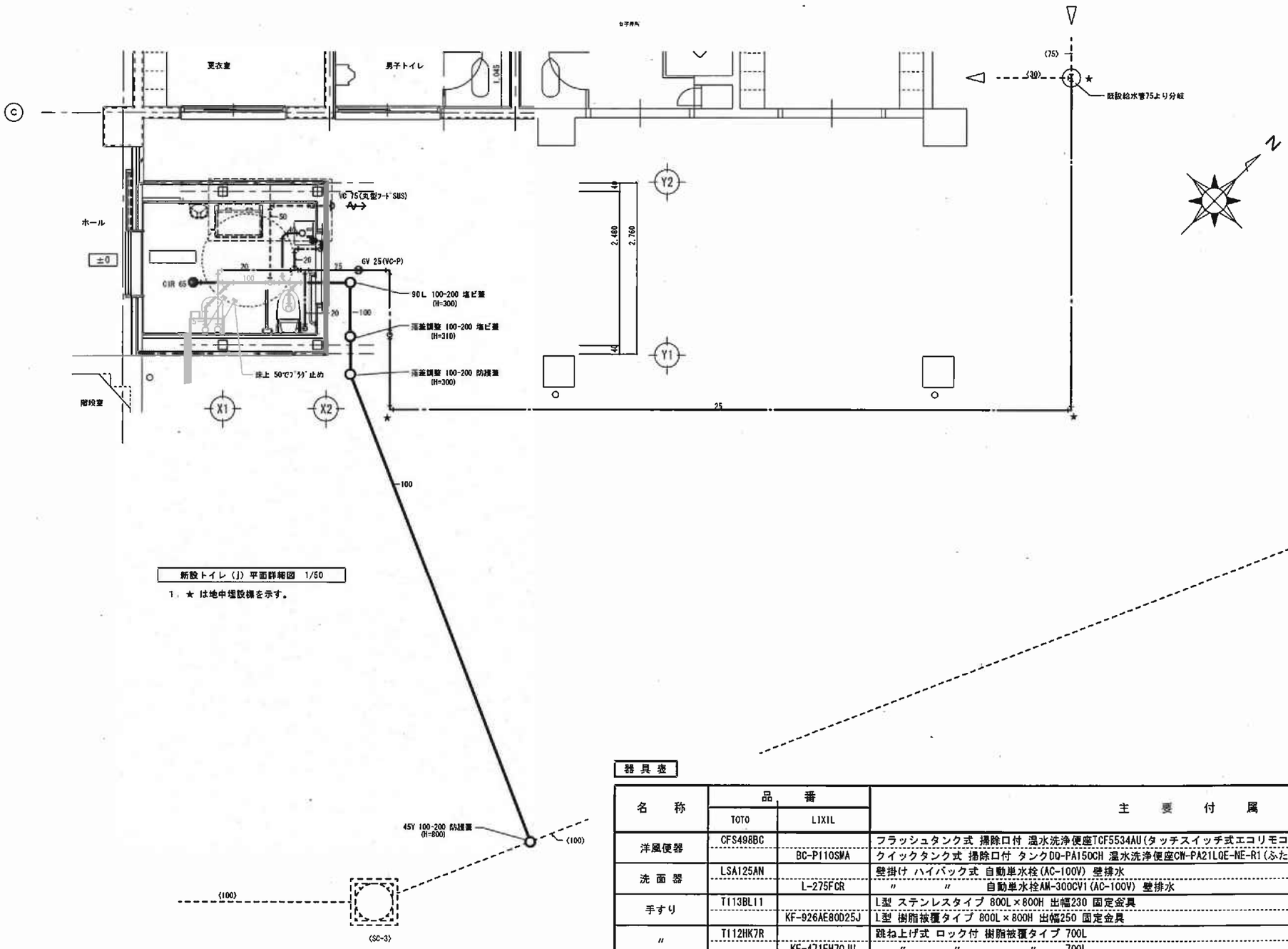


配膳室横改修後平面詳細図 1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	工事設計図
		2024.10	M-12	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（1期）	
				図面名 配膳室横トイレ 平面詳細図・器具表	scale 1/50



新設トイレ（j）平面詳細図 1/50

1. ★ は地中埋設標を示す。

器具表

名称	品番 TOTO	品番 LIXIL	主要付属品・仕様	合計
洋風便器	CFS498BC		フラッシュタンク式 掃除口付 温水洗浄便座TCF5534AU(タッチスイッチ式エコリモコン) 棚付紙巻器YH600FMR 背もたれEWC383CR	1
		BC-P110SMA	クイックタンク式 掃除口付 タンクDQ-PA150CH 温水洗浄便座CW-PA21LQE-NE-R1(ふたあり・リモコンスイッチ) 棚付二連紙巻器CF-63HS 背もたれKFC-275T1U	
洗面器	LSA125AN		壁掛け ハイバック式 自動単水栓(AC-100V) 壁排水	1
		L-275FCR	〃 〃 自動単水栓AM-300CV1(AC-100V) 壁排水	
手すり	T113BL11		L型 ステンレスタイプ 800L×800H 出幅230 固定金具	1
		KF-926AE80D25J	L型 樹脂被覆タイプ 800L×800H 出幅250 固定金具	
〃	T112HK7R		跳ね上げ式 ロック付 樹脂被覆タイプ 700L	1
		KF-471EH70JU	〃 〃 〃 700L	
鏡	YM6090A		一般鏡 600W×900H	1
		KF-6090	〃 〃	
オストメイトパック	UAS81LDB2N		コンパクトタイプ 水石けん入れ 電気温水器付	1
		PTOM-B210W	〃 〃 〃	
(ベビーシート)	YKA25S		将来工事：横置きタイプ 780W×135(使用時560)D×1145(使用時950)H 樹脂プラグYPH6218W2R 樹脂プラグT110D28	(1)
		AC-OK-21F	将来工事：横置きタイプ 772W×115(使用時611)D×1323(使用時972)H アンカーKF-D34(1P)×6	
(ベビーチェア)	YKS16S		将来工事：コーナー取付タイプ 300W×950H アンカーボルトYPH62017W2 樹脂プラグT110D28	(1)
		AC-BK-F62	将来工事：コーナー取付 アンカーKF-D17(1P)×3 コーナー金具KF-D34(1P)×4	

備考

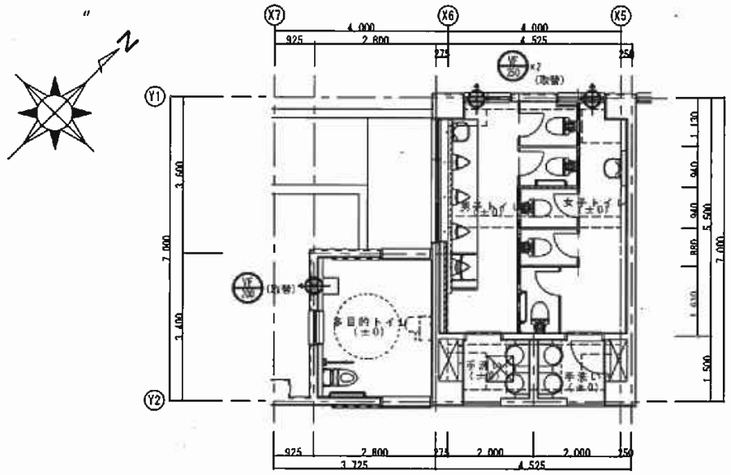
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-13	図面名	屋内運動場多目的トイレ（j）平面詳細図・器具表	scale 1/50

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-200	換気扇	1	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	480		単-100	13.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-20EK9 同等品
VF-250	〃	2	〃 〃 250φ 〃	690		〃	18.5		EX-25EK9 同等品

※ 既設換気扇200φ及び250φ2台はウェザカバー共撤去とする。

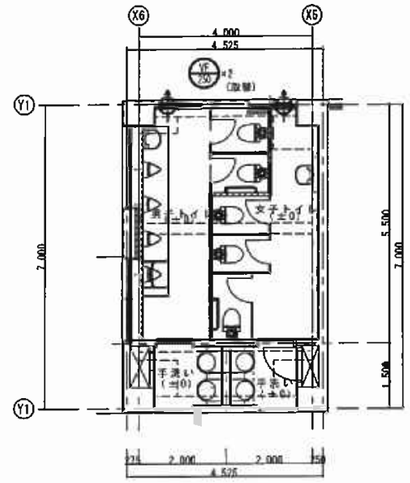


北舎東普通特別教室棟1階トイレ改修後平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-250	換気扇	2	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	690		〃	18.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-25EK9 同等品

※ 既設換気扇250φ(ウェザカバー共)2台は撤去とする。

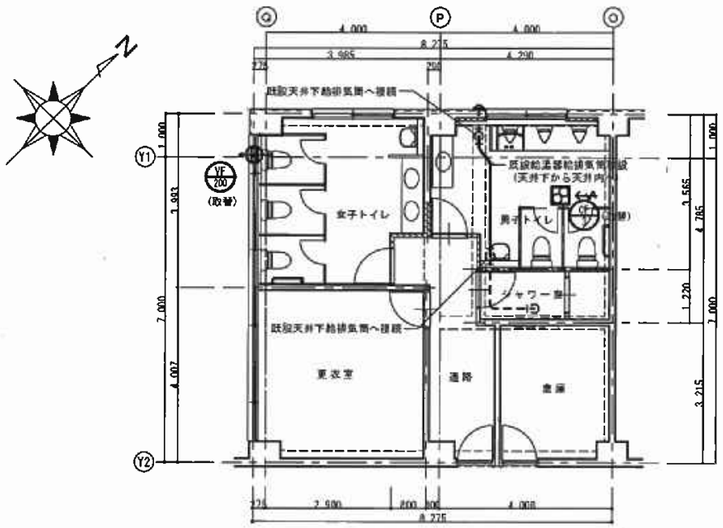


北舎東普通特別教室棟3階トイレ改修後平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-200	換気扇	1	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	480		単-100	13.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-20EK9 同等品
CF-3	天井換気扇	1	低騒音型 サニタリー用 100φ	160	50	〃	23		VD-15ZP14 同等品

※ 既設換気扇200φ(ウェザカバー共)及び天井換気扇は撤去とする。

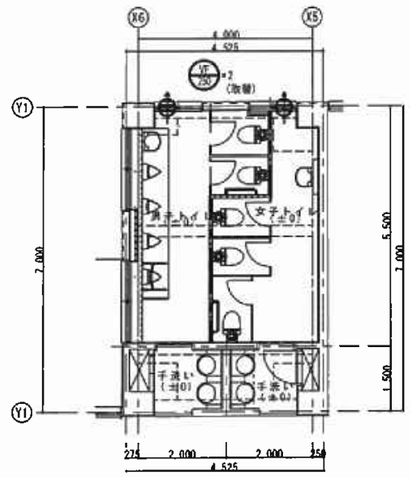


北舎西管理特別教室棟1階トイレ改修後平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-250	換気扇	1	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	690		〃	18.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-25EK9 同等品

※ 既設換気扇250φ(ウェザカバー共)2台は撤去とする。



北舎東普通特別教室棟2階トイレ改修後平面図 1/100

備考

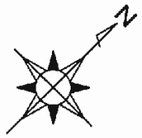
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1861
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 品信 第68278号

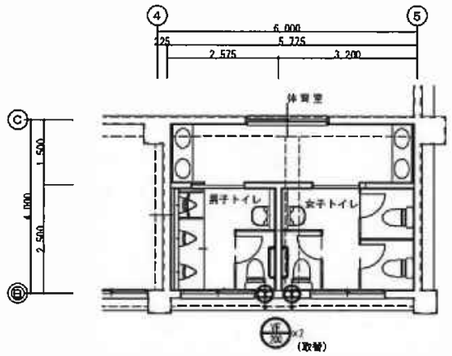
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	工事設計図
		2024.10	M-14	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	
				図面名 北舎西管理特別教室棟1階・北舎東普通特別教室棟1階～3階トイレ 換気設備機器表・平面図	scale 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-200	換気扇	2	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	480		単-100	13.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-20EK9 同等品

※ 既設換気扇200φ2台は撤去とする。

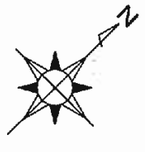


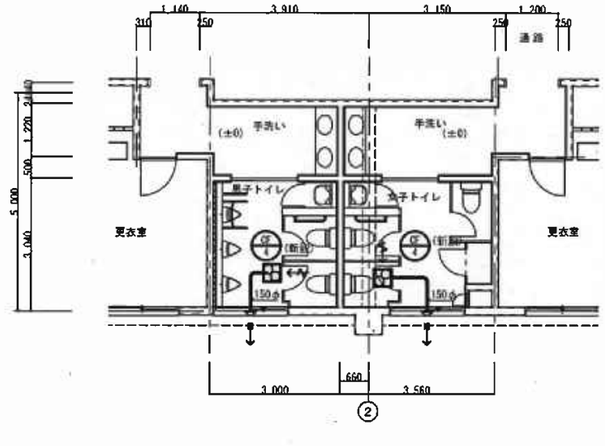


屋内運動場２階トイレ改修後平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
CF-4	天井換気扇	2	低騒音型 サニタリー用 150φ	250	50	単-100	49	深型フード(SUS製)	VD-20ZB14 同等品



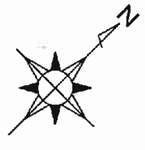


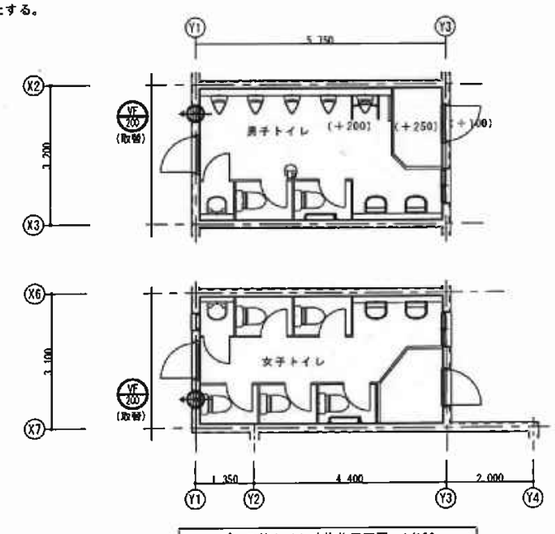
屋内運動場１階トイレ改修後平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
VF-200	換気扇	2	格子グリル 羽根径200φ 電気式シャッター	480		単-100	13.5	SUS製ウェザカバー SUS製防鳥網	EX-20EK9 同等品

※ 既設換気扇200φ(ウェザカバー共)2台は撤去とする。





プール棟トイレ改修後平面図 1/100

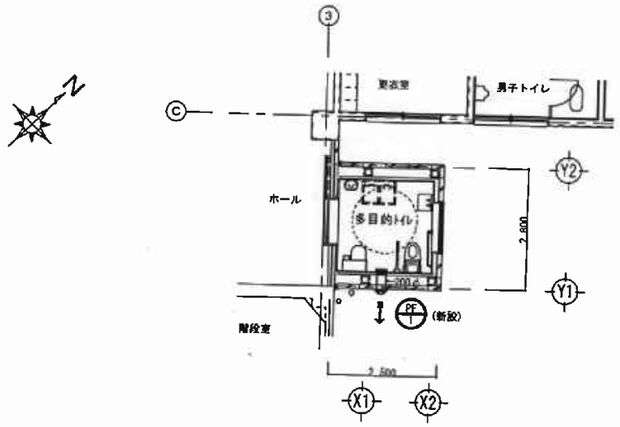
備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-15	図面名	屋内運動場・プール棟トイレ 換気設備 機器表・平面図	scale 1/100

換気機器表

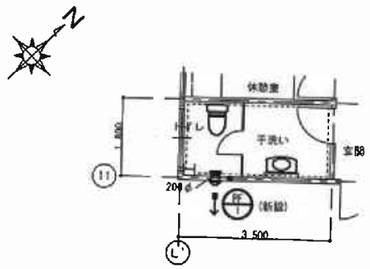
記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
PF-1	換気扇	1	角形格子グリル 電気式シャッター パイプ径200φ	180	10	単-100	13	SUS製深型フード（防虫網付）	V-20PXS5 同等品



屋内運動場多目的(新設)トイレ平面図 1/100

換気機器表

記号	名称	数	形式	風量 m³/h	静圧 Pa	電源 φ-V	消費電力 W	付属品	備考
PF-1	換気扇	1	角形格子グリル 電気式シャッター パイプ径200φ	180	10	単-100	13	SUS製深型フード（防虫網付）	V-20PXS5 同等品



配膳室トイレ改修後平面図 1/100

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	M-16	図面名	配膳室・屋内運動場多目的(新設)トイレ 換気設備 機器表・平面図	scale 1/100